碧南消防署仮眠室改修工事

	建築工事						
図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺		
A-00	表紙・図面リスト	NS	E-01	分電盤結線図(1)	NS		
A-01	特記仕様書 (1)	NS	E-02	分電盤結線図(2)	NS		
A-02	特記仕様書 (2)	NS	E-03	電灯・コンセント設備平面図(改修前)	1/100		
A-03	特記仕様書 (3)	NS	E-04	コンセント設備平面図(改修後)	1/100		
A-04	特記仕様書 (4)	NS	E-05	照明器具姿図	NS		
A-05	特記仕様書 (5)	NS	E-06	電灯設備平面図①(改修後)	1/50		
A-06	特記仕様書 (6)	NS	E-07	電灯設備平面図②(改修後)	1/50		
A-07	特記仕様書 (7)	NS	E-08	弱電設備平面図(改修前、改修後)	1/100		
A-08	特記仕様書 (8)	NS	E-09	火災報知設備平面図(改修前、改修後)	1/100		
A-09	特記仕様書 (9)	NS					
A-10	付近見取図 仮設計画図 1 階平面図	1/200、1/400					
A – 1 1	仕上表	1/200					
A-12	改修全体平面図	1/100					
A-13	現況平面図 1	1/50					
A — 1 4	現況平面図 2	1/50					
A-15	現況展開図 仮眠室A、B、C	1/50					
A-16	現況展開図 トレーニングルーム	1/50					
A – 1 7	現況天井伏図 1	1/50		機械設備工事			
A-18	現況天井伏図 2	1/50	図 面 番 号	図 面 名 称	縮尺		
A-19	仮眠室平面図A、B	1/50	M-01	使用機器表・衛生機器表	NS		
A-20	仮眠室平面図C、D	1/50	M-02	給排水設備平面図(改修前、改修後)	1/100		
A-21	矩計図	1/15、1/20	M-03	給排水設備平面詳細図	1/30		
A-22	展開図1 仮眠室A、B、C	1/50	M-04	空調設備平面図(改修前、改修後)	1/100		
A-23	展開図2 仮眠室 D	1/50	M-05	換気設備平面図(改修前)	1/100		
A-24	展開図3 仮眠室 D	1/50	M-06	換気設備平面図(改修後)	1/100		
A-25	展開図4 仮眠室 D 倉庫	1/50					
A-26	建具表 1	1/50					
A-27	建具表 2	1/50					
A-28	天井伏図 1	1/50					
A-29	天井伏図 2	1/50					
A-30	家具図	1/30					

衣浦東部広域連合	_{設計者}		竣 _{保 / · ·}	<u></u> :	特記	工事名称 碧南消防署仮眠室改修工事	図面リスト	® ————————————————————————————————————
4. 用果部丛坳建石	杉浦勝裕	複 /	20 /			名时况例有以似主以修工争	縮尺	枚ノ内 1号 2亩 25.
	一級建築士登録第151655	<u> </u>	成 /				級建築士登録第 号	分 建 荣

辛				= * 4	<u>以</u> 特	<u> </u>	<u> </u>			備考	章	<u> </u>		***	老
부	1節 :				1寸	<u>p</u> ∟ =	. 선			川川万	┦₹	_	匁 口	付 に 尹 頃	
		一般事項	1)衣浦東部広域連 2)工事請負契約書	合工事請	負契約約	。 监修 公共建築工事標準	生仕様書(建築工事編)		1和7年版)					 を実現するシステムのことをいう。 2. 本工事における情報共有システムは、(公財)愛知県都市整備協会が運営する「あいち建設情報共有システム」 を利用すること。(http://www.aichi-toshi.or.jp/akjs-ps/index.html) 3. 情報共有システムは「愛知県情報共有運用ガイドライン」及び「愛知県建築局発注工事における情報共有シス 	
	1.1.2	用語の定義	4. 本工事特記仕様書は *公共建築改修工事標準 「書面」とは、発行年月	順位 1 のある 義は原則 公共建業1 日が記載	● 2 場合は共 として、力 改修工 ○ 1.2「書 され、記	公共建築工事標準公共建築改修工事標準公共建築改修工事公共建築改修工事建築 物解体工事建築 物解体工事 建築 11.0億用する。 入札執行前に質問書の事標準仕様書(建築工事面」の用語の意義を次に名された文書をいう。なる	愛知県建築工事品質管理要領 提出によって確かめるものとっ	(令(令(令(令(令(令(令(令(令(令(令(令(令()))))))))) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	和7年版) 和7年版) 和7年版) 和7年版) 和7年版) 和7年版)				*工事写真	テム運用の手引き(案) Jに基づき利用すること。 (https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/kenchiku-kijyun.html) 4. 本システムを用いて作成及び提出等を行った工事関係図書については、システムにより電子納品することとし、 別途紙に出力して提出しないものとする。 5. 成果品の提出について、CADデータは情報共有システムへ登録し、電子納品をする。また監督員の指示がある 場合は、その指示による。 * 工事写真の撮影時期、内容、枚数等は下記のとおりとする。 1) 着手前 工事の着手に先だち、敷地、隣地及び周辺道路、建築物、工作物等の現況を撮影する。 2) 工事中 ①黒板(白板)に所定事項を明記し、工事の進捗状況を撮影、記録すると共に、特に施工後隠ぺい 又は埋設される部分は、被写体に幅広テープを添え撮影する。 記載事項:件名(工事名)、名称(工種)、位置、工程、備考、撮影年月日 ②監督職員の指示により、適宜提出する。 ※デジタルカメラの撮影素子の有効画素数は100万画素程度を標準とする。	
	1.1.3	官公署その他への	氏又は名を記すだけで *工事の着手、施工、完	成に当たり	り、関係で	, 官公署その他の関係組約	織への必要な届出手続等を過	星滞なく行	う 。					※デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得た上で、「デジタル 工事写真の小黒板情報電子化について」(https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/kenchiku-	
	1.1.4	届出手続等 工事実績情報シス テムへの登録	(CORINS)に、工事実績	情報の登	録を、そ	の内容について監督職	センター(JACIC)の工事実績 員の確認を(JACICの様式「 また、登録後にJACICが発行	登録のため	りの確認		1		* 竣工写真 節 工事現場管理	kijyun.htmlを参照)により行うことができる。 * 竣工時 外部(カラー 箇所) 内部(カラー 箇所)	
	1.1.7	関連工事等の調整	認書」を、監督職員へ持		事 区	分	<u> </u>	エ事	区分		4	1.	1.3.1 施工管理	*主任技術者、監理技術者、特例監理技術者及び特例監理技術者の職務を補佐する者(以下、「監理技術者補佐」 という。)の設置及びその他制度の運用については、「監理技術者制度運用マニュアル」(令和4年12月23日改正	
	1.1.7	以定工于 (1 0 1 1)	項目	建築 電気			項目		五 管 空調	浄化 備 考 槽			1.3.3 電気保安技術者)によるものとする。 ・・配置する ・・配置する	
			設備スリーブ箱入		* *		水槽・その他マンホール	*			章		1.3.5 电双床交换制值	* 1) 施工日·施工時間 制限 • 有() • 無	
1			同上用構造体補強 "防水処理	* *			厨房機器接続 化粧棚及び鏡	*	*					2) 施工に必要な実日数以外に見込んでいる事項 準備期間 ・30日 ※() 休日(年末年始休暇及び夏期休暇)・9日 ※()	
			天井·壁埋込器具切込補強 設備機器基礎·防水処理	* *		天井下地共 防水処理又は配管	実験台設備接続 ワイランド用受台	*	+		+			- その他の作業不能日 ・(: 日) ※ 図示による - 3) 施工順序 ※ 無 ・有()	
音			設備機器用アンカーボルト (外部)空気取入・換気ガラリ	*	* *	後器類に伴うもの	防煙シャッター、同用煙感知器、 防火戸自閉装置及び	*						4) 工事車両の駐車場所 場所制限 ※ 有 (駐車場所: ※ 敷地内 ・()) ・無 5) 資機材置場所 置場制限 ※ 有 (置場所: ※ 敷地内 ・()) ・無	
-			(内部)空気取入・換気ガラリ	*			各間の配線				_		、四人の口が下す	6) その他()	
			換気扇取付枠 建物内外配線配管ピット蓋	* *			同上盤までの電源送り 排煙口開放装置	*	*		∄_	1.	* 週休2日制工事 □3.11 施工中の環境保全等	│*週 休2日制工事実施対象工事 ※ 発注者指定 ・受注者希望・・その他 建築工事には 等│*「土壌汚染対策法」、「県民の生活環境の保全等に関する条例」、「市民の健康と安全を確保する環境の保全に 週休2日制工	工事
			建物内排水溝たて樋接続用横引管	* *			排煙口手動開放装置 消火栓組込発信器類及び取付	* *	+		-	1.	.3.12 発生材の処理等	関する条例」による措置・無・有(詳細は図示による) 実施要領は 1. 引き渡しを要するものは監督職員の指定する場所に整理し、発生物件調書を作成し、施設管理者へ引き渡す。 要知果建設:	
			発電機用 冷却用給水排水 燃料用油配管	* *			不燃性がス消火設備への電源送り 同上制御盤及び制御配線	*	*		血血	n l		2. 引き渡しを要しないものはすべて場外に搬出し、下記建設副産物の項及び関係法令等に従い適正に処理する。 HPから入手3. 本工事で発生する産業廃棄物のうち愛知県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物については、愛知県産業 ことができま	-
			// 通気管	*		》	電動黒板・電動バリマスク	*				*		廃棄物税が課税されるので適正に取り扱うこと。	v.pref
			" オイルタンク 動力制御盤及び配線	*			への電源送り 受水槽・高架水槽基礎	*			1			4. PCBを使用している機器材料は、適切な容器に収めた上で引渡しを要する。撤去した機器のメーカー名・型番・ wiehlijp/eosh 製造年月日を記載したリストを作成して発注者へ提出する。 /kensetsu-ki	cikaku
			自動制御盤及び配線 自動制御盤への電源送り	*		*	パ ・ パ 架台 天井・壁改め口	*	*		$\parallel_{\scriptscriptstyle{\sharp}}$	ŧ		5. 次の物品はPCBの混入が疑われるため、専門の分析機関に依頼し、その有無を確認する。 //kenehiku-ki 昭和47年以前の建築物:ポリサルファイド(チオコール)系コーキング	ijyun.
如			ファンコイルへの電源送り 液面電極体リレー及び配線	* *			床・改め口 汚水桝	*	*	汚水処理槽流入側	1			平成元年以前の製造機器: 蛍光灯安定器、コンデンサ、リアクトル、コンデンサ用放電コイル、変圧器(絶縁油中の濃度0.5mg/kg以下のものは対象外) 愛知県建設	副産物
אניו			床排水金物		*					槽入口汚水桝を除	- 11			上記以外においても、PCB混入の恐れがある場合は、監督職員と協議の上、確認すること。 リサイかは イドラ	ライン実
			流し台排水金物 "設備接続	*	*		雑排水桝 雨水桝	*	*		一通	<u>a</u>	* 特別管理産業廃棄物	*分析調査 () 式は次の愛勢	知県
共	1.1.8	疑義に対する協議等	よる ほか「愛知県建設」 「愛知県建築局設計変	局・都市・3 更ガイドラ	交通局・	建築局設計変更事務取	 正又は変更を行う場合の措置 扱要領」(令和3年4月1日改正	_ 置は、契約 E)及び	 書の規定に		-		* 建設副産物	1. 発生材については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)その他関係法令の規定 を遵守し「愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱」(以下「リサイクルガイドライン」という。) に基づき、適正に処理する。 2. 事前に建設副産物情報交換システム(以下「COBRIS」と言う。)に登録及び必要事項を入力し、COBRISより は建設企画課 A手すること できます。 https://www aichi.jp/soshi	±が v.pref.
通	1.1.9	工事の一時中止 に係る事項	*工事の一時中止の場合 1)契約約款第20条の規 一維持管理等に関する	うの措置に 現定により 基本計画	t、衣浦! エ事の- i書」(以	東部広域連合工事請負 - 時中止の通知を受けた 下「基本計画書」という。	無所のいないない。 実約約款に定めるところによ と場合は、「工事一時中止に())を提出し、発注者の承諾を) 員の体制、労働者数、搬入材	半う工事現 得るものと	する。					出力される、「リサイクルガイドライン」に定める計画書(①、②)を監督職員に提出する。 ① 再生資源利用計画書(実施書)(様式1) ② 再生資源利用促進計画書(実施書)(様式2) 3. 工事完了時に「リサイクルガイドライン」に定める実施書(①、②)の内容をCOBRISに登録及び工事登録証明書を作成し、監督職員に提出する。	kikaku
			器具等の確認に関す	ること及	び工事明		る基本的事項を明らかにする		***		項	Į		4. 建設リサイクル法第9条第1項の対象建設工事に該当する工事は、再資源化等が完了したとき、同法第18条第 1項に基づく報告として、監督職員に「再資源化等報告書」を提出すること。 https://www	v.
事	2節 .	L事関係図書	2/146 1071111	731 1100	工 → ▽ / ハ	ル川に開た、エヂ処物と	床 エ チ ること。							5. 産業廃棄物管理表(以下「マニフェスト」という。)集計表を作成し、監督職員に提出する。マニフェスト集計表 recyclejacic.	
	1.2.1	字阅读区音 実施工程表 施工計画書	*つり足場を使用するす	有(年 べてのエ 日労働局労	事におい	て、つり足場の組立・解	体作業中の墜落・転落による 平成22年7月6日)の注意事項	が働災害 [をふまえ <i>]</i>	防止のた	H22.7.23付22建立 第332号建設企画				は任意様式とし、交付した全てのマニフェストについて、交付年月日、交付番号、軍両ナンバー、廃棄物の内訳 (t又はm³)、マニフェストの照合・確認日(電子マニフェストの場合は、引渡し年月日、マニフェスト番号(連絡番号)、車両ナンバー、廃棄物の内訳、運搬・処分・最終処分の終了日)が記載され、受注者の記名があるものとする。また、紙マニフェストの場合は伝票を整理して保管し、必要に応じて検査員等に提示する。	
項	1.2.4	工事の記録等	施工計画書を作成し、*報告に用いる書式等は	監督職員 、 愛知県	に提出す 建設企画	⁻ る。 国課HP 建設技術基準等	等(建築)の関連様式を 碧南ī			課長通知 処する。		*	*撤去・更新時のフロン等の取扱い * 分別収集	*「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づいて行うこと。 *「リサイクルガイドライン」 別表3に従い、分別収集を行う。	
			(https://www.pref.a 1. 本工事は電子納品の			nsetsu-kikaku/kenchik i	u -kijyun.html)						* 再資源化施設への 搬出	の * 工事に伴い発生する指定副産物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出する。 ※ コンクリート塊 ※ アスファルトコンクリート塊 ※ 建設発生木材 ・()	
			2. 対象となる成果品の	作成につい	ハては、「	愛知県電子納品運用力	『イドライン」及び 「愛知県デジ ′site/cals/densinohin.htmlを		管理				* 再利用を図るもの		
			─ ただし、電子納品チェ	ックリスト	について	は、他の書類に同様の	内容を記載した場合、省略で		:する。					*上記及び石綿含有せつこうボード以外の処理・再資源化・管理型最終処分場で埋立処分	
				に必要なん	ハード及	びソフト環境の整備を行	・ラものとする。 うものとする。また、検査時(中間検査、	完了検			1	節 材 料 .4.1 環境への配慮	*「愛知県環境物品等調達方針」(https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000009402.htmlを参照。)別	
			員の指示がある場合	職員に報 はその指	告等を行 示による	う書面で電子データに。	よるものについては、以下を ፤ w+z	本とする	が、監督			1.	1.4.2 材料の品質等	記2(25)に掲げられた一般資材、建設機械等の選定に当たっては、事業ごとの特性、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、品目ごとの判断の基準を満足するものを使用するものとする。 1. 本工事に使用する資材等は、品質が規格値を満足しかつ価格が適正である場合には、県内産の優先使用に努めるものとする。	
			(2)「あいち電子納品	運用ガイ	ドライン」		納フォルダは「愛知県建築局	発注工事	こおける		\parallel			ナニワ建築設計室 碧南消防署仮眠室改修工事	番号
		* 唐祝サ友シフテノ		関する詳終			受注者協議の上、決定する。							建築士登録番号 151655号 縮尺 A-C	01
		・旧形パヤンヘテム		本工事は		も有システムを利用し、 ・子ネットワーク上で行う	エ 事施行にかかる手続き、文	章の情報	交換、					建架工登郵番号 151655号	71
			※ 受注者希望方式 ————————————————————————————————————	本工事 情報共	は、 受注 有システ	者が希望する場合、監督 ムを利用し、工事施行に	<mark>≌員と協議のうえ、受注者の</mark> こかかる手続き、文章の情報							大名 杉浦勝伶	
	ĺ			等を電	チネットワ	フーク上で行うことができ	6.				_ _				

章	項目	特 記 事 項 備 考	章		項 目			特		記	事	項	ą		ſ	備 考
		2. 本工事において愛知県内で産出された木材(愛知県内で産出された木材を使用した製材加工品を含む。以下、 「県産材」という。)を使用する場合は、以下による。			* 法定外の労災保険 * 事故報告	* 本工事において、受注: * 工事施工中に事故が発	者は法定 発生した場	外の労災 場合には、	保険に付直ちに監	けさなければ 怪職員に追	ばならない 通報すると	、。 ともに、	、事故発生報告書を	監督職員に速	!	
		* 県産材を使用する部位は、設計図書で定められた部位のほか、次のとおりとする。			* 工事中の安全管理	やかに提出すること。 *南海トラフ沿いの大規	模な地震を	発生の可	能性が平	常時と比べ	べて相対的	りに高ま	ミった旨の「南海トラエ	フ地震臨時情報」		
		*使用する県産材は、愛知県産材認証機構に登録された認定事業者(以下、単に「認定事業者」という。)が「あい ち認証材」として証明し、出荷したものとする。				が発表された場合、受 必要な安全対策措置が	注者は、絹	継続的に対	地震関連	[情報の収算	集に努め、	.工事中(□の建築物等及び仮詞	設物に対し、		
		*受注者は、工事現場に搬入した県産材が「あいち認証材」であることの確認を、出荷事業者が交付する、認定事				行うなど、有事に際して	ての備えを	行うこと。	,					の分析性的で		
		業者登録番号等(図-1)が明記された出荷伝票等により行う。 *受注者は、出荷伝票に記載された出荷事業者が認定業者であることの確認を、愛知県産材認証機構が運営管			* 工事の下請負	* 受注者は、下請負に付 1) 受注者が、工事の施	する場合 施工につき	には、次(総合的に	の各号に こ企画、指	「掲げる要件 『導及び調整	牛をすべて 整するもの	満たさた)である	なければならない。 こと。			
		理するWebページ(http://www.aichi-wood.com)にて公表される認定事業者一覧により行う。 図-1 - のませば、これは意味は、これ				2)下請負者は、当該下 3)下請負者は、建設業	下請負工事 業法に基づ	事の施工館 びく営業停	能力を有い	すること。 引中でないご	- J.					
		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				4)下請負者が碧南市の指名停止期間中で	の競争入権	札参加資	格者であ	る場合には	こ。 よ、碧南市	競争入	.札参加停止等措置 <u>?</u>	要領に基づく		
		3. 本工事において使用する材料のホルムアルデヒド放散量等の適用に関する区分は、「F☆☆☆☆」、「接着剤				5)下請負者は、「碧南	市が行う記	調達契約:	からの暴	力団排除に	こ関する事	≨務取扱	と要領」に掲げる排除	‡措置の措置		
		等不使用」、「ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用」、「非ホルムアルデヒド系接着剤使用」、「非ホルム アルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用」又は「非ホルムアルデヒド系接着剤及び			* 施工体制	要件に該当しない者 * 施工体制については「!	者であるこ 施工体制(と。 の適正化	に向けて	の現場点	検の手引き	き(案)」	によること。			
1	* 再生資源の利用の	ホルムアルデヒドを放散しない材料使用」のいずれかとする。) * 使用する資材は、リサイクル資材の率先利用を図るため、「愛知県あいくる材率先利用方針」を遵守し、あいくる あいくる材認定資	1		* 施工体制台帳	*建設業法第24条の8第 項に変更が生じたこと								りとされた事		
	指定	材として認定されている資材の利用に努める。 1)愛知県あいくる材率先利用方針第3のAAケループ。及びAケループ。の認定資材を優先的に使用する。 林一覧、愛知県あいくる材率先利用方針第3のAAケループ。及びAケループ。の認定資材を優先的に使用する。			* 施工体系図	(公共工事の入札及び *下請契約を締結する場	契約の適	正化の促	進に関す	る法律第1	15条)			を即で 老 なが		
		2) 指定材一覧 方針、その他提出				公衆が見やすい場所(仮囲いなる	ど)に掲え	たする 。							
章		施工場所 品目 規格 再生原料等の指定 ・指定しない ・指定しない	早		* 各種調査への協力 * 工事コスト調査の協力		調査制度の	の調査対象	象工事と	なった場合	iは、工事	完了時に	に愛知県が行う工事:	コスト調査に		
		・指定しない・ あいくる材の指定があるものについて、上記一覧以外のものを使用する場合は、監督職員の承諾を要する。				協力しなければならなし また、本工事の一部を	い。なお、 · 下請けす	コスト調査 る場合は	≦における 、下請負	る作業内容 者について	等につい 〔もエ事コ〕	ては別途 スト調査	金、監督職員の指示 ₹等の協力を得ること	によること。 …		
		3)指定材以外の使用に努める品目は、次のとおりとする。 https://www.pref. eichi.jp/site/			* 請負代金内訳書等	* 本工事における木材利 * 碧南市建設工事施行事	川用状況に	関する調	査に協力	りすること。					別内記:	‡ で
) * 工事完了時にあいくる材の使用実績をリサイクルガイドライン様式8「あいくる材使用状況報告書」及び様式9			- marine o	作成し、工事請負契約 及び雇用保険の法定補	締結後14	日以内に	監督職員	員に提出す	ること。な	お、内部	尺書には、健康保険.	、厚生年金保険	7331 311/0	
	報告 5節 石綿含有建材の調査	「あいくる材使用実績集約表」を電子データで監督職員に提出する。	$\ - \ $		·- ·- ·- ·- ·	*契約約款第3条第1項0	の規定によ	よる「工程	表」は、多	発注者から	請求があっ	った時に	こ提出すること。			
-	1.5.1 事前調査	* 大気汚染防止法に基づき、適正に対応すること * 調査範囲 ・ 図示による ・ (・) 内装仕上げ材			* 騒音・振動対策	*「建設工事に伴う騒音技 する。また、騒音規制法	法、振動規	制法の規	見制の対	象となる作	業(特定建	建設作業	美)及び下記に指定し	た建設機械に		
		* 既存の設計図書、調査報告書の貸与 () 有() ・無 * 石綿含有分析調査 ※ 行わない ・ 行う(調査範囲: 分析方法:)				ついては、「低騒音型、 用する。	、低振動型	业建設機 板	域の指定!	に関する規	程」(建設	大臣告	示)により指定された	:建設機械を使		
	6節 施工調査 1.6.2 施工数量調査	* 調査範囲 ※図示による ・外壁 ・屋上防水 ・内装 ・塗装 ・()	般			作業名: 作業名: 作業名:			建設機械建設機械							
		*調査方法 ※図示による ・打診法 ・赤外線法 ・反射法 ・()				*排出ガス対策型建設機	機械の適用	∄ ※	(有り	- 7	なし	3 v. == ±₩		1		
	1.6.3 調査破壊部分の補修 7節 施 エ				建設機械	(対象機種:バックホウ ローラー類、	、ホイルク	レーン(じ	゚゙゚ヸれも゙゚゚゙	ディーゼルエ	エンジン出	∤力7.5~2	-260KW))			
	1.7.2 技能士	* <u>※ 適用する ・ 適用しない</u> 適用職種 標準仕様書 工事種別 標準仕様書 工事の細分 資格(技能検定における選択作業 備 考	共		*貨物自動車等の車種	(対象規制値:排出ガス *工事場所が「自動車No	Ox•PM法	よ」の規制	対象地域	域内において	ては、「貨	物自動車	車等の車種規制非適	適合車の使用		
		※ 鉄筋工事 加工及び組立て 1級鉄筋技能士 適用工事は下記による ※ コンクリート工事 型枠 1級型枠施工技能士 ※延べ5,000㎡			規制非適合車の使用抑制等に関する要綱	抑制等に関する要綱」 地域外からの流入車も	(愛知県:h	https://w	/ww.pref.a	aichi.jp/kan	nkyo/onda	anka/car	r/yoko/index.html)(こ基づき、対象		
		※	, z		* 特定特殊自動車の	*受注者は、軽油を燃料	とする特別	定特殊自	動車の使	用にあたっ	って、燃料	を購入し	して使用するときは、	当該特定特殊		
通		※ シート防水 認められる工事	通		燃料	自動車の製作等に関す 選択しなければならない	い。また、	監督職員	から特定	2特殊自動	車に使用し	した燃料	4の購入伝票を求め	られた場合、提		
						示しなければならない。を遵守させるものとする	。なお、軽さ る。	油を燃料	とする特	定特殊自動	動車の使用	まにあた	:っては、下請負者等	に関係法令等		
	1.7.5 施工の検査等	* その他必要と認められる技能検定の職種及び作業の種別(* 見本施工 ※ 行わない・行う()	事		*薬液注入工法	*薬液注入工法により地 省事務次官通達)によっ		lを行う場	合は、「薄	薬液注入工:	法による	建設工事	事の施工に関する暫 [®]	定指針」(建設		
		・ 下記の室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告すること。			* 石綿含有仕上塗材 の除去・補修、		F業(仕上	塗材の除っ	去・補修	、コア抜きな	やアンカー	ボルト打	T設作業など仕上塗	材の破断を伴う全	ての作	業)
		*測定時期()			既存壁等への作業	作業方法等について関	関係法令所	听管部局 及	及び監督!	職員と協議	もの上、適	切な石絹	綿飛散防止措置を講	彰じること。		
		* 対象物質			*建設業退職金共済 特 制度	*本工事に関わる自社及 書を提出しなければな	らない。制	川度を使用	しない又	は証紙を則	購入しない	\場合は	は、理由書等を提出す			
項	8節 工事検査及び技術検査	*測定する室/測定箇所数 (/ /) (/) (/) (/) [項		* 契約後VE	工事完成後、速やかに *本工事は、契約約款第	第20条第21	項に基づ	く提案を	受け付ける	契約方式	(以下「	契約後VE」という。)(Ð		
	1.8.2 技術検査 9節 完成図等	*中間技術検査・行わない・行う(実施回数: 実施時期:)				(※対象工事(契約金 *契約後VEを行う場合に	を額が2507 こけ 「愛知	万円未満	の場合を	·除く。) VE実施要	・対象外	· 工事) {	とする。 行うものとする			
	1.9.1 完成時の提出図書	*工事完了前に次の図書を作成し監督職員に提出する。 1) 完成原図(施工図を除く) 1部 2) 完成図(施工図を除く)の2つ折り製本 1部				「愛知県建設局契約後 https://www.pref.aichi.	VE実施要	要領 は、	建設企画	課HP(下部	記URL参照	円 (日本)	載している。			
		3)完成図(施工図を除く)及び契約図のA3版2つ折り製本(合本作成) 2部			:	* VE提案の範囲					_					
		4)契約図の2つ折り製本 1部				※請負者がVE提案を行うものとする。[工事会	全体をVEI	提案の対	象とする	場合]						
	1.9.2 完成図等	8)契約図・完成図(施工図を除く)のPDFファイル(公共建築課PDFファイル作成ガイドラインによる) CD-RまたはDVD-R 2部 * 完成図の種類は下記とする。				・請負者がVE提案を行 変更により請負代金額										
		1. 配置図 2. 平面図・求積図 3. 仕上表 4. 施工図 5. その他監督職員の指示するもの * 原図作成方法 ※ CAD作成し紙出力 紙の種類 ※ PPC用ポリエステルサンド和紙同等品 ・トレーシングペーパー				<u>- 的物をVE提案の対象</u> • () [そ	象としない	場合] 皇室を求る	める範囲	によって適!	官記載す	Z1				
		サイズ ※ 設計原図と同じ ・(·	*VE提案の実施にあたり 体となり当該第三者との	り、関係機	機協議等	等第三者。	との調整等	を要する	提案につ	⊃いては、あらかじめ	、請負者が主		
		_・提出しない			* CCUSの活用	*建設キャリアアップシス	ス テムの活	用に関し	て、工事	成績評定に	こおいて評	価を希望	望する場合は、工事			
		CAD図面の作成にあたっては国土交通省「建築CAD図面作成要領(案)」に基づいて作成する。 * 複写図作成方法 ・1.8.1完成時の提出図書3)に代える ・()			共通事項	に工事打合せ簿により							<u> </u>	耳 る 		
	その他 * 光熱水費	 *建物引き渡しまでの電気、水道、ガス等の料金(基本料金を含む)は、協議の上、各工事受注者が負担する。	2 章			*騒音・粉じん等の対策 *防音パネル等を取り付						よる ・()			
	* 現場代理人等	*現場代理人においては、受注者との直接的な雇用関係、主任技術者(監理技術者)、専門技術者においては、受注者との		2節 2.2.1	足場等	*足場を設ける場合は、						て」(亚F	ポ21年4日24口巨生	労働省労働其		
		* 契約約款第11条に規定する現場代理人、主任技術者(監理技術者)の通知は、所定の様式(現場代理人等通知書)により、 監督員を通じて発注者に提出しなければならない。また建設業法に基づく監理技術者補佐、専門技術者を定めたときも	仮設工事	L.L. I	١٠ ١٥- ١٠	準局長 基発第042400 ある足場に関する基準	02号)に規	見定する「き	手すり先	行工法等に	こ関するガ	イドライ:	「ン」により、「働きやす	すい安心感の		
			事			変更の作業は、「手すり	り先行工法	去による足								
		*受注者は、主任技術者について建設業法施行令第27条第2項の規定に基づき他の工事と兼務させる場合や監理技術者に ついて同施行令第28条及び第29条の規定に基づき監理技術者補佐を専任で配置することにより他の工事と兼務させる場合	╟╫			手すり先行専用足場方	プ式により									図面番号
		にあっては、所定の様式により兼務届を作成の上、新たに契約した工事については工事請負契約締結後5日以内に、現に 施工中の工事については原則兼務期間の始期より前に、監督職員を通じて発注者に提出すること。						ナニワ	建築設計	·室	碧南河	肖防署仮	反眠室改修工事			
		* 監理技術者の兼任要件等については、「建設業第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者の配置要件 について」のとおりとする。(https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/tokureikanrigijutusha.htmlを参照)					3	建築士登	録番号 1	51655号	建筑:	で かんしょう かんしょ かんしょう かんしょう かんしょ かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	事特記仕様書 2/9		宿尺	A-02
	* 火災保険等加入	こりに					3	建築士氏	名	杉浦勝裕 設計	~~~		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
	方法等	引渡しの日までとする。(特に定めのない限り、契約上の工事完成期日経過後14日間とする。)保険金受取人					検図	製図		āZ āT		衣浦	甫東部広域連合			
		(被保険者)は、受注者とする。	ال													

章		項 目		特 記 事 項	備 考	章	項	目	特 記 事 項 備 考
				*屋根面からの墜落事故防止対策として、必要に応じて、JIS A8971(屋根工事用足場及び施工方法)に基づき、建 方作業台、渡り廊下、墜落防護さく等の足場及び装備機材を設置する。					*固定金具の材質、形状及び寸法 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれら鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので厚さ0.4mm以上
2				*外部足場 ※ 枠組足場またはくさび緊結式足場 ・単管本足場 ・仮設ゴンドラ ・移動式足場 ・() 設置するシート等 ・防護シート(JISA8952) ・防護ネット(JISA8960) ・防音シート・() 足場、防護シート等の設置節囲 ※ 図示による * 内部足場 ※ 脚立・足場板等 ・枠組足場またはくさび緊結式足場 ・() * 材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・() * 高さが5m以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具はフルハーネス型とし、「墜落制止用器具の規格」(平成31年1月25日厚生労働省告示第11号)によるものとする。	表2.2.1]	3		頁及び工程	 ・図示による ・() *断熱工法に用いる断熱材 種類及び厚さ ・図示による ・() *新規防水層の種別 ・() ・図示による *脱気装置の種類、設置数量 ※ ルーフィング・シート製造所の仕様による ・図示による *仕上塗料の種類 () ・図示による 使用量 ※ ルーフィング・シート製造所の仕様による ・図示による *SI-M1及びSI-M2の場合の防湿用フィルムの設置 ※ 図示による *() *S-C1の場合の保護モルタルの塗厚 ※ 図示による ・()
章	3節 2.3.1	養 生 既存部分の養生	生	* 既存部分の養生 ※ ピニルシート、合板等により適切に行う ・図示による ・() * 既存部分の既存家具、既存設備等の養生方法 ※監督職員の承諾を受けてピニルシート等で行う ・図示による * 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ・図示による ・ビニルシート等 ・保管場所() * 固定された備品、机・ロッカー等の移動 ・図示による ・移動しない			.4 施 塗膜防		*接着工法の場合で下地がプレキャストコンクリートの場合の目地処理 ※ 図示による ・() *S-F1又はSI-F1の場合のプレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り ※ 図示による ・() *一般部のルーフィングシート張付(機械式固定法)で建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※ 図示による *屋内保護密着工法の場合の保護層の施工[立上り部の保護モルタル塗厚] ※ 7mm以下 ・図示による ・()
仮		仮設間仕切り ・仮設扉 に設物		*種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 [表2.3.1] 設置箇所 ※ 図示による A種、B種の場合の材料 ・ 合板(厚さ ※ 9mm ・()mm) ※ せっこうボード(厚さ ※ 9.5mm ・() 間仕切りへの仕上げ ※ 無 ・ 有(範囲及び仕上げは図示による) *仕様 ※ 合板張り木製扉程度 ・() 設置箇所 ※ 図示による ・()	mm)			が及び工程	* 新規防水層の種別 ※ 表3.6.1による ・() ・図示による * 仕上塗料の種類 () ・図示による 使用量 ・図示による ※ 主材料製造所の仕様による ・() * 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ・図示による ※ 主材料製造所の仕様による ・() * 保護コンクリートの仕様 ・図示による ・()
	2.4.1	及 監督職員事務所 受注者事務所等 ・監督職員事務所 備品 ・受注者事務所、	等	* 監督職員事務所 ※ 設けない ・構内に設ける() が程度 ・既存建物内の一部 監督職員の指示を受け、必要に応じて次の備品を置く。 * 標準備品 机、いす、書棚、行事予定表、ゴム長靴、雨合羽、保護帽、懐中電灯、寒暖計、墜落制止用器具、 衣類ロッカー、受注者加入の電話子機、冷暖房機器、消火器、湯沸器、掃除具 * 選択備品 ・パソコン ・プリンター ・FAX ・複写機		水 3.1.	及 .2 材	が が工程 料	* 改修工法の種類 ※ 図示による ・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 [表3.1.2] ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 * シーリング材の種類 ・ 図示による ※ [表3.7.1]による ・ () * シーリング材表面の仕上 ・仕上げなし * コンクリート打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地寸法 ・ 図示による ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上 ・ ()
I		材料置場その他 仮設物の設置場 ・建設工事名称板	所及び	*受注者事務所(設ける場合) ※ 構内(従業員宿舎除く) ・構外 *材料置場 ※ 構内 ・構外 *その他仮設物 ※ 構内(従業員宿舎除く) ・構外 *建設工事名称板 ・設ける ※ 設けない ・他工事と共同設置 1.200以上	1	改 3.7. 8節	.8 シ ー	-リング材の試験	*ガラス周りの目地 ・図示による ※幅・深さとも5mm以上 ・() *上記以外の目地 ・図示による ※幅・深さとも10mm以上 ・() *接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 ・図示による ・()
事		建設現場標識の	設直	* 建設現場標識 ※ 設ける(他工事と共同設置を可とする) ・ 設けない			.2 材		* 材種等 ※ 図示による ・() [表3.8.1] * 表面処理鋼板の場合 表面及び裏面の塗膜の種類※図示による・() 耐酸被覆鋼板 ・使用する ・使用しない *とい受金物の材種、形状及び取付け間隔 ・図示による ※ 表3.8.2により溶融亜鉛めっきを行ったもの * 多雪地域 ・ 適用する ・ 適用しない * 既存とい、その他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・図示による ・()
		建設工事名	名 称	下板(例)	1,000以上	+		,	* 鋼管製といの防露巻き ・ 図示による ※ 表3.8.4による ・() * たてどい受金物の取付け ・ 図示による ・() * ルーフトレンの取付工法 ・ 図示による ※ 3.8.3(8)による ・()
	1節・	一般事項		発 注 者 衣 浦 東 部 広 域 連 合 工事施工者 〇〇建設株式会社 工 事 監 工 書 四 日			アルミ= .2 材	ニウム製笠木 料	* 部材の種類 ・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ・板材折り曲げ形(・オープン形式 ・シール形式) 板材折曲げ形の場合 本体幅 ※ 図示による ・() 板厚 ・図示による ※ 2.0mm ・()
3	3.1.3 1節~6 3.1.4	*保証期間 施工一般 節 防水工事 改修工法の種類・工利	程	* 防水の保証期間は工事目的物引渡しからモルタル防水5年、その他防水10年とする。 * 降雨等に対する養生方法 ※ 3.1.3(5) による ・ 図示による ・ () * 防水改修工法・種別 ・ 図示による * 立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去 ・ 撤去しない ・ 図示による * 屋内防水で、新規防水工法にて保護層を新設 ・ 新設する ・ 図示による * POAS、POAS、POD、POD、POS、POS、POX工法における改修用ドレンの設置			.3 I		*表面処理の種別 ・() ・図示による [表5.2.2] *既存笠木撤去及び新規笠木の下地補修の工法 ※ 図示による ・() *板材折曲げ形笠木の取付け方法 ※ 図示による ・() *建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※ 図示による ・()
章	3.2.6	既存下地の処理	理	工法()・設置する・設置しない・図示による * 既存下地 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示による・() * 既存防水層の処理[L4X工法] 仕上げ塗装の除去 ※ 図示による・() * POS工法及びPOSI工法(機械)における 既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理			一般事 .4 外壁		外壁仕上 コンクリート打放し仕上げ モルタル塗り仕上げ タイル張り仕上げ タイル張り仕上げ ひび割れ部・樹脂注入工法 ・樹脂注入工法 ・樹脂注入工法
	3節	アスファルト防水		・図示による ※ 3.2.6(4)(ウ)(g)による ・() * 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環取付部、塔屋出入口部及び * 防水層末端部等の収まり部の処理 ・図示による ・監督職員と協議		4 			・Uか・シール材充填工法 ・Uか・シール材充填工法 ・シール工法 ・図示による ・欠損部・充填工法 ・充填工法
防	3.3.2	材料		* 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・図示による ※ 表3.3~表3.3による ・() * 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類、厚さ ・図示による ※ 表3.3~表3.3による ・() * 押え金物 材質及び形状寸法 ・図示による ※ アルミニウム製L―30×15×2.0mm程度 ・() * 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材厚さ ・図示による ・()		外			・モルタル塗替え工法
水				*屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ・図示による・() *絶縁用シート材料・図示による・ポリエチレンフィルム@0.15㎜以上・フラットヤーンクロス(70g/㎡程度)・() *立上り部の保護の乾式保護材・図示による・() *立上り部の保護のれんが・図示による・()		壁			注入工法 ・注入口付アンカーピンニング部分エポーキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング部分エポーキシ樹脂注入工法 ・ 横脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポーキシー ・ 注入口付アンカーピンニング・全面エポーキシー ・ 注入口付アンカーピンニング・全面エポーキシー ・ 注入口付アンカーピンニング・全面オポーキシー ・ 注入口付アンカーピンニング・全面オポーキシー ・ 注入口付アンカーピンニング・全面オポーキシー ・ 注入口付アンカーピンニング・部分エポーキシ樹脂注入工法
改		種類及び工程		* 屋根保護防水 新規防水層の種類及び工程 種別 ・() ・図示による [* 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 ・図示による ・() () * 立上り部における保護工法 ・図示による ・()	表3.3.3] ~[表3.3.6] 表3.3.7]	改			横脂注入工法 ・注入ロ付アンカービンニング エホーキン樹脂 ・注入ロ付アンカービンニング 全面 ポリマー ・注入タイル固定工法 ・タイル部分張替え工法 ・充填工法 ・モルタル塗替え工法 ・タイル張替え工法
修					~[表3.3.9]	修 4.1.	5 改修	を後の塗り	目 地 ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法 ・ では後の新規仕上げの種類 ※図示による ・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り
I		₩ -		*屋内防水 新規防水層の種類及び工程 種別・()・図示による *保護層の設置 ・()・図示による E-1の工程3 ・図示による ※ 常時水に接する部位に適用 ・()		2節	仕上コンクリート	:げの種類 ト打放し仕上げ外	・複層仕上塗材塗り ・可とう形改修用仕上塗材塗り ・各種塗料塗り ・マスチック塗材塗り ・外壁用塗膜防水材塗り 壁の改修
事	3.3.5 4節 i	施 エ 保護層等の施コ な質アスファルトシート防		* 立上り部保護方法 ・図示による ・() れんが押さえの場合 工法 ・図示による *屋上排水溝 ※ 図示による ・()	表8.1.5]	多 (4.2. (4.3. (4.3. (4.3.	.4 材 .5 材 .5 樹脂 3.2 ひび	料) 旨注入工法 「割れ部改修	* Uカットシール材充填工法に使用するシーリング材 ※ ポリウレタン系シーリング材(・1成分形 ・2成分形) ・() * シール工法材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ・() ・図示による * 充填工法材料 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ・() ・図示による * 種類 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法(注入間隔 ※ 200~300mm ・()、樹脂注入量:) ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 (注入口間隔:)
	3.4.2	材料		* 改質アスファルトシート 種類及び厚さ ・図示による ※ 表3.4.1~表3.4.3までによる ・() * 押え金物 材質、形状及び寸法 ・図示による ※ アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度 ・() * 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材(発泡プラスチック断熱材)の種類及び厚さ ・図示による ・()			六进	<u>事項</u>	・機械式エポキシ樹脂注入工法 (注入口間隔:) 図面番号
	3.4.3	種類及び工程		* 新規防水層の種別 ・() ・図示による * 仕上塗料の種類 () ・図示による 使用量 ※ アスファルトルーフィング類製造所の仕様による ・図示による ・() * 脱気装置の種類、設置数量 ※ 改質アスファルトシート製造所の仕様による ・図示による					建築士登録番号 151655号 縮尺 A-03 建築 立修工事特記仕様書 3/9 建築 士氏名 杉浦勝裕
		合成高分子系ルーフ 材 料	フィングミ						検 製 衣浦東部広域連合

章	項 目	特 記 事 項	備考	章	:		特記事項	備考
	樹脂注入工法)	*ひび割れ部の注入状況の確認方法 ※コア抜き取り ・()	unt 7	<u></u>			*断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級・図示による・()	ביי נחוו
4.4.6 _		コアの抜き取り個数 ※ 1個/長さ500mごと及びその端数 ・() 抜取り部分補修方法 ※ 図示による ・()				材料	*網戸 防虫網 材質 ※ 合成樹脂製 ・ カ ラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス製(SUS316) ・ 図示による 線径、網目 ・ 線径0.25mm以上、網目16~18メッシュ(合成樹脂) ・ () ・ 図示による 表面処理の種別 ・ ()・図示による C種における常温乾燥形の塗装()	[表5.2.2]
	材 料	既製目地材・・使用する(形状)・使用しない					色 ※ 標準色 ・特注色 結露水の処理方法()	[衣5.2.2]
(4.4.5	材 料)	*アンカーピンニング注入工法用材料 ボリマーセメントスラリー ※図示による ・()			3節 7	エー法 樹脂製建具	*水きり板 ・図示による ・() ぜん板 ・図示による ・()	[± c
	T 11	アンカーピン材質等 ※ステンレス鋼SUS304 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・() *注入口付アンカーピンニング注入工法材料			5.3.2	性能及び構造	* 耐風圧性、機密性、水密性 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 図示による ・ ()	[表5.3.1]
4.3.11	アンカーピンニング部分	*下地処理 仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処置 ※ 図示による () *浮き部分に対するアンカービン本数 ※ 16本/㎡(一般部分)、25本/㎡(指定部分)、5本/m(狭幅部)					*防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・図示による ・T-1 ・T-2 ・() *断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ・図示による ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8 ・()	[表5.3.2]
	」 エポーキシ樹脂注入工法	· () ・図示による * アンカービン固定用樹脂注入量(挿入孔1か所当たり) ※ 25ml · () ml			5.3.3	材料	*外壁に面する建具の日射熱取得性の等級 ・図示による ・() *網戸 防虫網 材質 ※ 合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316) ・図示による	
		*浮き部分に対するアンカーピン本数及び注入口の数 ※ 表4.3.5及び図4.3.2による ・() *注入量(注入口1か所当たり) ※ 25ml ・()ml					線径、網目 ・線径0.25mm以上、網目16~18メッシュ(合成樹脂) ・() ・図示による	
4.3.13	アンカーピンニング全面ポリ	* 浮き部分に対するアンカーピン本数及び注入口の数 ※ 表4.3.5及び図4.3.2による · ()			5.3.4	形状及び仕上げ	*ガラス ・() ・図示による *表面色 ※標準色 ・特注色	
		*注入量(注入口1か所当たり) ※ 50ml ・()ml		5	4節	鋼製建具	*水きり板 ・図示による ・() ぜん板 ・図示による ・()	
外 4.4.12_	部分エポーキシ樹脂注入工法	* 浮き部分に対するアンカーピン本数			5.4.2 (5.4.6	性能及び構造 標準型鋼製建具)	*簡易気密型ドアセットの気密性、水密性の等級 ※ 気密性A-3、水密性W-1 ・() 耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 ・図示による コース・ストップは ************************************	[表5.2.1]
4.3.15	注入口付アンカーピンニング	*注入量(注入口1か所当たり) ※ 25ml ・()ml *浮き部分に対するアンカーピン本数 ※ 表4.3.6及び図4.3.4による ・()		章			耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級 ・ 図示による ・() * 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・ 図示による ・() () () () () () () () () (
	_	*注入量(注入口1か所当たり) ※ 25ml ・()ml				材料	*断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ・図示による ・() *点検口の類のくつずりの材料 ・図示による ・()	
壁 4.3.16 4.4.1 <u>4</u>	全面ポリマーセメントスラリー	* 浮き部分に対するアンカーピン本数及び注入口の数 ※ 表4.3.6及び図4.3.4による ・() *注入量(注入口1か所当たり) ※ 50ml •() ml			(5.4.6 5.4.4	標準型鋼製建具) 形状及び仕上げ 標準型網制建具)	*鋼板類の厚さ ※表5.4.2による ・図示による ・()	
	注入工法 対ル張り仕上げ外壁の改 ***			建	(5.4.6 5.4.6	標準型鋼製建具) 標準型鋼製建具 網制級是建具	*くつずりの仕上げ ・HL(ステンレス鋼板の場合)・図示による ・() *形状及び寸法 ・図示による ・()	[表5.4.5]
改 4.4.5	材料	*タイル(部分)張替え工法用材料 接着剤の種類 ・ボリマーセメントモルタル ・外装タイル接着剤 タイルの形状、寸法、耐凍害性の有無、耐滑り性、標準色・特別色の別等 ※ 図示による ・()			5.5.2	鋼製軽量建具 性能及び構造 煙進刑網制軽量建具	*簡易気密型ドアセット(気密性:A-3) ・適用する ・適用しない ・図示による ・()	
		タイル役物 ・使用する ・使用しない 試験張り ※ 行わない ・行う 見本焼き ※ 行わない ・行う		 	(5.5.6	保华 望剩 发 整重建具	・ 耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級 ・ 図示による ・()) ・	
版		既調合モルタル ※ 図示による ・() *外壁タイル接着剤張りのジーリング材 *・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			5.5.3		* 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ・ 図示による ・() * 鋼板類の種類 ※ 図示による ・ ()	
113	ゟノ』화八兆 ## = 구·+	シーリング材の種類 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・() 伸縮調整目地及びその他目地 ※変成シリコーン系 ・()) * * #5.0 * * * * * * * * * * * * * * * * * *	`		ľ		ステンレス鋼板 ※ SUS304 ※ SUS430J1L ※ SUS443J1 ・図示による ・()	
4.4.7 4.4.8	タイル部分張替え工法 タイル張替え工法	*既存の下地モルタル等を撤去せず、1カ所当たりの張替え面積が0.25㎡を超える場合の工・図示による・(*伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置・※表4.4.2による・()・図示による *見本焼・有・※無試験張り・有・※無)	"	5.5.4 (5.5.6 5.5.6	形状及び仕上げ 標準型鋼製軽量建具 標準型鋼製軽量建具	・HL(ステンレス鋼板の場合)・図示による・()	[表5.4.5]
ፗ		・ スペー・スペー・スペー・スペー・スペー・スペー・スペー・スペー・スペー・スペー・				ステンレス製建具 オ 料	*ステンレス鋼板 ※ SUS304 ※ SUS430J1L ※ SUS443J1 ・図示による ・()	
		「		 事	5.6.4	形状及び仕上げ	*表面仕上げ ※ HL ・() ・図示による *曲げ加工 ※ 普通曲げ ・角出し曲げ ・図示による	
事		外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り	[表4.4.5]	1	7節 :	木製建具 材料	 *種別 ※ A種 ・B種	
		*有機系接着剤によるタイル張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理・・図示による・()					*フラッシュ戸の材料 表面材の種類 ・普通合板の規格 ・天然木化粧合板の規格 ・特殊加工化粧台 表面材の品質等 MDFの表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分及	
		下地モルタル塗りの接着力試験 ・() ・図示による タイルの種類等 ・外装タイル ・ユニットタイル	[表4.4.6]				による区分	
	キシ樹脂注入タイル固定工法	*注入口付アンカーピンの本数 ()本/m ・図示による *注入量(注入口1か所当たり) <u>※</u> 25ml ・()ml					*かまち戸及び鏡板の材種 ・() ・図示による * 必ずまの種別及びふすま紙の上張りの種類・() ・図示による	
5節 1	仕上塗材仕上げ外壁等の		- ينجو		5.7.3	形状及び仕上げ	*枠及びくつずりの材料 ・() ・図示による *表面板の厚さ ※表5.7.6による ・図示による	
4.5.2	材料	*塗り仕上げ用材料(仕上塗材) 種類、仕上げ形状、工法 ・() ・図示による 外装厚塗材Si、Eにおける上塗材 ・塗る ・塗らない	[表4.5.1]		5.7.4	工法	*見込み寸法 ※表5.7.7による ・図示による *引き戸 召合せかまち ・いんろう付き ・	
		外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 () 図示による * 複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の耐候性 ※ 耐候形3種 () 図示による				建具用金物	*縁の仕上げ ・() ・図示による	
4.5.4	既存塗膜等の除去、	*複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類※ 水系アウリルのつやあり ・(*工法 ・サンダーエ法・高圧水洗工法 ・塗膜は<離剤工法 ※ 水洗い工法(高圧水洗機(10~15MPa))	[表4.5.2]		5.8.2	材質、形状及び寸法	* 金物の種類及び見え掛り部の材質 ※表5.8.1による(表の特記の適用は図示による) ・() * 金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ※表5.8.2による ・() ・図示による	
	材料及び工法	*下地調整 下地調整塗材に代えてポリマーセメントモルタルを使用 ・使用する ・使用しない *処理範囲 ※既存仕上面全体 ・() ・図示による					* 樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ※ 表5.8.4による ・()・図示による * 木製建具用丁番の枚数及び大きさ ※ 表5.8.4による ・()・図示による	
		下地のひび割れ部等の補修 ()・図示による ************************************				取付け施工	* 戸車及びレール ※表5.8.5による・()・図示による *握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等のかけけ位置 ・図示による・()	
4.6.2	マスチック塗材塗り仕上げ外り マスチック塗材塗り	種別 ・A種 ・B種	[表4.6.1]		5.8.4		*マスターキー ・製作する *鍵 ※ 3本1組とし、室名札を付ける ・() 鍵箱 ・要 ・不要	
	外壁用塗膜放水材による 材 料	*塗り仕上げ用材料(外壁用塗膜防水材) 仕上げの形状及び工法 ・() ・図示による	[表4.7.1]		9即 5.9.2	自動ドア開閉装置 性能・機構	* 戸の開閉方式 · () ・図示による 。 ・	
		模様材の種類 ※図示による・・() 仕上げを砂壁状、じゅらく状等とする場合の模様材の種類 ※ 図示による・・()					* 自動ドアの開閉装置の性能 駆動装置の性能値 ※ 表5.9.1による(引き戸用)・()・図示に 本格子は男子原原型 1 日の引き三甲原動株学の供物 ※ 表5.9.1による(引き戸用)・()・図示に	
		仕上塗料の種類 ※ 図示による ・() *仕上塗料の耐候性 ※ 図示による ・()					車椅子使用者用便房出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※表5.9.2による ・()・図示に 検出装置の性能 ※表5.9.3による(引き戸用)・()・図示に を出装置の性能 ※表5.9.3による(引き戸用)・()・図示に	よる
4.7.3	施工一般	下地挙動緩衝材・使用する・使用しない・図示による					引き戸用駆動装置及び引き戸用検出装置の防錆の適用 ・適用する ・適用しない ・図示に *引き戸用検出装置の種類 ※表5.9.4による ・()・図示に タッチスイッチの開閉スイッチ ・光線式タッチス	よる
	一般事項 改修工法	* 改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法					・無線式ダッテスイッテ 車椅子使用者用便房スイッチの開閉スイッチ ・ 大脈(開・閉)押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ ・ 実結防止措置 ・ 要 ・ 不要	
章	以炒工伍	* 以修工法 ・かふせ工法 ・版玄工法 * 新規建具を設ける壁部分の開口の開け方及び新規建具周囲の補修工法及びその範囲 ※ 図示による * 補修範囲 ※ 図示による ・()				自閉式上吊り引戸装置 性能等	* 凍稲房が正角直 * 自閉式上吊り引戸装置の性能 ※ 表5.10.1による ・() ・図示による	
建 5.1.4	防火戸	* 情感型四			11節	重量シャッター	*シャッター種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・	図示によろ
改 5.1.5	建具見本の製作	* 防火アの日朝射頭板構及び防火アと連動させるもの * 建具見本の製作 ・ 有 ※ 無 * 特殊な建具の仮組 ・ 実施する ・ 実施しない			J.11.Z	ルルスい次件	・ 1 ・ 1 1 1 1 1 1 1	図面番号
工 5.1.6 事 5.1.7	取り付け調整等 その他	・ 対対体を建設の Mind で表記する ・ またでは、 ・ブラインドボックス等の再使用 ・ 有 ・ 無 再使用するもの ・() ・ 図示による ・ 防犯建物部品の使用 ・ 使用しない ・ 使用する(使用箇所)						₹ A-04
	アルミニウム製建具	Envertence /					建築改修工事特記仕様書 4/9	
	性能及び構造	* 耐風圧性、気密性、水密性、枠の見込み寸法 ・A種 ・B種 ・C種[見込み寸法 mm] ・図示による ・()	[表5.2.1]				検製	1
		*防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級・図示による・()	No.4a				図 図 公川東部仏域建造	No.4b

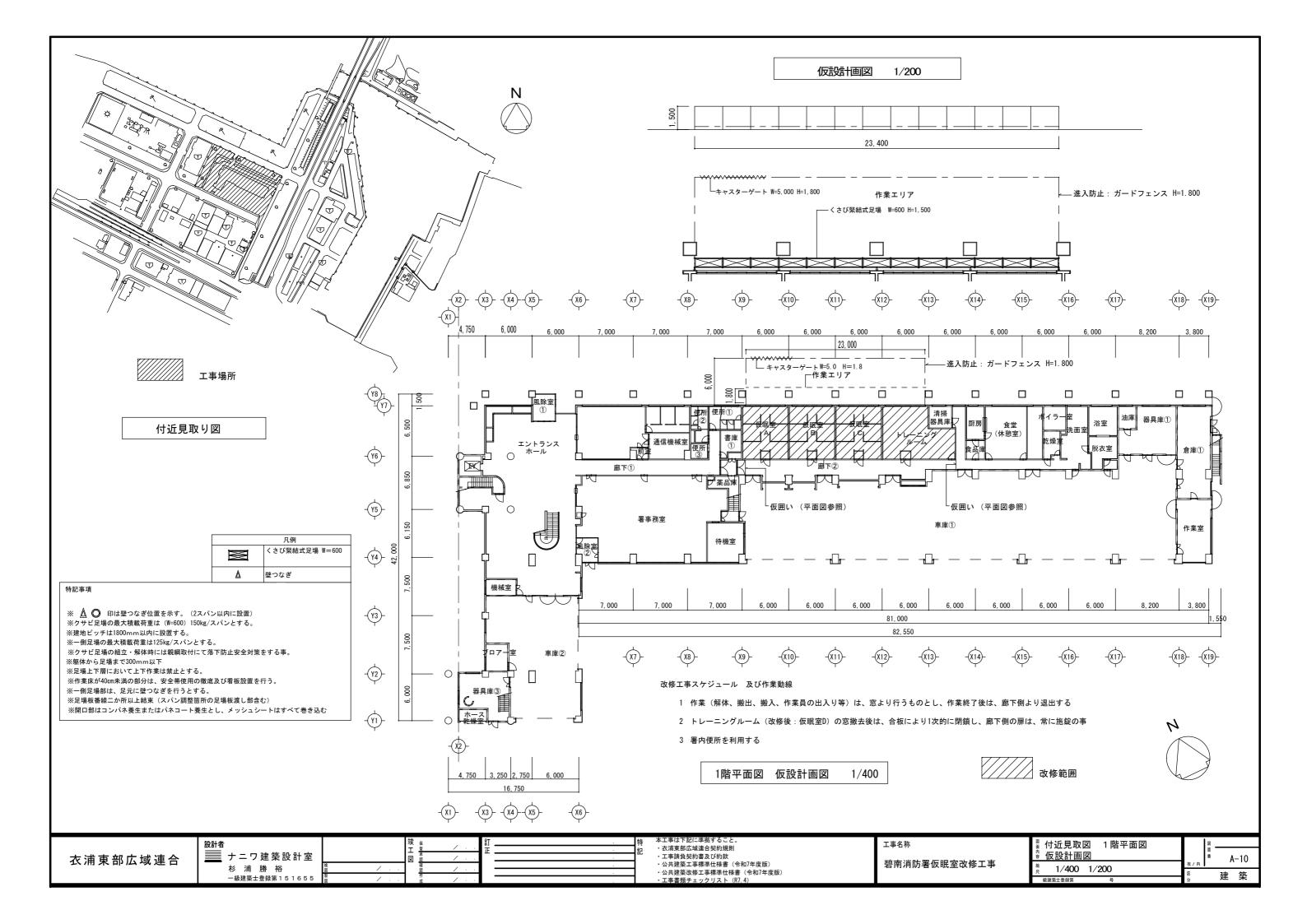
	1				_	
革	項	目	特記事項 備考	章	項目	特 記 事 項 備 考
			* 耐風圧強度(外壁開口部に設ける重量シャッター) ・ () ・ 図示による - 1888 ********************************			含水率 ※ 15%以下 ・図示による ・()
			*開閉機能による種類 ※ 電動式(手動併用) ・手動式 ・図示による [表5.11.1] *安全装置 電動シャッターにおける不測の落下防止装置設置箇所 ・図示による ・()			化粧ばり造作用集成材 樹種、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・ 図示による ・()
			電動式シャッターにおける障害物感知装置設置箇所・図示による・()		(4)((ア) *造作用単板積層材
			屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構・・(a)かつ(c)・・(b)かつ(c)・図示による			「JAS 0701」に基づく造作用単板積層材
			設置箇所・図示による・()		(4)/	品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による
5	'		*シャッターケース[管理用シャッタ-]・設置する・設置しない・図示による		(4)((イ) 「JAS 0701」以外の造作用単板積層材
	5.11.3 材	大料	* スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・() ・ 図示による			
ـ ا			鋼板のめっき付着量 ※Z12またはF12を満足するもの •()		(5)	
톸	12節 軽量:	シャッター ジ式及び機構	* 開閉形式 * ・電動式(手動併用) [表5.12.1]	6	(6)	* 合板等 下地用合板 品名、単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による
	3.12.2	八人の技術	*耐風圧強度・図示による・()	"		「地内日板
			*電動式シャッターにおける障害物感知装置設置箇所(電動式の場合) ・図示による ・()			板面の品質 ※ 2等以上(広葉樹) ※ C-D以上(針葉樹) ・図示による
	5.12.3 材	大料	* スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312 ・ JIS G 3322 ・ 図示による ・()			
	5 1 2 / T/	/状及び仕上げ	スラットのめっき付着量 ※ JIS G3312の場合はZ06又はF06を、JIS G3322の場合はAZ90を満足 ・図示による *スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 ・図示による ・()			構造用合板 品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理、強度等級 ※ 図示による 厚さ ※ 12mm ・図示による
		バーヘッドドア	サスクグでのがな ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	章		接着の程度 ※ 1類(湿潤箇所を除く) ※ 特類(湿潤箇所) ・図示による
廷	₹ 5.13.2 形	が式及び機構	*セクション材料による区分 ※ スチールタイプ・アルミニウムタイプ・ファイバーグラスタイプ・図示による			等級 ※ 2級以上 ・() 板面の品質 ※ C-D以上 ・()
			*JIS A 4715による風圧力による強さの区分 ・() ・図示による			化粧ばり構造用合板 品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度、防虫処理 ※ 図示による
			* 開閉方式 ・			湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度 ※ 特類 ・ 図示による 天然木化粧合板 厚さ、接着の程度、化粧板に使用する単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による
			*電動式シャッターにおける障害物感知装置設置箇所(電動式の場合)・図示による・()			特殊加工化粧合板 品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法、防虫処理 ※ 図示による
阜	L 5.13.3 材	村 料	*ガイドレールの材料 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 ・図示による ・()			パーティクルボード 表裏面の状態による区分、難燃性による区分及び厚さ ※ 図示による
	14節 ガラス			内		曲げ強さによる区分、耐水性による区分、厚さ ※ 15mm、13MR1(M)タイプ ※ 15mm、13MR2(P)タイプ ・()
	5.14.2 材	1 科	*フロート板ガラス 品種及び厚さによる種類 ・図示による ・() 型板ガラス 厚さによる種類 ・図示による ・()			構造用パネル 品名、寸法 ※ 図示による ミディアムデンシティーファイバーホート (MDF)
			全板ガンへ			表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分、難燃性による区分、厚さ ※ 図示による
5	ζ		合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さ 図示による ・()		6.5.3 接合具等	* 造作材の化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し
			特性による種類 ・Ⅰ類・Ⅱ-2類・Ⅲ-2類・Ⅲ類・図示による	_{+k}		*諸金物の形状、寸法、材質 ※ 6.5.3(2)(ア)による ・() ・図示による ※ 図示による ※ 図示による ※ 図示による ・ () ・ (
			強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・図示による ・() 特性による種類 ・ Ⅰ類 ・ Ⅲ類 ・ 図示による ・()	装	6.5.5 防腐·防蟻·防虫	処理 *下地木材への防腐・防蟻処理 適用部材、処理の種類 ※ 図示による ・() 工場における薬剤の加圧注入処理等の適用部材及び保存処理性能区分 ※ 図示による ・()
			熱線吸収板ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類 ・図示による ・()			※ 一本
偱	5		性能による種類 ・1種 ・2種 ・図示による ・()			薬剤の種類、適用部材 ※ 図示による ・()
			複層ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラス厚さ ・図示による ・()			処理の方法 ※ 6.5.5(1)(b)②による・()・図示による * ()・図による * ()・図によ
			断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 ・図示による 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G ・S ・ 図示による	改		薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理・図示による・行う()・行わない 合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理・図示による・行う()・行わない
			乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン ・クリプトン ・ネオン ・図示による	\(\)		*防虫処理・図示による・・行う(・行わない
	_		熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類 ・図示による ・()		6.5.6 RC造等の内部間	間仕 │*間仕切軸組に用いる木材 ・杉 ・松 ・()
			厚さによる種類 ・6mm ・8mm ・10mm ・12mm ・図示による ・()		切軸組及び床組	
			日射熱遮へい性区分 ・1種 ・2種 ・3種 ・図示による ・() 耐久性区分 ・A類 ・B類 ・図示による ・()		6.5.7 窓、出入口その	床組に用いる木材(上記以外) ・杉 ・松 ・() 他 *窓、出入口その他に用いる木材 吊元枠、水掛りの下枠、敷居 ※ ひのき ・() ・図示による
			倍強度ガラス 材料板ガラスの種類 ・図示による ・()	修	0.0.7 /B(H)(H (0)	その他 ・松 ・杉 ・() ・図示による
哥	-		厚さによる種類 ・6mm ・8mm ・10mm ・12mm ・図示による		6.5.8 床板張り	*縁甲板、上がりがまちに用いる木材 ※ ひのき ・() ・図示による
	E 10 0 +*=	ラス溝の寸法、形状等 フェス	*ガラス留め材 ・シーリング材 ・ガスケット() ・図示による ・() *板ガラスをはめ込む溝の大きさ ※ 建具の製造所の仕様による ・()		6.5.9 壁及び天井下地	セン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
			* 板ガラスをはめ込む海の人ささ - ※ 建兵の衰退所の仕様による - () * 材料 - ガラスブロック 表面形状、呼び寸法及び厚さ - ※ 図示による ・()		6節 軽量鉄骨天井下地 6.6.2 材 料	;
	0.10.0)/() -)/ _R 0/	壁用金属枠及び補強材 ※ 図示による・()		0.0.2 [1] 41	屋外 ・19形 ※ 25形 ・図示による
			カ骨の材質、寸法及び形状 ※ ステンレス鋼(SUS304)製径5.5mmのはしご状複筋及び単筋 · () ・図示による		6.6.3 形式及び寸法	*屋外の野縁受、吊りボルト、インサートの間隔 ・()mm ・図示による
			化粧目地モルタルの色 ・ 図示による ・ ()) ・ ジーリング材の種類 ・ 図示による ・ ()		6.6.4 工 法	*屋外の野縁間隔 ・()mm ・図示による ・()mm ・図示による ・()
			金属製化粧力バーの材質、寸法及び形状・図示による・()		0.0.4 I /A	* あと施工アンカーの引抜き試験・行う・行わない・図示による
			*工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・図示による・・()			*確認試験の箇所数及び確認強度 ※ 6.6.4(1)(ウ)による · 図示による · ()
			目地幅 平積み			*開口部等の補強方法 ※ 図示による ・()
			曲面積み ・()mm ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 ・図示による 伸縮調整目地位置 ・()m以下ごと ※ 6m以下ごと	事		* 天井のふところが3mを超える場合の補強方法 ※ 図示による ・() * 天井下地材の耐震性を考慮した補強方法 ※ 図示による ・()
			伸縮調整目地部の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様・図示による	1		*耐風圧性を考慮した補強方法(屋外軒天井、ピロティ天井等) ※ 図示による ()
	4 hhr 4	± •=			7節 軽量鉄骨壁下地	1 1 0 1 1 1 1 1 1 1
	1節 一般		*既存間仕切壁の撤去に伴う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度 ・図示による		6.7.3 形式及び寸法	*スタット,ランナーの種類 ・50形 ・65形 ・90形 ・100形 ※ スタッドの高さに応じた種類 ・() * スタッド高さが5.0mを超える場合 ()
	U.1.3	,아마마드WW 다 아 '퓩	* 00.4年间任列堂の撤去に任う大井、堂、床の以修戦曲 - 20.4年度 ・ 20.4年である * 天井内の既存壁撤去に伴う天井改修範囲 - ※ 壁面から両側600mm程度 ・ 20.4年よる		6.7.4 工 法	* X 391 高さい5.0mを超える場合 () * * 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 6.7.4(5)による ・() ・ 図示による
	1		*天井撤去に伴う壁面の改修 ※ 既存のまま・図示による			
6		の撤去・下地補修	。ビールウン 1 ケの吹きにむは7 T地テルカルの壁 キーツロニュート7	II I	8節 ピニル床シート等張り	(ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り)
壬	6.2.2 エ		*ビニル床シート等の除去における下地モルタルの撤去 ※図示による ・() *合成樹脂塗床材の除去等の工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 ・図示による		6.8.2 材料	* ヒ ゙ニル床シート 種類の記号 ※ FS ・() ・図示による 色柄 () ・図示による
-	- 1	ー きの撤去及び下地補f				厚さ ※ 2.0mm ・() ・ 図示による
	6.3.2 I		*間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ モルタル塗り[4.3.10] ・() ・図示による			*ピニル床タイル 種類の記号 ※ K T ・() ・図示による
	5節 木下:		*含水率 ※ A種 ・B種 [表6.5.3]			色柄 () ・図示による 寸法 () ・図示による
'	0.5.2	N 121	* B / A / A / M			り法 () ・凶ホによる [厚さ ※ 2.0mm ・() ・図示による []
装	Ę	(2)(ア)	「JAS 1083(製材)」による製材			*特殊機能床材
			下地用製材 寸法、形状、含水率及び保存処理 ※ 図示による			帯電防止床シート 種類、性能、厚さ等 ・図示による ・()
₹	4		等級 ・図示による ※2級 造作用製材 等級、寸法、含水率及び保存処理 ※図示による			帯電防止床タイル 種類、性能、寸法、厚さ等 ・図示による ・() 視覚障害者用床タイル 種類、形状 ・図示による ・()
俏	ş		短作用級材 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			祝見障害有用床ダイル 種類、形状 ・ 図示による ・ ()
"			・ 図示による			防滑性床シート 種類、厚さ等 ・図示による ・()
]	-		広葉樹製材 寸法及び保存処理 ※ 図示による			防滑性床タイル 種類、寸法、厚さ等 ・図示による ・()
릨	- 		等級 ※1等 ・図示による ・() 含水率 ※ 10%以下 ・図示による ・()			*ビニル幅木 種類 ・図示による ・() 厚さ ※1.5mm以上 ・図示による ・()
		(2)(イ)	「JAS 1083(製材)」以外の製材			高さ ※ 60mm ・図示による ・()
			下地、造作及び仕上げに用いる製材 寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理 ※ 図示による			*ゴム床タイル 色柄、種類、厚さ、寸法等 ・図示による ・()
		(3)(ア)	造作材の材面の品質の基準 ※ A種・B種 「表6.5.4] * 造作用集成材			・ 図面番号 図面番号 プログログログ フログログ フログログログ フログログ フログログログ フログログ フログログログ フログログログ フログログログ フログログログ フログログ フログログログ フログログ フログログログ フログログ フログログログ フログログ フログ フ
		(3)(7)	*垣TF用耒成村 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材			ノーノ廷未取引王 右田/内例有以呱至以修上争
			造作用集成材 品名、樹種名、見付け材面、寸法 ※ 図示による			建築士登録番号 151655号 縮尺 A-05
			見付け材面の品質 ※1等・図示による・()			建築改修工事特記仕様書 5/9
			化粧ばり造作用集成材 品名、樹種名、化粧薄板の厚さ、見付け材面、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※1等 ・・ 図示による ・ ()			建築士氏名 杉浦勝裕
		(3)(イ)	「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材			検 製
L		,	造作用集成材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による			M M
			No 5a			N. FL

쵿	-		特 討 車 佰	備考	章		佰 日	特 記 事 項 備 考
부	•	9. 日	おおります	個 有	무	176年	セルフレヘ・リング・材塗り	1付 配 争
			・図示による・()					* セルフレベリング材塗厚 ・() ・ 図示による
		- 4	*ゴム床タイル用の接着剤種別[下地がセメント系及び木質系以外の場合]・図示による・()			0.00	— 1.1. = 10 ×6	
	0.8.3	エー法	*6.8.3(1)(ア)~(ウ)以外の下地の工法 ・図示による ・() *目地処理する場合の工法 ※ 熱溶接工法 ・() ・図示による			2節 7.2.1	下地調整 施工一般	 *RB種塗替えの場合の既存塗膜の撤去範囲 ※ 劣化部分 ・図示による
		ーペット敷き				7.2.2	木部の下地調整	*木部の下地調整種別 ・RA種 ※ RB種 ・RC種 ・図示による [表7.2.1]
	5.9.2	材料	*織じゅうたん 織り方、パイルの形状 ・図示による ・() 色柄 ・() ※ 模様のない無地 ・図示による			7.2.3 7.2.4		*鉄鋼面の下地調整種別 ・RA種 ※ RB種 ・RC種 ・図示による [表7.2.2] *亜鉛めっき鋼面の下地調整種別 ・RA種 ※ RB種 ・RC種 ・図示による [表7.2.3]
				[表6.9.1]		7.2.4	下地調整	* 亜鉛のフご岬国の「地岬金性別 「RA性 X RD性 「RO性 「囚小による [X7.2.3]
			帯電性 ※ 人体帯電圧3kV以下 ・()			7.2.5		* モルタル面及びプラスター面の下地調整種別 · RA種 ※ RB種 · RC種 · 図示による [表7.2.4]
			* タワテッドカーペット パイルの形状、パイル長 ・図示による ・()			726	面の下地調整 コンクリ面、ALC面、	ひび割れ部の補修 () ∗コンウリート面、ALCパネル面の下地調整種別[DP塗り以外] ・RA種 ※ RB種 ・RC種 ・図示による [表7.2.5]
			*タイルカーペット 種類 ※ 第一種 ・第二種 ・図示による			7.2.0	押出成形セメント面の	ひび割れ部の補修 ()
			パイルの形状 ※ ループパイル ・()・図示による				下地調整	*コングリート面[DP塗り]、押出成形セメント板面の下地調整種別 ・RA種 ・RB種 ・RC種 ・図示による [表7.2.6]
6			│			7.2.7	せっこうボード面。その他	│ ひび割れ部の補修 () *せっこうボード面及びその他ボード面の下地調整種別 ・RA種 ※ RB種 ・RC種 ・図示による [表7.2.7]
			*下敷き材 ※ JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種1号、呼び厚さ8mm ・() ・図示による				ボード面の下地調整	
	6.9.4	丁 注	*取付け用付属品 見切り材、押え金物の材質、種類、形状 ※図示による ・() *タフテッドカーペットの工法 ・グリッパー工法 ・全面接着工法 ・図示による		7	3節 7.3.2	素地ごしらえ	 *木部の素地ごしらえ種別 不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・B種 ・図示による [表7.3.1]
章	0.9.4	工	*織じゅうたんの接合方法 ※ ヒートボンド工法・手縫い			1.3.2	不即の糸地こしりん	*パー・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
			*タイルカーペットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・() ・図示による		_	7.3.3	鉄鋼面の素地ごしらえ	*鉄鋼面の素地ごしらえ種別 DP塗り以外 ・A種 ・B種 ※ C種 ・図示による [表7.3.2]
	0節 合		階段 ※ 模様流し ・() ・ 図示による		章	7.3.4	亜鉛めっき鋼面の	DP塗り ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による * 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ種別 ・ A種 ・ B種 ・ B種 ・ 図示による [表7.3.3]
		工法	*弾性ウレタン樹脂系 仕上げの種類 ※平滑・防滑・つや消し・図示による	[表6.10.4]			素地ごしらえ	
			*エポキシ樹脂系 工法 ・薄膜流しのべ ・厚膜流しのべ ・樹脂モルタル ・図示による 仕上げの種類 ・平滑 ・防滑			7.3.5	モルタル面及びプラスター 面の素地ごしらえ	* モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ種別 ・ A種 ※ B種 ・ 図示による [表7.3.4]
1	1節 フロ	コーリング張り	111111111111111111111111111111111111			7.3.6		 *コンクリート面、ALCパネル面の素地ごしらえ種別[DP塗り以外] ・A種 ※ B種 ・図示による [表7.3.5]
	6.11.2	材料	*種類 ・単層フローリング(・フローリングポード1等 ・フローリングプロック1等) ・複合フローリング ・図示による				押出成形セメント面の	*コンケリート面[DP塗り]、押出成形セメント板面の素地ごしらえ種別・A種 ・B種 ・図示による [表7.3.6]
		工法一般 釘留め工法	*工法 ・釘留め(根太張り)工法 ・釘留め(直張り)工法 ・接着工法 ・図示による *根太張り工法		涂	737	素地ごしらえ せっこうボード面。その他	 *せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ種別 継目処理工法の場合 ※ A種 ・B種 ・図示による [表7.3.7]
		*1日ハナル	・フローリング・・クローリングボード(根太張用)・複合フローリング(根太張用))			ポード面の素地ごしらえ	
			フローリングボードの樹種・なら・()・図示による	[=0.11.0]			錆止め塗料塗り	마하엘프셔 나 나 숙성 전에 IFD 이숙나이센스] A 또 및 D 또
奘			複合フローリングの種別 ・A種 ・B種 ・C種 複合フローリングの樹種 ・() ・図示による	[表6.11.2]	装	/.4.2	塗料種別	*鉄鋼面錆止め塗料種別[EP-G塗りの場合] ・A種 ※ B種 ・図示による [表7.4.1] * 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料種別[SOP塗りの場合] ※ A種 ・B種 ・C種 ・図示による [表7.4.2]
20			*直張り工法					
			フローリング ・フローリングボード(直張用) ・複合フローリング(直張用) 樹種 ・なら ・() ・図示による			7.4.3	錆止め塗料塗り	*鉄鋼面錆止め塗料塗り[SOP及びEP-G塗りの場↑見え掛り部(新規) ※ A種 ・B種 ・C種 ・図示による [表7.4.3] 見え隠れ部(新規) ・A種 ※ B種 ・C種 ・図示による
			個性 ・ Aで ・ C種 ・ B 本 ・ C種	[表6.11.4]	改			光を思れずく利殊/ ・A種 次 B種 ・ 図示による 塗替え ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ 図示による
改		1 4.46 — 11	複合フローリングの樹種・・()・図示による					*鉄鋼面錆止め塗料塗り[DP塗り(新規)の場合] ※ A種 · B種 · C種 · 図示による [表7.4.4]
	3.11.5	接着工法	*フローリング ・フローリングボード(直張用) ・ 複合フローリング(直張用) *フローリングボードの樹種 ・() ・図示による					*亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗り[SOP及びEP-G塗りの場合] 鋼製建具∜ A種 ・B種 ・C種 ・図示による [表7.4.5] その他 ・A種 ※ B種 ・C種 ・図示による
			*複合フローリングの種別・A種・B種・C種		修			全替え ・A種 ・B種 ※C種 ・図示による
luter .			*フローリングブロックの樹種、厚さ、幅及び長さ・図示による・()			- /-/-	へ 	(000)
11珍	3116	現場塗装仕上げ	*フローロング裏面の緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート ・() ・図示による * 下地調整及び塗装 ・図示による ・()		- 11 1		合成樹脂調合ペイント塗り 木部SOP	(SOP) *種別 [新規] ・図示による 屋外 ※A種 ・B種 ・C種 [表7.5.1]
			日が一般の主教		エ	/.0.2	уүчдэсст	屋内 · A種 · C種
	2節 畳	敷き 材 料	 *畳の種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床の記号:)	[表6.12.1]		7.5.3	鉄鋼面SOP	「塗替え」 ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
エ	0.12.2	19 47	*衝撃緩和型畳の畳表 ・C1 ・C2 ・図示による	[衣0.12.1]		7.5.4		
		っこうボード等張り			事			それ以外の塗替え及び新規塗り ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による
	5.13.2	材料	*ボード類の種類、厚さ等 ※ 図示による ※ 図示による ※ 図示による				クリヤラッカー塗り(CL) クリヤラッカー塗り	 *種別 ・A種 ※B種 ・図示による [表7.6.1]
			*普通合板 表板の樹種名、板面の品質、厚さ、防虫処理 ※ 図示による ・()					A種の場合、工程2の適用及び着色に用いる塗料の種類・溶剤形着色剤 ・油性染料着色剤 ・適用しない ・図示による
事			*天然木化粧合板 化粧板の樹種名、厚さ、防虫処理 ※ 図示による・()				アクリル樹脂系非水分散	
			*特殊加工化粧合板 化粧加工の方法、表面性能、厚さ、防虫処理 ※ 図示による ・()				NAD 耐候性塗料塗り(DP)	*種別 · A種 ※ B種 · 図示による [表7.7.1]
	3.13.3	エー法	*ロックウール吸音板の場合を除き、天井のボードの重ね張り・図示による	F-1-2		7.8.2	鉄鋼面DP	*上塗り塗料の等級 ※ 1種・2種・3種 [表7.8.1]
			*合板の張付け種別 ・A種 ※ B種 *せっこうボードの目地工法の種類 ・継目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法	[表6.13.3] [表6.13.5]		7.8.3 7.8.4		*上塗り塗料の等級 ※ 1種 ・2種 ・3種 *種別 ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 ・図示による [表7.8.3]
				ほんしょう こうしょう			成形セメント板面DP	
	4節 壁						つや有合成樹脂エマルシ	
	0.14.2	材料	*壁紙の種類 ※ 図示による ・() *防火性能 ・ 図示による ・()			7.9.2		*種別 ・A種 ※ B種 ・C種 ・図示による [表7.9.1] *塗替えのしみ止め ・A種 ・B種 ・C種 ・図示による 下塗り()
	6.14.3	施工	*モルタル面及びせっこうプラスター面の吸込み止めの塗布等の素地ごしら:種別 ・A種 ※ B種	[表7.3.4]			せっこうボート面等EP-G	
			*コンクリート面の吸込み止めの塗布等の素地ごしらえ 種別 ・A種 ※ B種 *サっこうまごようのの表地ごしらえないたののののである。	[表7.3.5]		7.9.3	木部EP-G	*種別 新規 ※ A種 ・B種 ・C種 ・図示による [表7.9.2] ** * *******************************
			* せっこうボード面の素地ごしらえ及びけい酸カルシウム板面の吸込み止めの塗布等の素地ごしらえ 種別 ・A種 ※ B種	[表7.3.7]		7.9.4	鉄鋼面EP-G	│ 塗替え ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による *種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による [表7.9.3]
		レタル塗り		2		7.9.5	亜鉛めっき鋼面EP-G	*種別 ※ A種 · B種 · C種 · 図示による [表7.9.4]
	5.15.3	材料	*モルタル・現場調合材料・既調合材料()・図示による *既製目地材・使用する(形状:)・使用しない・図示による				合成樹脂エマルションペー 2 合成樹脂エマルション	イント塗り(EP) *種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による [表7.10.1]
	3.15.5	下地処理	*壁面の場合で、仕上げ厚又は全塗り厚が6.15.4(3)の規定を満足しない場合 ・図示による				ペイント塗り	* 種別 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ 図示による 下塗り ()
		エー法	*床の目地割り ※ 目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度 ・() ・図示による				ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	
	6節 タイ	んで	│ 種類 ※ 押し目地 ・() ・ 図示による			/.11.2	2 ウレタン樹脂ワニス塗り	*種別 ・A種 ※B種 ・図示による [表7.11.1] エ程1の着色の適用 ・溶剤形着色剤 ・油性染料着色剤 ・適用しない ・図示による
		施工一般	*伸縮目地の位置 ※ 縦横4m以内ごと(床タイル) ・() ・図示による				ステイン塗り	
	3 16 2	セメントモルタルによる	*タイルの見本焼き・有 ※無 試験張り ・有 ※無 *タイル ・ 適用箇所 形状 寸法 耐凍害性 耐滑り性 標準色/特別色 タイル張り工法				2 ステイン塗り 木材保護塗料塗り(WP)	*オイルステイン塗り(OS) ・図示による ・()
	ک.۱۵.ر	セメントモルタルIこよる タイル張り	*ダイル・ 適用固所 が状 引法 耐凍苦性 耐滑り性 標準色/特別色 91ル張り工法 ※ 図示による					 *種別 ・A種 ※B種 ・図示による [表7.14.1]
		/ -					11-	
			*張付けモルタル 既調合モルタル ()					図面番号
			*下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理・目荒し工法・()・図示による					ナニワ建築設計室 碧南消防署仮眠室改修工事
			*壁タイル張りの工法 内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・					
	6.16.4	有機系接着剤による	*タイル ・ 適用箇所 形状 寸法 耐凍害性 耐滑り性 標準色/特別色 タイル張り工法					建築改修工事特記仕様書 6/9
		タイル張り	※ 図示による					建築士氏名 杉浦勝裕
								検
			*役物 · 有 · 無	No 6a				

_					۰,	1	
章		項 目	特 記 事 項	備考	章	項 目	特 記 事 項 備 考
\vdash	1.節 共	通事項			╢	8.3.8 ガス圧接	* 超音波探傷試験 ※ 行う ・ 行わない
		:過事項 *本章適用上の注意	*耐震改修工事標準図が添付されている場合はこれを優先する。			V.S.S ///LIE	- VE B 10/17 10/19/20 V 11 / 11/17/07
		基本要求品質	*・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			4節 鉄筋の機械式・溶接継手	
	0.1.2	坐不安小山县	・文/江音は、レケイ・ミンストコンテナーを用いても場合の工物歴史は多くによる。 (1)JISマーク表示認証製品を製造している工場(工業標準化法の一部を改正する法律(平成16年6月9日公布)			8.4.2 機械式継手	*適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき ※ 図示による ・()
	\		に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により製品にJISマーク表示する認証を受けた			0.4.2	*施工完了後の試験
			製品を製造している工場)で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施す				・図示による ・()・図示による
			る能力のある技術者(コンクリート主任技士等)が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる、				不合格となった場合の措置・()・図示による
			全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場(以下「適マークを取得した工場」				超音波測定試験 試験対象 ・()・図示による
			ェロロ貝音を重量を嵌め来たらた駅。 重量率中に塗り、重量に合ってに上場(ダイ・)。 という。)から選定し、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)に適合するものを用いなければならない。				不合格となった場合の措置・(・)・図示による
			(2)JISマーク表示認証製品を製造し、適マークを取得した工場が工事現場近くに見当たらない場合は、使用す				Table 677-910 Ale
			る工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたうえ、その資料により監督		ll a	8.4.3 溶接継手	*適用箇所、性能、工法、鉄筋相互のあき ※ 図示による ・()
			職員の確認を得なければならない。なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を		\parallel	0.4.0 /612/62 1	*施工完了後の試験
			実施する能力のある技術者(コンクリート主任技士等)が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施				・ 図示による ・ () ・ 図示による
			できる工場から選定しなければならない。				不合格となった場合の措置・()・図示による
	8.1.3	コンクリートの種類	*コンクリートの類別 ※ I 類 ・ II 類 ・ 大臣認定コンクリート()	[表8.1.1]			超音波測定試験 試験対象 ・()・図示による
	01110	-2 > > 1 CS 1 EX	*コンクリートの種類・・普通コンクリート・軽量コンクリート	[20]			不合格となった場合の措置・(・図示による・図示による・
	8.1.4	コンクリートの品質	*設計基準強度(Fc) ・普通コンクリート()N/mm² ・軽量コンクリート()N/mm² ・図示による		童		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
			*コンクリートの荷卸し地点におけるスランプ ※表8.1.2による ・() ・図示による		Ш.	7節 コンクリートの運搬・打込・締固	
			* 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による	[表8.1.4]		8.7.7 養生	* 普通エコセメント使用時の湿潤養生の期間 ()日以上
			*コンクリートの仕上がりの平たんさの種別・a種・b種・c種・図示による	[表8.1.5]		8.7.8 型枠工事	*外部に面するコンクリートの打増し厚さ ()mm ・図示による
	8.1.5	鉄骨製作工場	*鉄骨製作工場の加工能力等 ()				*シアコネクタをセパレーターとして使用する場合・()・図示による
	8.1.6	鉄骨製作工場におけ	*施工管理技術者の配置 ※ 必要 ・不要				*普通エコセメント使用時の型枠の最小存置期間 ()
		る施工管理技術者				9節 軽量コンクリート	
	2節 材	料				8.9.1 一般事項	* 軽量コンクリートの適用箇所 ※ 図示による ·()
	8.2.1	鉄 筋	*鉄筋種類 \ ※ 図示による ・()	[表8.2.1]		8.9.2 種類及び品質	*軽量コンクリートの種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ()t/m ³ [表8.9.1]
	8.2.2	溶接金網	*鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 ※ 図示による・()				*スランプ ※ 21cm ・() ・図示による
	8.2.4	あと施工アンカー	*あと施工アンカー・金属系アンカー・接着系アンカー・図示による		耐	10節 暑中コンクリート	
			*金属系アンカーの仕様 引張耐力、せん断耐力 _ ・図示による ・()				*構造体強度補正値(S)
			アンカー本体の径、埋込み長さ・・図示による・・()			11節 無筋コンクリート	
8			セット方式 ※ 本体打込み式改良型 ・() ・図示による			8.11.1 一般事項	*コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ・図示による ・()
			接合筋の種類、径、長さ・図示による・()				*設計基準強度 ※ 18N/mm ² ・図示による ・()
			*接着系アンカーの仕様 く引張耐力、せん断耐力・図示による・()		_		*スランプ ・15cm ~18cm ・() ・図示による
1_			アンカーの種類 ※ カフェル方式回転・打撃式 ・() ・図示による		農	12節 あと施工アンカー工事	
章			アンカー筋の径、埋込み長さ・図示による・()			8.12.4 穿 孔	*埋込み配管等の探査の方法 (\)
			アン为一筋の種類・()・図示による			8.12.7 施工確認試験	*アンカー施工後の確認試験 ※ 引張試験機による引張試験 ・()
1			アンカ〜筋の新設壁内への定着長さ・()・図示による				1ロット ※1日に施工されたものの径及び仕様ごと・()
		. to the little was a demonstrate A	*あと施工アンカーの性能確認試験・行う・行わない	F=== 3			試験の箇所数
	8.2.5	コンケリートの材料及び調合	*セメントの種類 ※ 普通ポルトランドセメント ・高炉セメント(A種) ・シリカセメント(A種) ・フライアッシュセメント(A種) ・エコセメント	[表8.2.3]		10th ALB - 1-	確認強度()
			•() ・図示による		改	13節 鉄骨工作	- 古上とは、 英字とは、 オペット といいの 日本 に 共 とは、 日野原 に い が 、 以 同 こに し 7 ())
			*高炉セメントB種の適用箇所() フライアッシュセメントB種の適用箇所())				*高力ボルト、普通ボル及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ 図示による ・()
-			*骨材の種類 フェロニッケルスラグ細骨材・使用 ※ 使用しない 銅スラグ細骨材 ・使用 ※ 使用しない 電気炉酸化スラグ骨材・使用 ※ 使用しない 再生骨材H(エコセメント使用)・使用 ※ 使用しない			8.13.8 ボルト孔 8.13.10 仮 組	* 母屋又は胴縁の取付けに使用する普通ボルト孔径 ※ ねじの呼び径+1.0mm ・ 図示による ・() * 仮組の実施 ・ 行う ※ 行わない
נינווו						0.13.10 収 租	↑収租の美池 ・1] ノ ※ 1] オンない、
			*砕石、砕砂、フェロニッケルスラグ・骨材、銅スラグ・細骨材、電気炉酸化スラグ・骨材、砂利、砂のアルカリシリカ反応性区分 ※ A ・B		攸	 14節 高力ボルト接合	
					1 多		* すべり試験 ※ 実施しない ・実施する(試験方法等:) ・図示による
垂			*混和剤種類 ・図示による ・AE剤 \・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・()				*すべり試験 ※ 美施しない ・ 美施する(試験方法寺:) ・ 図示による ・ () *ナット回転法の場合で、「JIS形高力ボルト長さ」>「ねじの呼びの5倍」の場合の回転量 ※ 図示による ・ ()
辰			混和材 種類 ・フライアッシュ(Ⅰ 種) ・フライアッシュ(Ⅱ 種) ・フライアッシュ(Ⅳ 種) ・高炉スラグ微粉末 ・シリカフューム			0.14.7 利用到17	**/ // □+A/A/V物口 C、「UIOI/I/回 // M「女C]/「はしいけいい/回」V/物口V凹粒里 ※ 凶小による *(/
			斑柏材 俚類 ・ フフイアッンユ(エ惺) ・ ノフイアッンユ(エ惺) ・ ノフイアッンユ(エレ惺) ・ 高炉スフン 似初末 ・ ンウルノユーム - 膨張材 ・ 図示による			 15節 溶接接合	
			*構造体強度補正値(S) ・図示による ※ 表8.2.4による		\parallel \perp	8.15.3 技能資格者	*技量付加試験・行う ※ 行わない・図示による
改			*8.2.5(5)(b)⑥(7)~(ウ)以外の混和材料 使用方法及び使用量 ※ 図示による ·()				* 開先の形状 ※ 図示による · ()
5	8.2.6	構造体用モルタルの調合	*もどいのに紹強度・()・図示による フロー値・()・図示による			0.70.7 /百)女V十 /师	, market M. W. Educado /
		型枠の材料	*せき板の材料 ※8.2.7(1)による ・()・図示による			8.15.7 溶接施工	*エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 ※ 図示による ・()
	5.2.7	11 VV 10 47	合板の厚さ ※ 12mm ・()・図示による			5.75.7 7d 1976==	切断面の仕上げ ※ グラインダー仕上「粗さ100μmRz程度以下、ノッチ深さ1mm程度以下] ・図示による ・()
修			*ラス型枠については、下記の仕様により使用できるものとする。				対象は 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象
"			1)使用可能部位 独立基礎、地中梁(ただし、見えがかり部、ピット内部は合板型枠とする。)		事		スカラップの形状 ※図示による・()
			2) 鉄筋の最小かぶり厚さ ラス型枠を使用した部分の鉄筋の最小かぶり厚さは、公共建築工事標準仕様書		"	8.15.12 溶接部の試験	*「鉄骨造の継手又は仕口の構造方法を定める件」第二号に関する試験方法等 図示による ・()
			(建築工事編)5.3.6表に示す数値+10㎞するものとする。				*「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・図示による ・ ()
エ			3) コンクリートのスランプ スランプは15㎝又は18㎝とする。バイブレーターを使用するときには、ラス型枠に				*完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※ 行う ・行わない
			及び打込み 直接当てないように注意する。			17節 鉄骨の錆止め塗装	
			4) その他 各メーカーで仕様が異なるため、それぞれの施工要領書等で確認する。			8.17.2 塗装の範囲	*耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ※ 図示による ・()
			*スリーブの材種 ・鋼管 ・硬質ポリ塩化ピニル管 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・\つば付き鋼板 ・図示による	[表8.2.6]			耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※ 8.17.2(1)(ア)~(オ)以外の範囲 ・図示による ・()
事		鋼材	*種類、形状、寸法 ※ 図示による ・()			8.17.4 塗料の種別	* SRC造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面 ・ 図示による ※ 表7.4.1のA種 \(()
	8.2.9	高力ボルト	*種類 ※トルシア形高カボルト ・JIS形高カボルト ・溶融亜鉛めっき高カボルト ・図示による				*耐火被覆材が接着する面 ()
		₩₩ 1₩ 1.1 ded	ねじの呼び、※図示による・()			tom This the	
		溶接材料	*8.2.10(1)、(2)以外の溶接材料 ・() ・図示による \ 3.5.10(1)、(2)以外の溶接材料 ・() ・図示による			18節 耐火被覆	TALL MER OFFEE TO WIRE THE TALL THE TAL
			*スタッドの種類 ・() ・図示による			8.18.2 耐火被覆の種類等	*耐火被覆の種類 ※ 図示による ・耐火材吹付け ・耐火板張り
	8.2.12		* 柱底均しモルタル ― ※ 無収縮モルタル(8.2.12(1)による) ・() ・ 図示(こよる				・耐火材巻付け ・ラススモリモルタル塗り ・耐火塗料 ・()
	0.040	及びグラウト材	1 + + 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				* 材料及び工法等 ※ 図示による ・())
	8.2.13		*材料、工法、引張強度、ヤング係数・図示による・()			8.18.3 耐火被覆の性能、品質等	*耐火被覆の耐火性能 ※ 図示による・()
	0.011	含浸接着樹脂等	* 두드 누 다 그 기계 가 다 그 가 그 가 그 가 그 가 그 가 그 가 그 가 그 가 그 가			20年 次配本外は ナナナ	
		鋼材の材料試験等	*板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験・行う・行わない * 砂利地業に使用する砂利 ・ 東方は一、東方は一、 ・ 打き 砂利 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			20節 溶融亜鉛めっき工法	・ 庭校市の加州七津年 ・ ブニット加州 ・ ロノ 延歩加州 ・ ノ
	8.2.15	基礎工事に用いる	*砂利地業に使用する砂利・再生クラッシャラン・切込砂利・切込砕石・図示による				*摩擦面の処理方法等 ・ブラスト処理 ・りん酸塩処理 ・() ・図示による
		材料	* 砂地業に使用する砂 ・山砂 ・川砂 ・砕砂 ·() ・図示による \ * 枯の材料 × はの材料 × 図示による * * * * * * * * * * * * * * * * * *			高力ボルト接合	
			* 杭の材料 ※ 図示による ・() * 杭に継手を設ける場合の継手の箇所数、材料、工法等 ※ 図示による ・()			 21節 現場打ちRC壁の増設工事	
	2倍 分	筋の加工及び組立	『加いを丁で以りの物ロツ粒丁の自川玖、竹村、上広寺 ※ 囚小による ・()				i
		が	*90°未満の折曲げの内法直径 ()			8.21.2 既存部分の撤去等	* 以仔仕上の撤去範囲
			*90 木満の折曲げの内法直径 () *種類 ※ 図示による ・重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械式継手 ・溶接継手				* 工事に文厚とはる設備機器、配官等の撤去、移設 ・図示による ・() * 既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・()
	0.3.4	心ではいた。	* 性親 - ※ 凶示による ・ 里ね梃手 ・ ガス圧接梃手 ・ 傍慨丸梃手 ・ 浴接梃手 * 継手位置 - ※ 図示による				* はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ・()
			*耐力壁の鉄筋の重ね継手長さ			 8.21.3 既存部分の処理	*打継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度 ※ 図示による・()
			*剛力学の鉄筋の単ね総子長さ ※ 40d(軽量コンクリートの場合50d)又は表8.3.2の重ね継手の長さのいずれか大きい値・・図示による			8.21.3 既付部分の処理 8.21.6 鉄筋の加工及び組立	
			* 先組み工法等で、柱及び梁の主筋にうち、隣り合う継手を同一箇所に設ける場合の継手の位置 ・図示による ・(\)	\vdash	10.21.0 素がリッカルエ次で配立	* 刮袋柵独筋の仕様
			* X 新的の定着長さ ※ 表8.3.4による ・図示による ・()	\ '			カース カー・フェー カー・
			支着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 ※ 8.3.4(5)(イ)による ・図示による ・()				/ 一/ た不応りエ 右面の関すいの工場を上す
			機械式定着工法の適用箇所及び種類・図示による・()				建築士登録番号 151655号 縮尺 A-07
			*帯筋組立の形、継手及び定着 ※ 図示による ・()				建築改修工事特記仕様書 7/9
	8.3.5	鉄筋のかぶり厚さ	*鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ※ 表8.3.6による ・図示による ・()				建築士氏名 杉浦勝裕
		及び間隔					·
	8.3.7	壁の配筋及び補強	*壁の配筋 ・() ・図示による	\			マスティー マスティー マスティー 大浦東部広域連合
			*壁開口部の補強・()・図示による				
	_			N 7			

章	項目	特 記 事 項	備考	章	項目	特 記 事 項 備 考
	8.21.8 コンクリートの打込み 8.21.9 既設構造体との取合い 8.21.10 仕上げ	*コンクリート打込み工法 ・流込み工法 ・圧入工法 ・図示による ・() *既存構造体と増設壁との取合いの処理方法 ※ グラウト材の注入 ・図示による ・() *増設壁工事後の仕上げ ※ 図示による ・()				*建設発生土の処理 ・構外搬出(関係法令に従い適切に処理) (搬出先名称(所在地):) (片道運搬距離(km):)(片道運搬時間(時間):) (搬出先条件(土質試験、その他建設発生土の発生抑制や適正処分に必要な情報)
	22節 鉄骨プレースの設置工事 8.22.2 既存部分の撤去等 8.22.3 既存部分の処理 8.22.7 既存構造体との取合い	*既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲 ・図示による ・() *工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ・図示による ・() *既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・() *はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ・() *目荒しの程度 ※ 図示による ・() *割裂補強筋の仕様 ※ 図示による ・()		章 耐	8.28.4 地業工事	: ・場内敷き均し 建設発生土を構外へ搬出する場合は、搬出先等の承諾を得たうえで、搬出先及び処分状況(高さ、勾配等)がわかる写真 並びに運搬を証明する書類等を監督職員に提出する。 *試験杭 位置 ※ 図示による 本数 ※ 図示による ・()本 寸法 ()m
	8.22.9 仕上げ 23節 柱補強工事 8.23.2 既存部分の撤去等	* ブレース設置工事後の仕上げ ※ 図示による ・() * 既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲 ・ 図示による ・()		震		*試験杭の施工方法 ※ 図示による ・() *杭の載荷試験 ・鉛直載荷試験 ・水平載荷試験 ・水平載荷試験 ・
	8.23.3 既存部分の処理 8.23.5 溶接金網巻工法及び 溶接閉鎖フープ巻工法	*工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ・図示による ・() *既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・() *はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ・() *目荒しの程度 ※ 図示による ・() *コンクリート及び構造体用モルタルの打ち込み ・流込み工法 ・圧入工法 ・図示による		改修		*地盤の載荷試験 ・平板載荷試験 ・行わない 試験位置 ※ 図示による 載荷荷重 ※ 図示による ・() 8.28.4(2)(エ)以外の報告書の記載事項 () () () () () () () () () (
	8.23.6 鋼板巻·帯板巻付工法 8.23.7 仕上げ	*鋼板等の加工 柱頭及び柱脚に隙間を設ける場合 ※ 図示による ・() *補強工事後の仕上げ ※ 図示による ・()		ᄑ		*技能資格者の技量及び溶接部の確認 () *
	24節 連続繊維補強工事 8.24.4 既存部分の撤去等	*既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲 ・図示による ・() *工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ・図示による ・() *既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・()		事		*記録する施工状況等 () *砂利及び砂地業 範囲 ※ 図示による 厚さ ※ 60mm ・()mm ・図示による *拾コンクリート 範囲 ※ 図示による 厚さ ※ 50mm ・()mm ・図示による
	8.24.6 施工	*はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ·() *下地処理 ひび割れ部の改修工法種類 · 4.1.4による樹脂注入工法 · 図示による ·() 面取りの大きさ(柱及び梁の隅角部) ※ 図示による ·() *引張強度試験 · 行う(試験数量:) · 行わない		9	1節 石綿含有建杯の除去工事 9.1.1 一般事項	事 *大気汚染防止法に基づき、適正に対応すること
	8.24.7 仕上げ 25節 耐震スリット新設工事 8.25.2 施 エ	*付着強度試験 ・行う(試験数量:) ・行わない *補強工事後の仕上げ ※ 図示による ・() *スリット幅及び深さ ※ 図示による ・()		章		* 石綿粉じん濃度測定 ・ 行う ・ 行わない 測定時期 測定場所 測定箇所数 備 考 処理作業前 ① 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 注1)注4)
震		*既存仕上の撤去範囲 ※ 本本事に支障となる最小限の範囲 ・図示による ・() *工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ・図示による ・() *充填材の挿入及び周囲補修等 耐火材の使用箇所及び仕様 ※ 図示による ・() 遊音材の使用箇所及び仕様 ※ 図示による ・()		環		② セキュリティーゾーン入口 1点 空気の流れを確認 注1) 処理作業中 ③ 集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合) 注1)
	26節 免震改修工事 8.26.5 既存部分の撤去等	*既存部分の撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・監督職員との協議による ・() *既存部分がRC又はSRCの場合の既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲 ・図示による *工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ・図示による ・() *既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・() *はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ・()		境配		④ 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 注1) 処理作業後 ⑤ 処理作業室(隔離された区域)内 2点 注3) 隔離シート撤去前 注2) 注1) 速報値で10f/L以上検出された場合は、直ちに作業を中止し、その原因を確認すること。 注2) 各施工箇所ごとの室面積が10㎡以下の場合は1点、50㎡までは2点、300㎡以下までは3点とする。 300㎡を超えるものは、300㎡ごとに1測定点を追加する。
修	8.26.6 既存部分の処理 8.26.7 支承材・減衰材	*既存杭の撤去範囲及び撤去方法 ※ 図示による ・() *打継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度 ※ 図示による ・() *既存杭の杭頭部等の処理 ※ 図示による ・() *支承材又は減衰材の材質、諸元 ※ 図示による ・()		慮		300mを超えるものは、300mとに下別と思ざ追加する。 注3)粉じん測定は、粉じん飛散抑制剤を散布した翌日とし、速報値で10f/L以下であることを確認した後、 シートの撤去を行うこと。 注4)処理作業前の測定については、監督員との協議による。 * 石綿則第6条による隔離措置と「同等以上の効果を有する措置」により除去等作業を行う場合、上表のうち、
I	8.26.10 支承材又は 減衰材の設置	*性能確認試験の項目及び数量 ・() 図示による *製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等 ・図示による ・() *防錆処置 ・() ・図示による ・() *支承材又は減衰材の設置位置の寸法許容差 ・() ・図示による		改	9.1.2 除去工事共通事項	特に、主たる工事が石綿対策工事の場合は、自社所属の石綿作業主任者を選任すること。
	8.26.13 仕上げ 8.26.14 耐火被覆 8.26.15 免震EXPJ等	*割裂補強筋の適用 ・適用する ・適用しない ・ 適用しない ・ で		修	9.1.3 石綿含有吹付け材 の除去 9.1.4 石綿含有保温材等	*除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 ・ 図示による *除去した石綿含有吹付け材等の処分方法 ・ 9.1.3(3)(エ)(a)による ・ 9.1.3(4)(エ)(b)による
-	8.26.16 検 査 8.26.17 維持管理要領	* 検査の項目及び数量 ・() ・図示による * 記載する項目 ※ 8.26.17(2)による ・() * 地震計、下げ振り、けがき板、別置き試験体等の設置及び仕様 ※ 図示による ・()		ᅵ	の除去 9.1.5 石綿含有成形板等 の除去	*除去した石綿含保温材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 ・ 図示による *除去した石綿含有保温材等の処分方法 ・ 9.1.3(3)(エ)(a)による ・ 9.1.3(4)(エ)(b)による
	27節 制振改修工事 8.27.2 既存部分の撤去等	*既存鉄筋コンケリート及び既存鉄筋鉄骨コンケリートの撤去等 既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲 ・図示による ・() 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ・図示による ・() 既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・()		2	9.1.6 石綿含有仕上塗材 の除去 2節 外断熱改修工事	・埋立処分 ・中間処分 ・図示による *除去方法 ※ 図示による ・() *除去した石綿含有成形板の処分 ・埋立処分 ・中間処分 ・図示による *汚泥としての処理の必要有無 ・無 ・有()
	8.27.3 既存部分の処理	*既存鉄骨の撤去範囲及び撤去方法 ※ 図示による ・()			9.2.2 材 料 9.2.3 既存外壁の処置	*断熱材の種類及び厚さ ※ 図示による ・() *外装材の種類及び防火性能 ※ 図示による ・() *仕上材の撤去 ※ 図示による ・() * T地面の清掃 ※ 図示による ・()
	8.27.4 減衰材 8.27.6 減衰材の設置	*減衰材の材質、諸元 ※ 図示による ・() ・図示による ・() ・図示による ・() ・図示による ・() ・図示による ・() ・製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等 ・図示による ・() ・		!	9.2.4 工 法	* 断熱材設置部分の下地に欠損部がある場合の改修工法の種類 ※ 図示による ・() (4.1.4) * 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 () * 不陸等の下地調整 ※ 図示による ・() * 断熱材の施工 ※ 図示による ・() * 外装材の施工 ※ 図示による ・()
	8.27.8 仕上げ 8.27.9 検 査	* 部級補強所が適用 ・ 適用する ・ 適用しない * コンクリート打込み工法 ・ 流込み工法 ・ 圧入工法 ・ 図示による * 減衰材設置後の仕上げ ・ 図示による ・ () * 検査の項目及び数量 ・ 図示による ・ ()				*通気層の有無、厚さ ※ 図示による ・() *外装材の外壁への取り付け ※ 図示による ・()
	28節 土工事及び地業工事 8.28.2 既存杭の撤去等	* 既存杭の撤去範囲及び撤去方法 ※ 図示による ・() * 既存杭の杭頭部等の処理 ※ 図示による ・()				プロスタイプ オープ オープ オープ オープ オープ オープ オープ オープ オープ オー
	8.28.3 土工事	*既存杭の補強 ※ 図示による ・() *既存杭の健全性を確認する試験 ・ 行う ・ 行わない *理戻し及び盛土の材料、工法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 図示による [ま*処分にあたっては「リサイクルガイドライン」に基づき、適正に処理する。 *建設発牛土の有無 ・ 有 ・ 無	₹8.28.1]			建築士氏名 杉浦勝裕 検 製 図 衣浦東部広域連合

章	項目	特 記 事 項	備考	章	項目	■	特 記 事 項 備 考
	3節 断熱・防露改修工事 9.3.2 断熱材打込み工法	*断熱材の種類及び厚さ ※ 図示による ・()					*別表4 再資源化等をする施設の名称及び所在地 廃棄物の種類 施設の名称 所 在 地
		* 断熱材の種類					・コンクリート
9	9.3.4 断熱材後張り工法 4節 屋上緑化改修工事	* 断熱材の種類及び厚さ ※ 図示による ・() 断熱材に石膏ボード等を張り付けたパネルを使用する場合 ※ 図示による ・()					・鉄及びコンクリート
音	9.4.2 材料	* 芝及び地被類の種類等 ※ 図示による ・() * 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示による ・()					コンクリート
꾸	9.4.3 工 法	* 建設省告示第1458号に基づく風圧力に対応した工法 ※ 図示による ・() * かん水装置の設置及び種類 ※ 図示による ・()					
	 9.4.4 新植芝及び地被類	* 既存保護層等の撤去工法 ※ 図示による ・()			化学物質を発散する 等の使用制限の原則		本工事に使用する資材は、次の建築材料等の適正な選択による対策を講じること。 1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレン(以下「ホルムアルデヒド等」という。)を発散する建築材料等の使用制限の原則
環	の枯補償 5節 透水性アスファルト舗装				サップ区川市民の元宗	,	対策をとる建築材料等 使用制限の原則 (①)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材単板 ホルムアルデヒド等を発散しないか、発散が極めて少ない
境	9.5.2 既存舗装の撤去 及び再利用	・					積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材 JAS又はJISの規格品とする。 ② 家具、書架、実験台、その他の什器等 ①⑤⑦に掲げる建築材料等を使用している場合には、ホルム
配	9.5.3 路床	*凍上抑制層の適用及び厚さ ※ 図示による ・() *透水性舗装に用いるフィルター層厚さ ※ 図示による ・()					7ルデヒド等を発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3 ユリア樹脂板 ホルムアルデヒド等を発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
慮		*路床安定処理の適用及び方法 ※ 図示による ・()	[表8.28.1]	₇			4) 壁紙 ポルムアルデヒト等を発散しないか、発散が極めて少ないJAS又は Si 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の JISの規格品とする。
改		* 凍上抑制層及び透水性舗装のフィルター層の材料 ※ 図示による ・() * 砂の粒度試験 ・ 行わない ・ 行う					施工時に使用する接着剤 ⑥ 保温材、緩衝材、断熱材
修		*路床安定処理用添加材料 ・普通ボルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・図示による ・生石灰特号 ・生石灰1号 ・消石灰特号 ・消石灰1号					<u> </u>
エ		*路床土のCBR試験 ・行わない ・行う *路床締固め度試験 ・行わない ・行う					2) トルエン、キシレン及びエチルベンゼン(以下「トルエン等」という。)を含有する塗料及び接着剤の使用制限の原則 対策をとる建築材料等 使用制限の原則
事	9.5.4 路盤	*現場CBR試験 ・行わない ・行う *路盤の厚さ ※ 図示による ・()					① 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の トルエン等の 含有量が少ないJAS又はJISの規格品とする。
	9.5.5 舗装の構成及び仕上り	*舗装の構成 ※ 図示による ・()	[表9.7.3]				② 塗料 3) クロルピリホス、ダイアジノン及びフェノブカルブ(以下「クロルピリホス等」という。)を含有する防腐・防蟻剤の使用制限
	9.5.9 試 験	*舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの ・() * 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない					対策をとる建築材料等 使用制限 木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤 クロルビリホス等を含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻
	特定建設資材の再資源化等	*建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律((平成12年法律第104号)以下「建設リサイクル法」という。]に基づき、	特定建設	"			処理等は工場で行い、十分乾燥した後に現場へ搬入する。 4) 可塑剤を使用している建築材料等の使用制限の原則
		資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表1又は2、及び3の積算条件を設定して 工事におりる特別である。					対策をとる建築材料等 使用制限の原則 ① 壁紙用接着剤 フタル酸ジーnーブチル及びフタル酸ジー2ーエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているJAS又はJISの規格品とする。
		工事請負契約書の「解体工事に要する費用」等に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されたもので 発注者が積算上条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、現場条件の変更等 の責によるものではない事項については、この限りでない。また、受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が	f、受注者				② 木工用接着剤 フタル酸ジーnーブチル及びフタル酸ジー2ーエチルへキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
		ときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づく報告として、監督職員に「再資源化等報告書」を提出すること。「再資源化 書」は、https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/kenchiku-kijyun.html[建築工事事務の手引・関連様式]から入	化等報告		工事で使用する資材	. 機材	本工事に使用する資材・機材は、令和4年版国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の各標準仕様書、本特記仕様書、並びに
チ		(注)別表4については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお受注者の提示する施設と異な においても、設計変更の対象としない。			工事で区別する負担		図面で指定された品質、促物は、「パロールにコースの国内の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の
		*別表1 建築物に係る解体工事					名簿登載品」という)。ただし、評価書の「納入地区及びアフターサービス地区」に当該工事場所が含まれる場合に限る。 2) (一財)ベターリビングが認定した優良住宅部品(BL部品)。ただし、現場においてBLマーク表示が確認できるものに限る。
		T T 程 作業内容 分別・解体等の方法 程 ・建築設備、内装材等 ・有 ※ 手作業					3) その他、各標準仕様書の仕様規定及び試験方法に適合することが証明書等で確認でき、監督職員の承諾を得られたもの。 (定期的なメンテナンスが必要になる機材については、メンテナンス(アフターサービス)の体制についても監督職員に承諾が得られること。)
		・無 ・手作業と機械作業の併用 ・を根ふき材 ・有 ※ 手作業		他			なお「評価名簿登載品」は、(一社)公共建築協会の「建築材料・設備器材等品質性能評価事業」の評価書の写しを提出する
		* ・手作業と機械作業の併用 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			東洋ゴム化工品㈱及	び	ことにより、その評価を受けたこと及びメンテナンスの体制があることについて証明することができる。 受注者は、東洋ゴム化工品(株)、ニッタ化工品(株)で製造された製品や材料(以下、ゴム製品等とする。)を用いる場合には、
					ニッタ加工品(株)で製 製品・材料を用いる場	!造された 	 同社が製造するゴム製品等に対して請負者が指定した第三者(東洋ゴム化工品(株)、ニッタ化工品(株)と資本面・人事面で 関係がない者)によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督職員の確認を得るものとする。
の							なお必要な品質証明書は、以下の試験及び検査において、製品に応じて必要な規格について取得するものとする。 試験名
		上法 () ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					通常状態での試験(常態試験) 硬さ、比重、引張強度、伸び 熱老化試験 熱老化前後での変化率(硬さ、比重、引張強度、伸び)
		* <u>別表2</u> 建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替) エ 程 作業内容 分別・解体等の方法 投 ・ 法成等 ・ 五 ・ 五 ・ 五 ・ 五 ・ 五 ・ 五 ・ 五 ・ 五 ・ 五 ・					<u>圧縮永久ひずみ試験</u> 圧縮による残留歪み 製品検査 外観、寸法、性能
		程 ・造成等			完成品について		ただし、第三者による品質証明書類を提出し監督職員の確認を得た場合であっても、後に製品不良等が判明した場合に 受注者の契約不適合責任が免責されるものではない。 ・設備工事についても竣工図を作成すること。
		の ・ 基礎、 基礎			ル水田に びいし		↑設備工事についても竣工図をTF及りのこと。 ・竣工図は自社の社名を記載すること(CAD DATAの提出)。 ・竣工図、主要機器完成図、取扱説明書、保証書、官公署その他への提出書類はファイルにまとめること。
他		内 ・無 ※ 手作業と機械作業の併用 ・有 ※ 手作業と機械作業の併用					
		A					
		(本) ・無 ・手作業と機械作業の併用 (カ) ・その他 ・有 ・手作業					
		上法 (
		* <u>別表3 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(外構・工作物等)</u> エ					
		程 ・仮設 ・有 ※ 手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用					
		・土工 ・有 ※ 手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用					
		* ・					
							カニワ建築設計室 碧南消防署仮眠室改修工事 図面番号
							建築士登録番号 151655号 縮尺 A-09 建築改修工事特記仕様書 9/9
		方 ・その他 ・有 ※ 手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用					建築士氏名 杉浦勝裕
							検



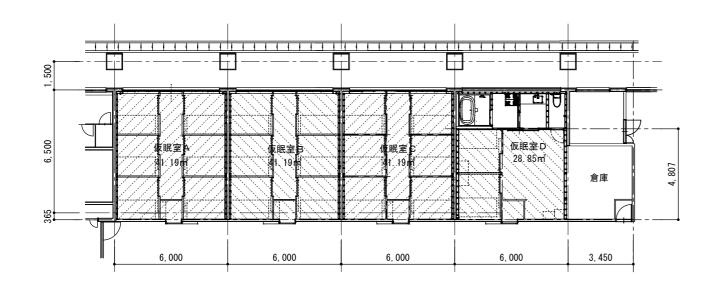
仕上げ表

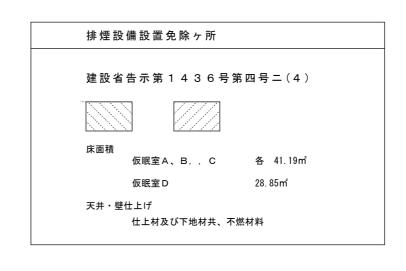
	改修前仕上			改修後仕上		
部位	仮眠室 A, B, C,	トレーニングルーム	仮眠室 A, B, C,	仮眠室 D	仮眠室 D トイレ・洗面・脱衣	倉庫
天井	化粧PB t=9	化粧PB t=9	化粧PB t =9.5 (不燃) 不燃: NM-1864 ジプトーン模様	PB t=12.5 (不燃) 不燃: NM-8619 不燃ビニールクロス	PB t=9.5 (不燃) 不燃:NM-0441 不燃ビニールクロス	既設スタイロフォーム現わし
壁	PB t=12 GLボンド工法	有孔合板 t=9	PB t=12.5 (NM-8619) 不燃ビニールクロス	PB t=12.5 (NM-8619) 不燃ビニールクロス	PB t=12.5 (NM-8619) 不燃ビニールクロス	現況壁(有孔合板 t=5.5) 現状のまま 合板 t=5.5 EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75	木製巾木 H=75	ソフト巾木 H=60	ソフト巾木 H=60	ソフト巾木 H=60	木製 H=75 現況巾木は、現状のまま
床	ニードルパンチカーペット t =4 タイルカーペット	ニードルパンチカーペット t =4 タイルカーペット	下地調整の上複層ビニル床シート t =2 踏込み部共	下地調整の上タイルカーペット t = 7 踏込み部 下地調整の上複層ビニル床シート t = 2	ビニル床タイル 600 x 600 x 2.5 (硬質塩化ビニルタイル)	ニードルパンチカーペット t = 4 タイルカーペット (現状のまま) 仮眠室との取合いは、調整の上復IE
備考			カーテンレール 遮光カーテン 遮光率1級 下駄箱	カーテンレール 遮光カーテン 遮光率1級 下駄箱		

註 記

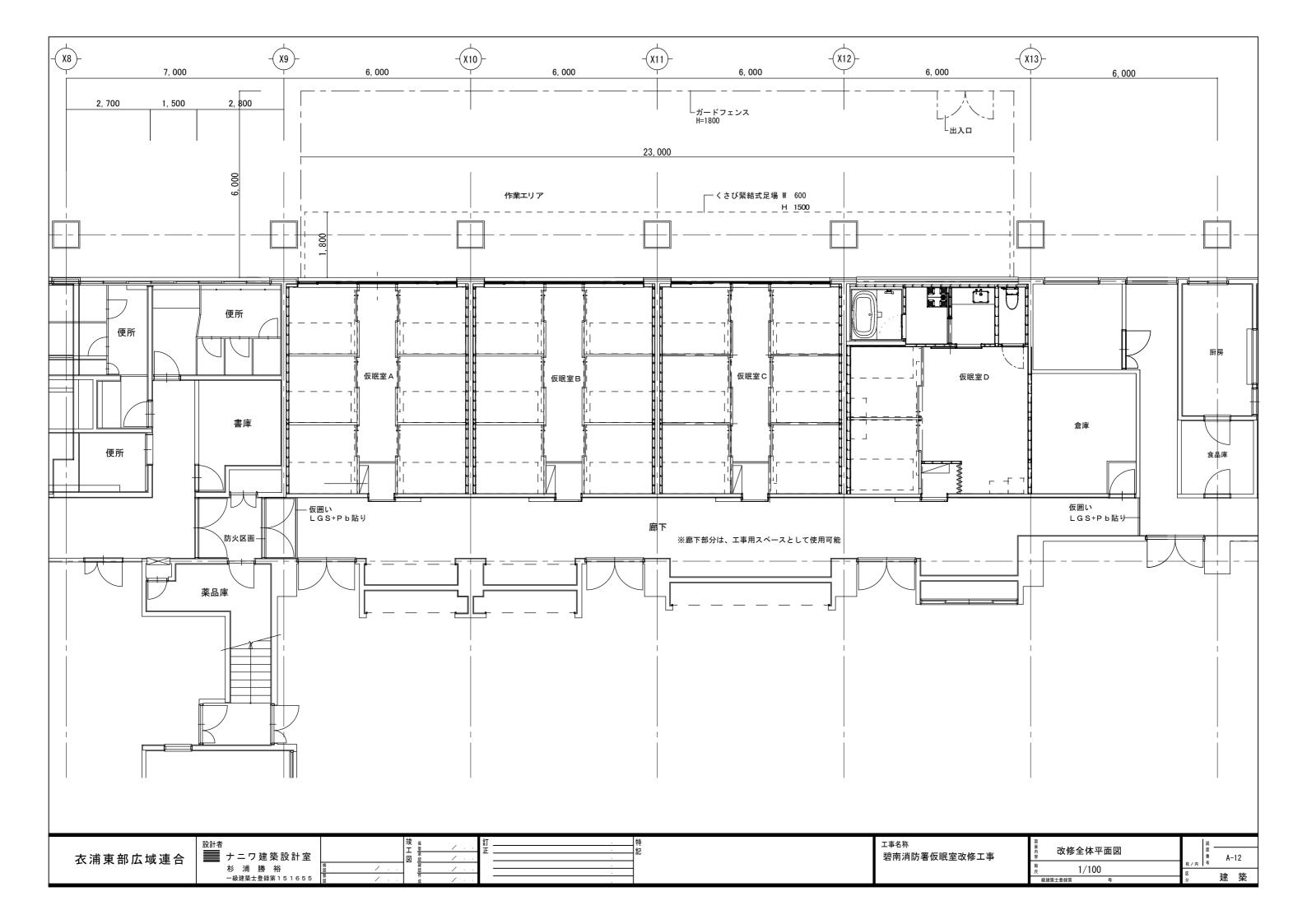
- 1. 設備機器等の撤去は管工事とし、機器廻りの仕上撤去、補修は建築工事とする。
- 2. 既設壁の配管等により仕上材が撤去された部分の補修は建築工事とする。

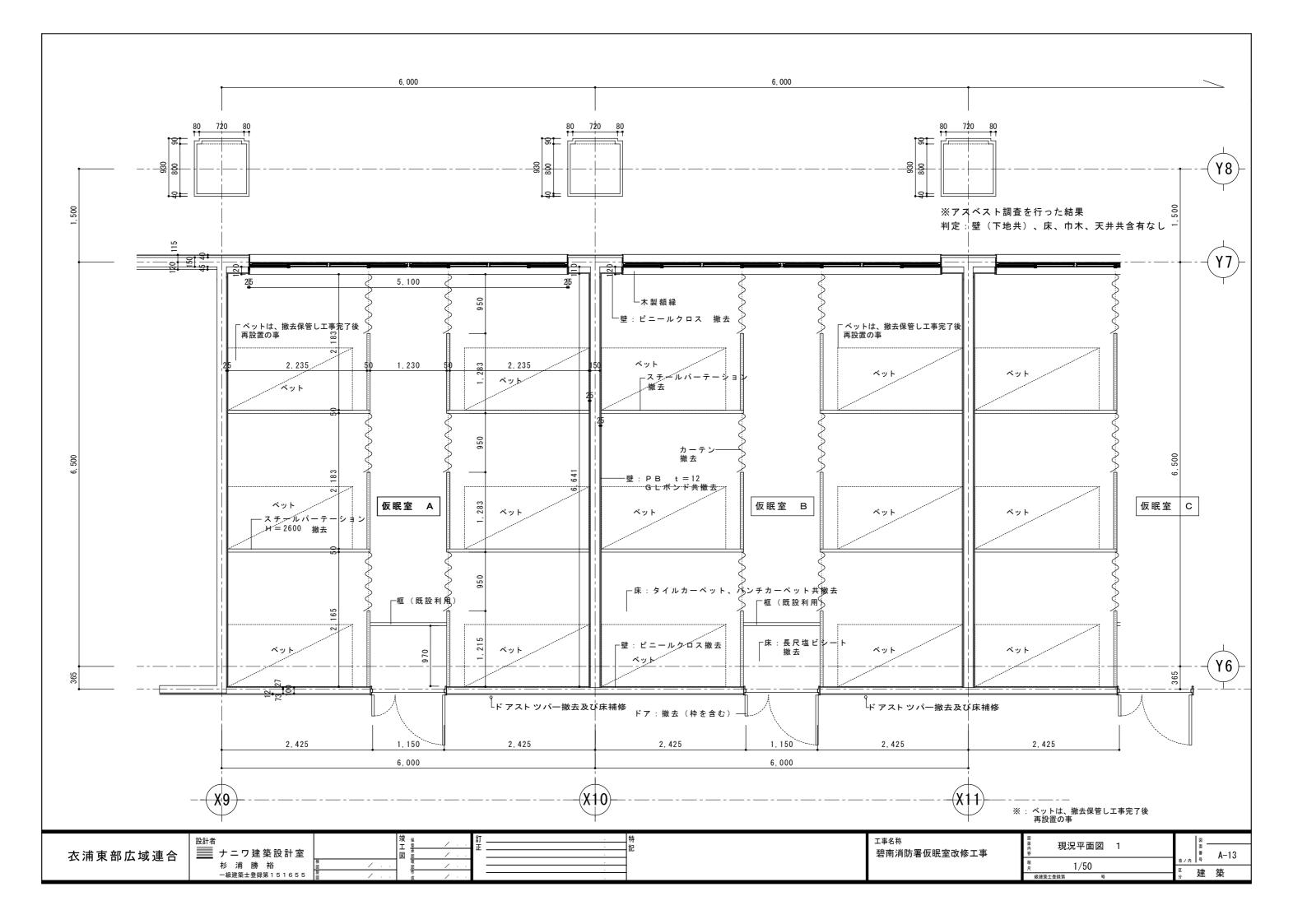
法規チェック図 1/200

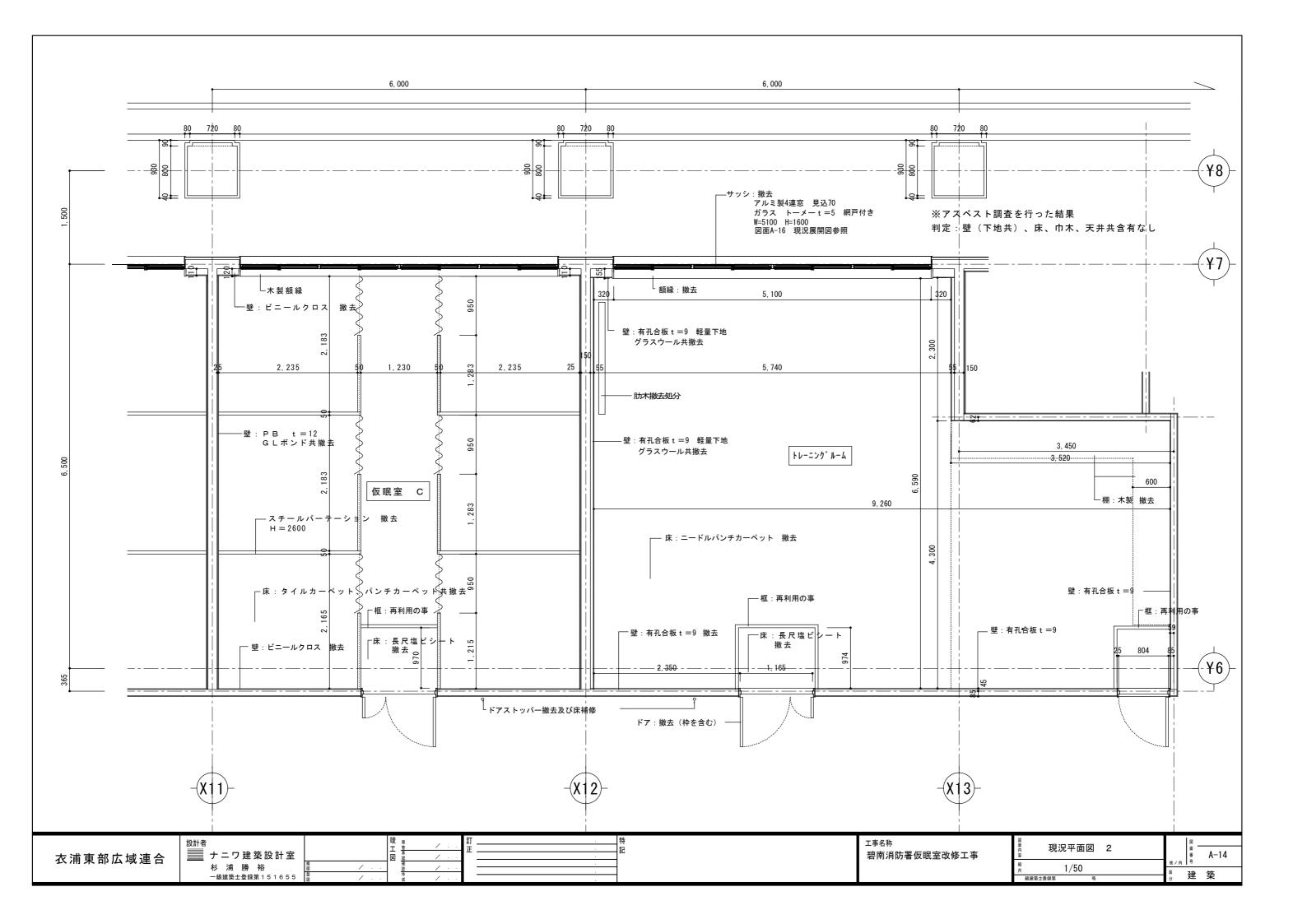


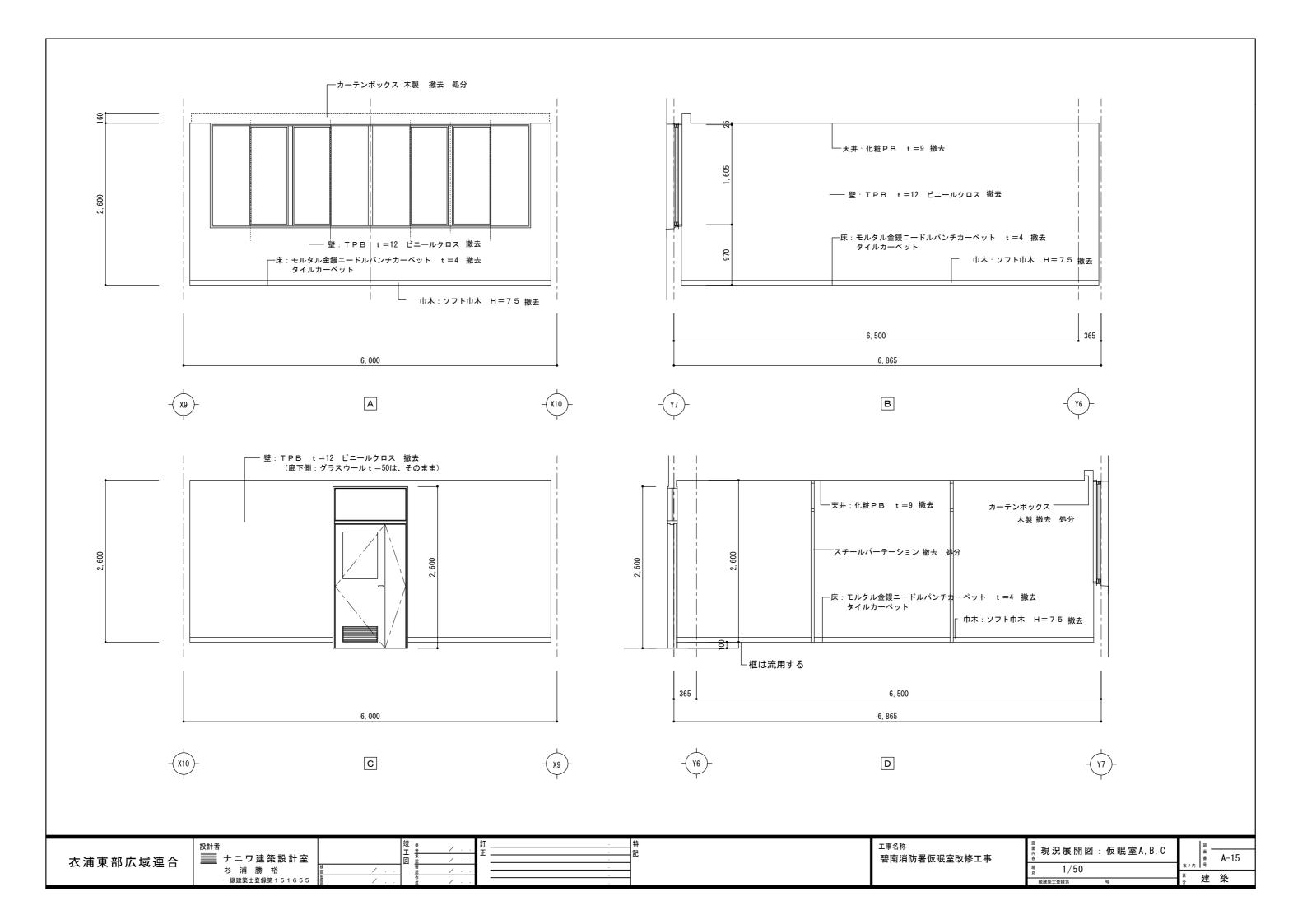


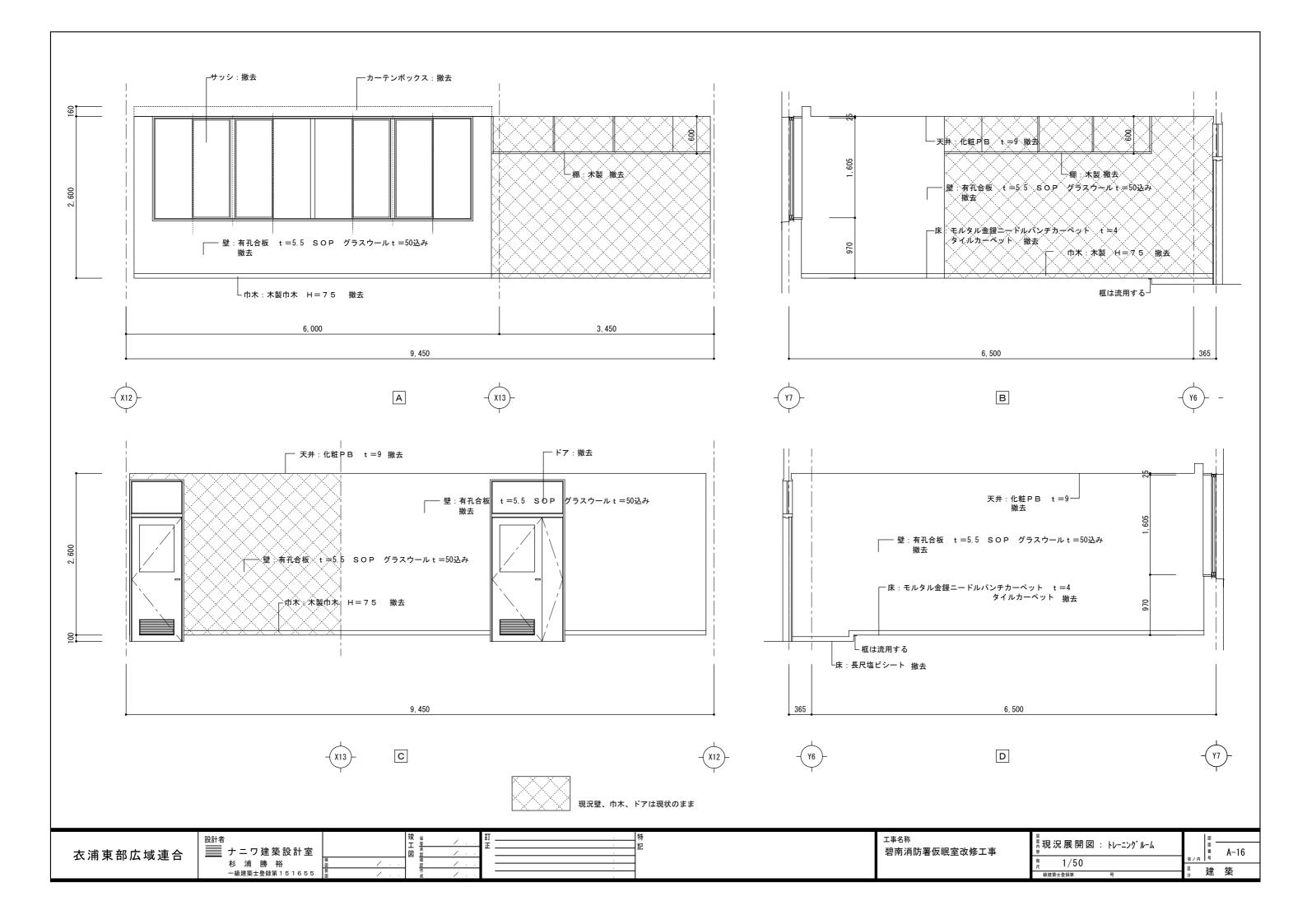
│ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │	ナニワ建築設計室	-	工 意 / · ·	Ē	17 <u>តិ</u> រ	^{工事名称} 碧南消防署仮眠室改修工事	^面 仕 上 表	画 番 枚/内 号 A-11
	杉 浦 勝 裕 一級建築士登録第151655		^雑 / · · · 作 成 / · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			籍 1/200	産 建 築

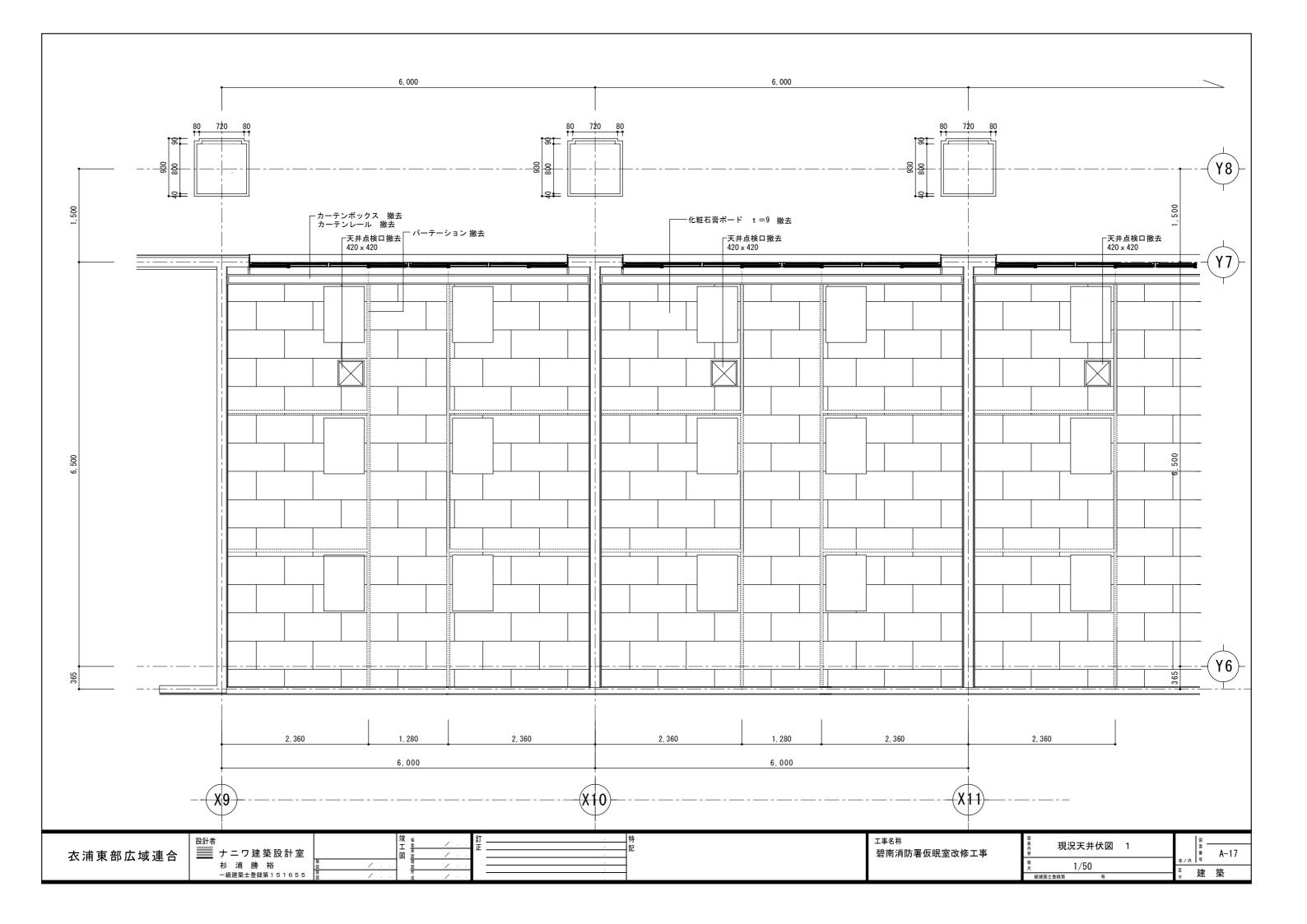


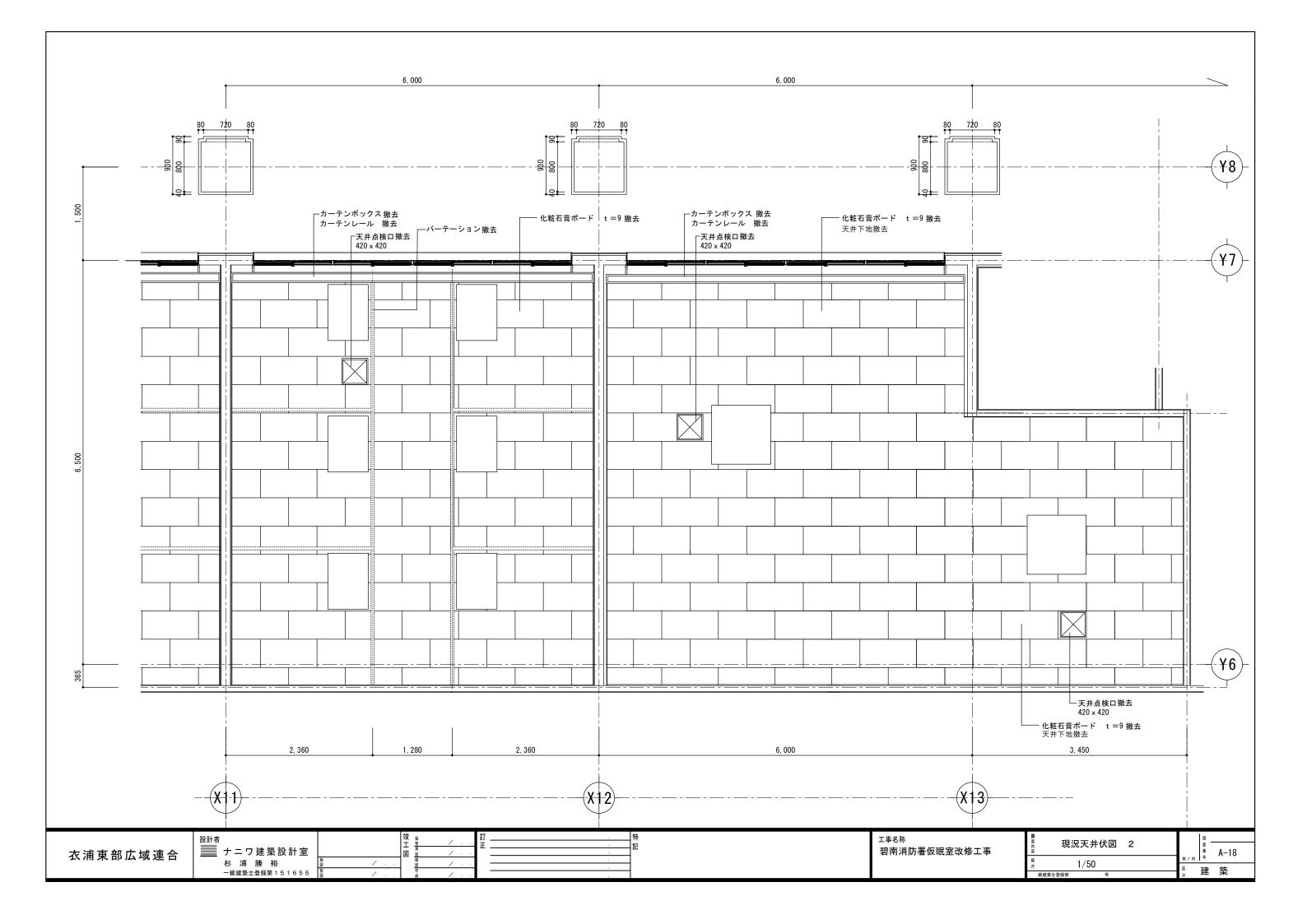


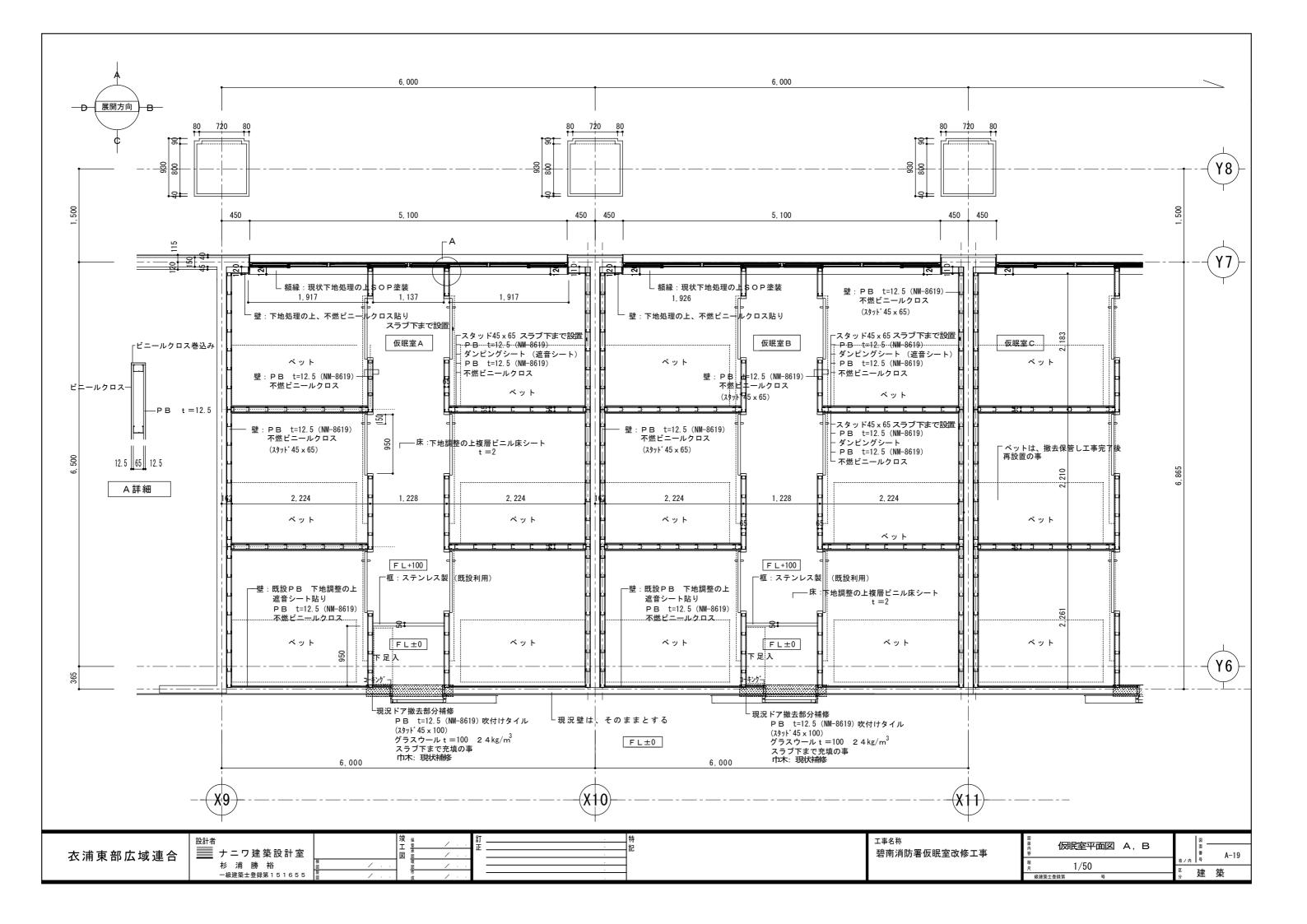


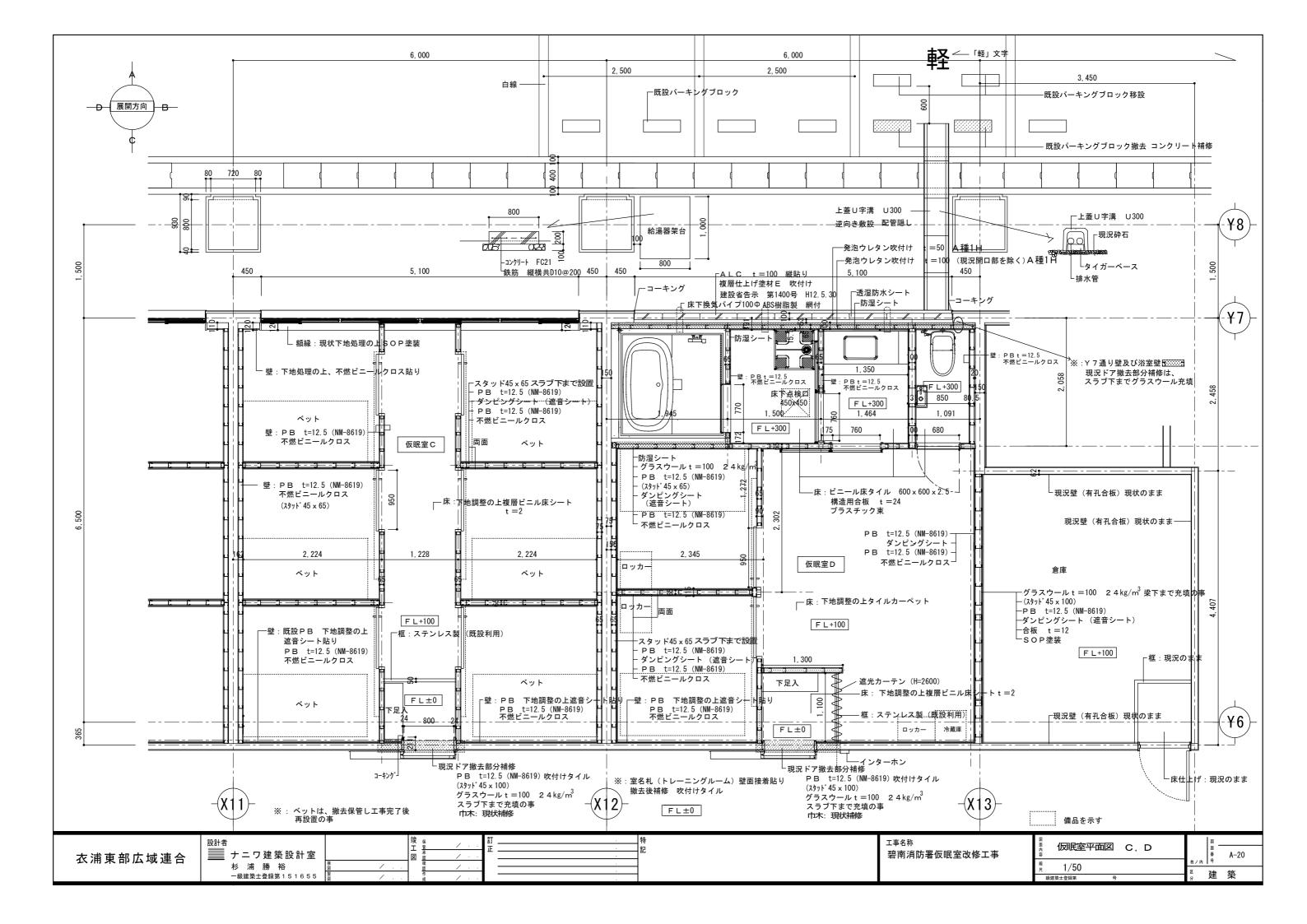


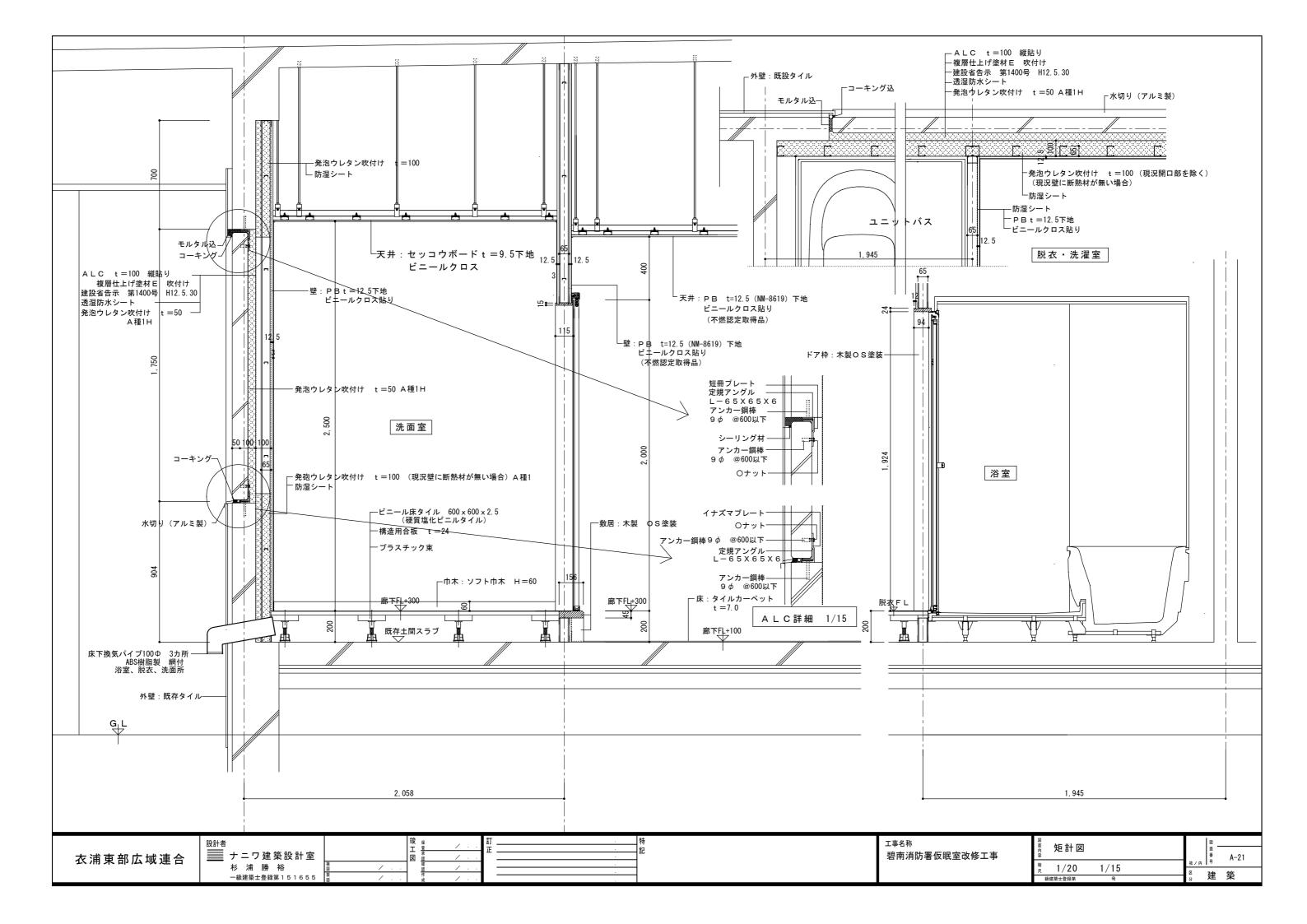


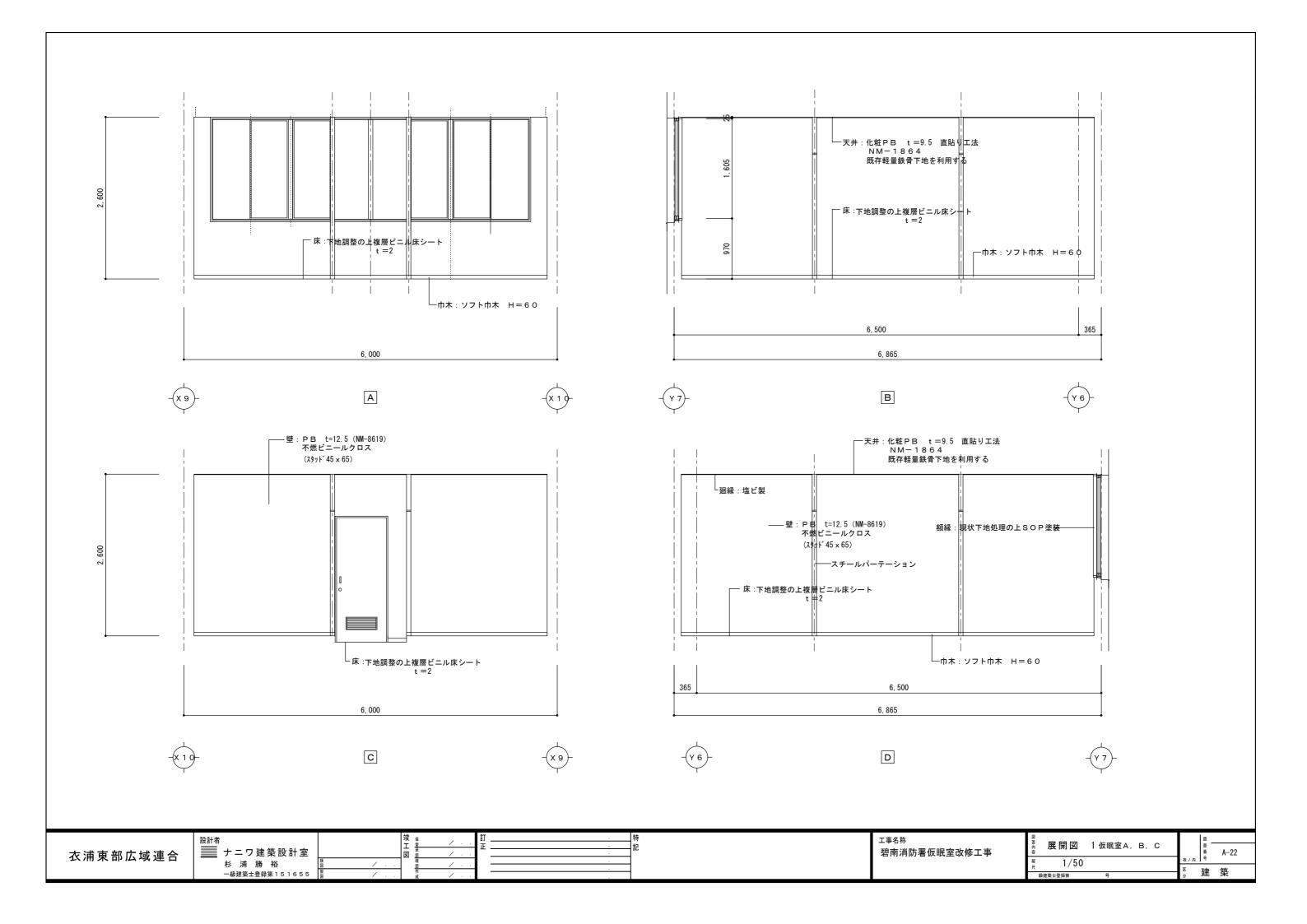


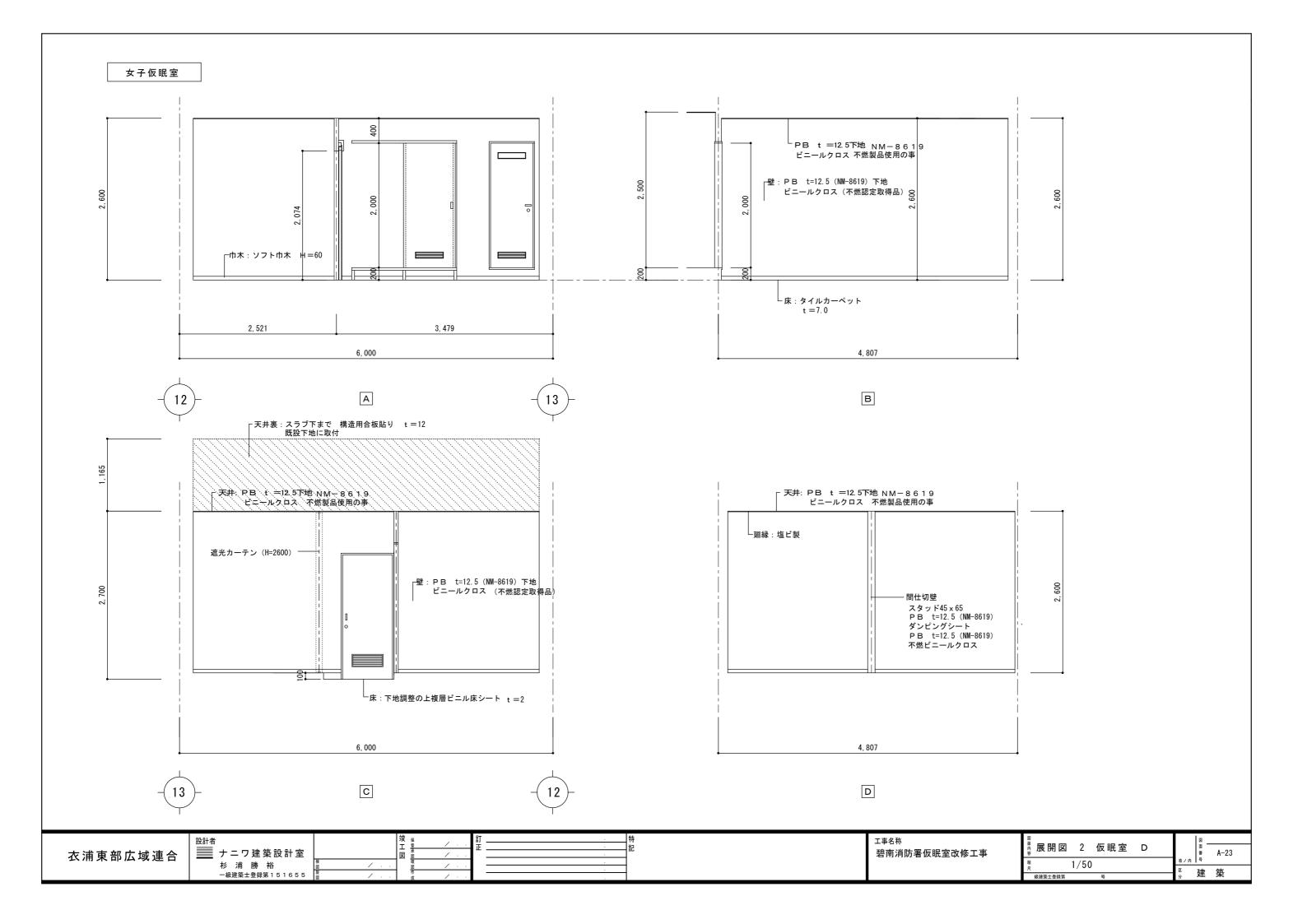


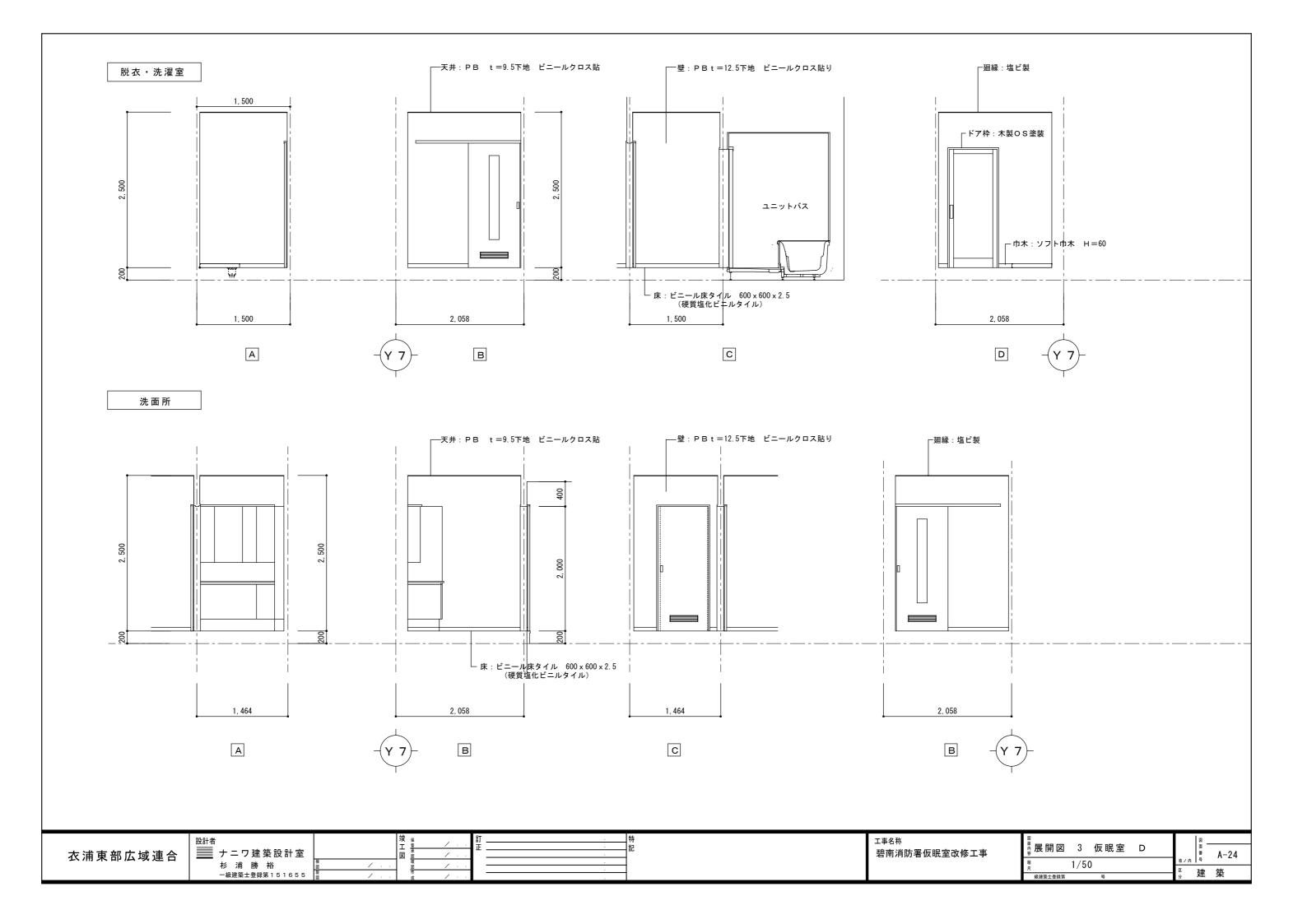


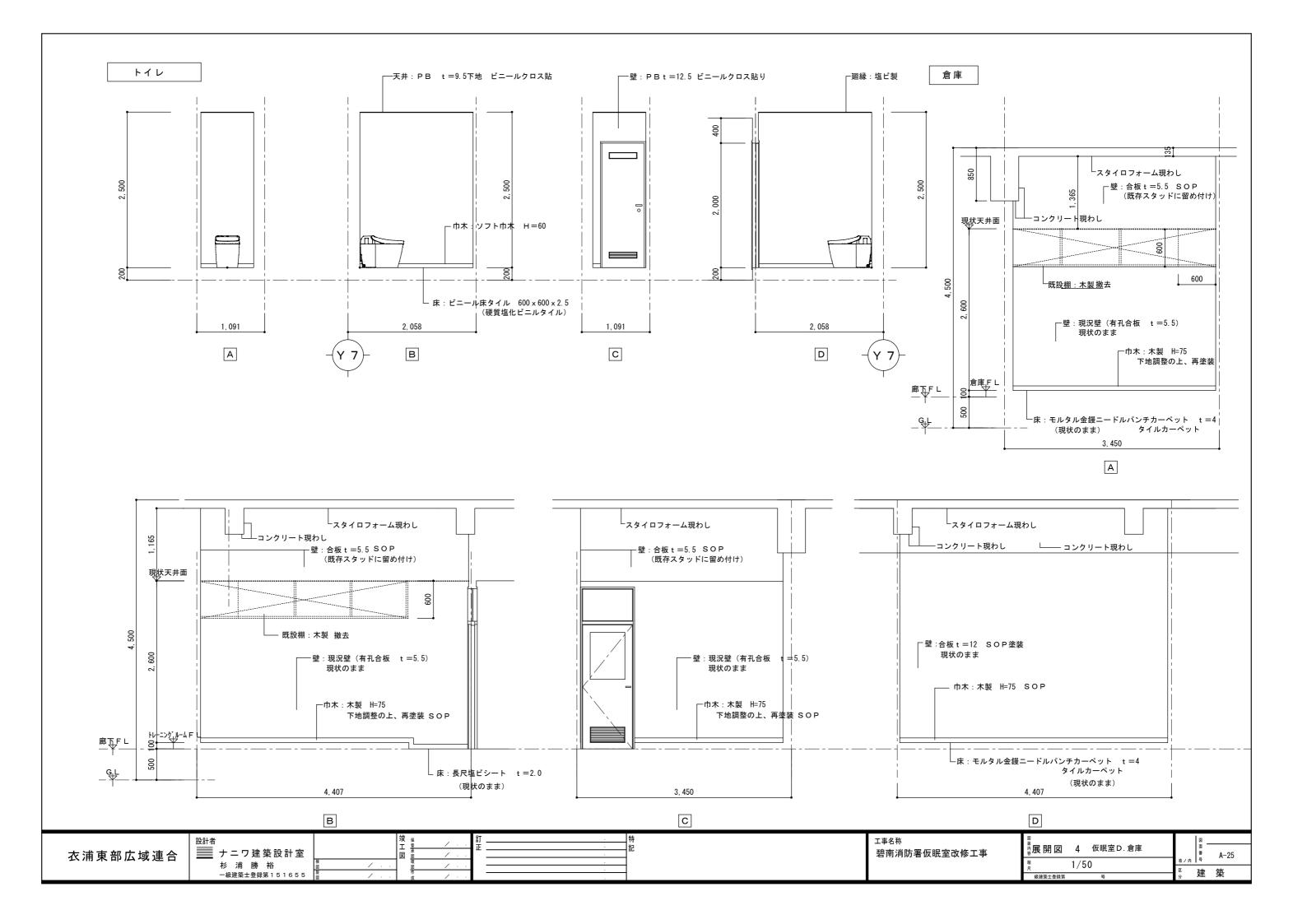


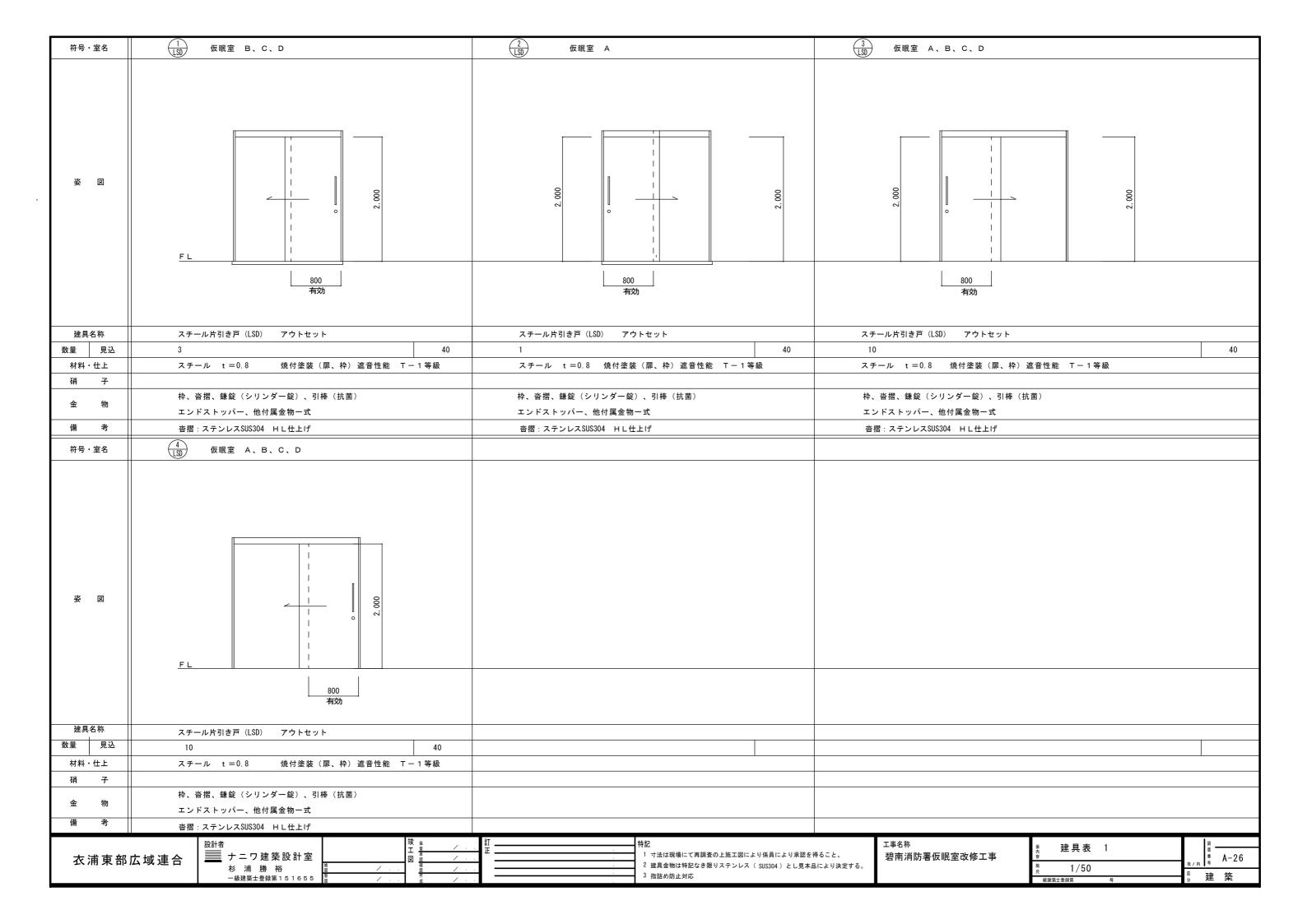


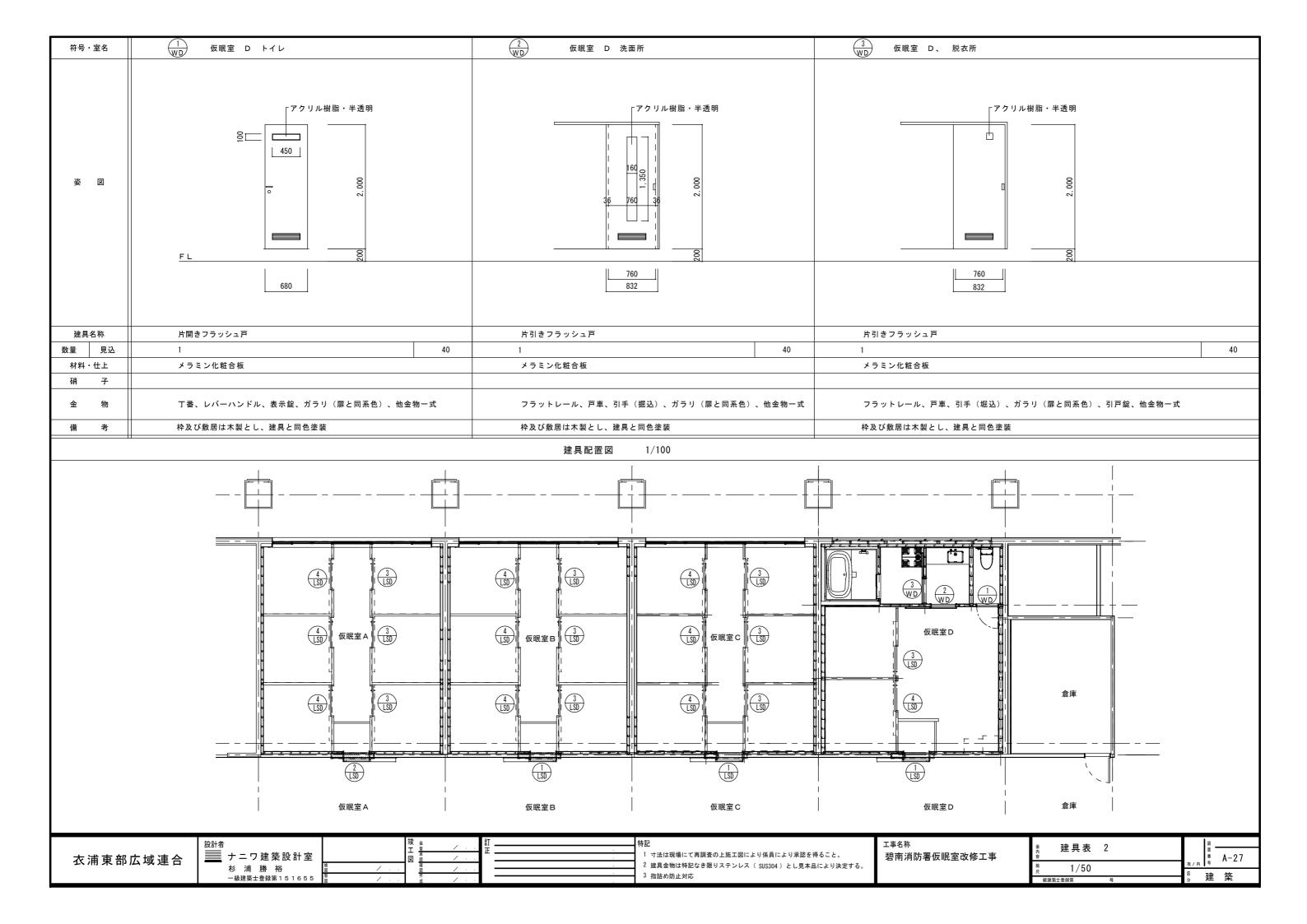


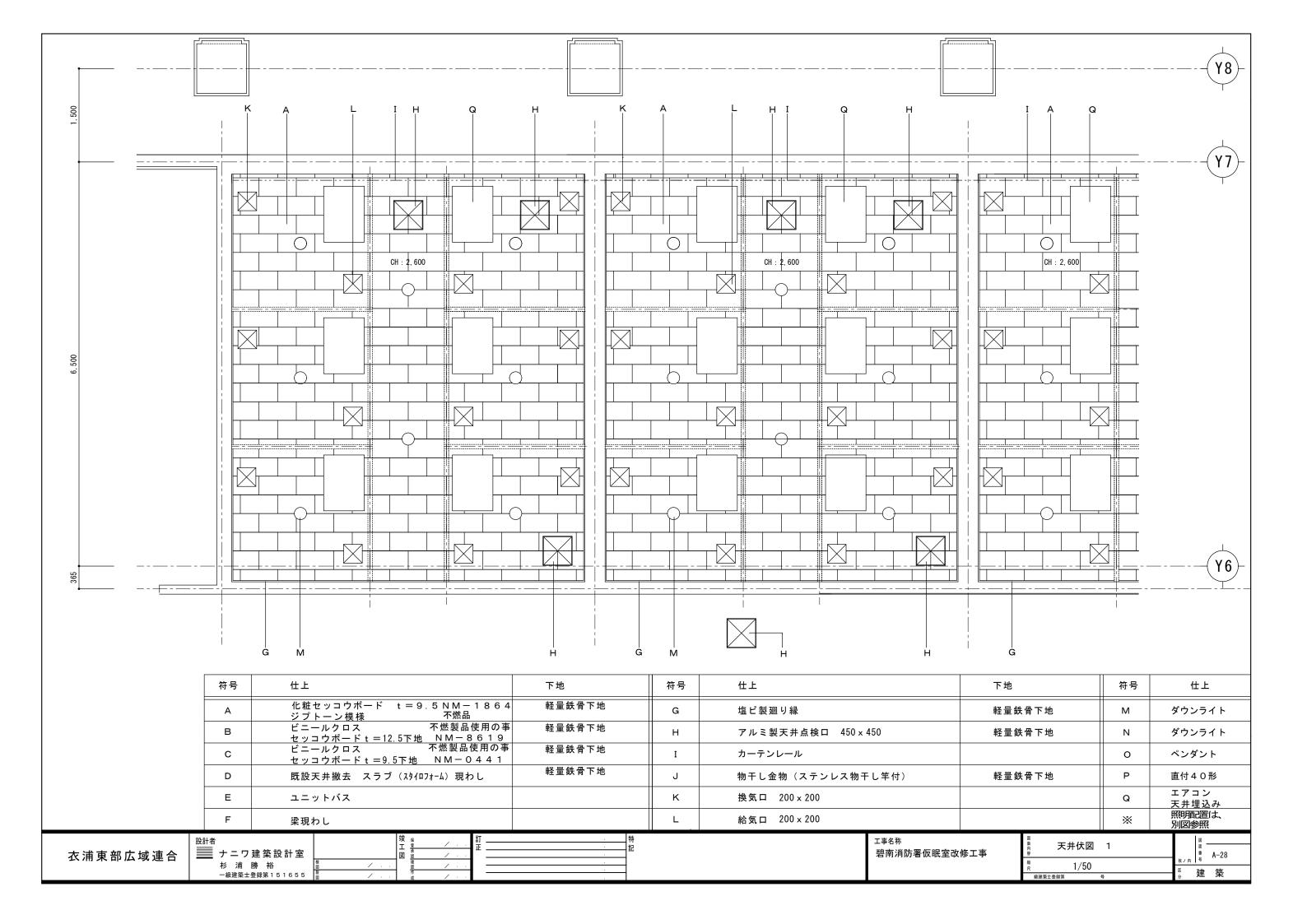


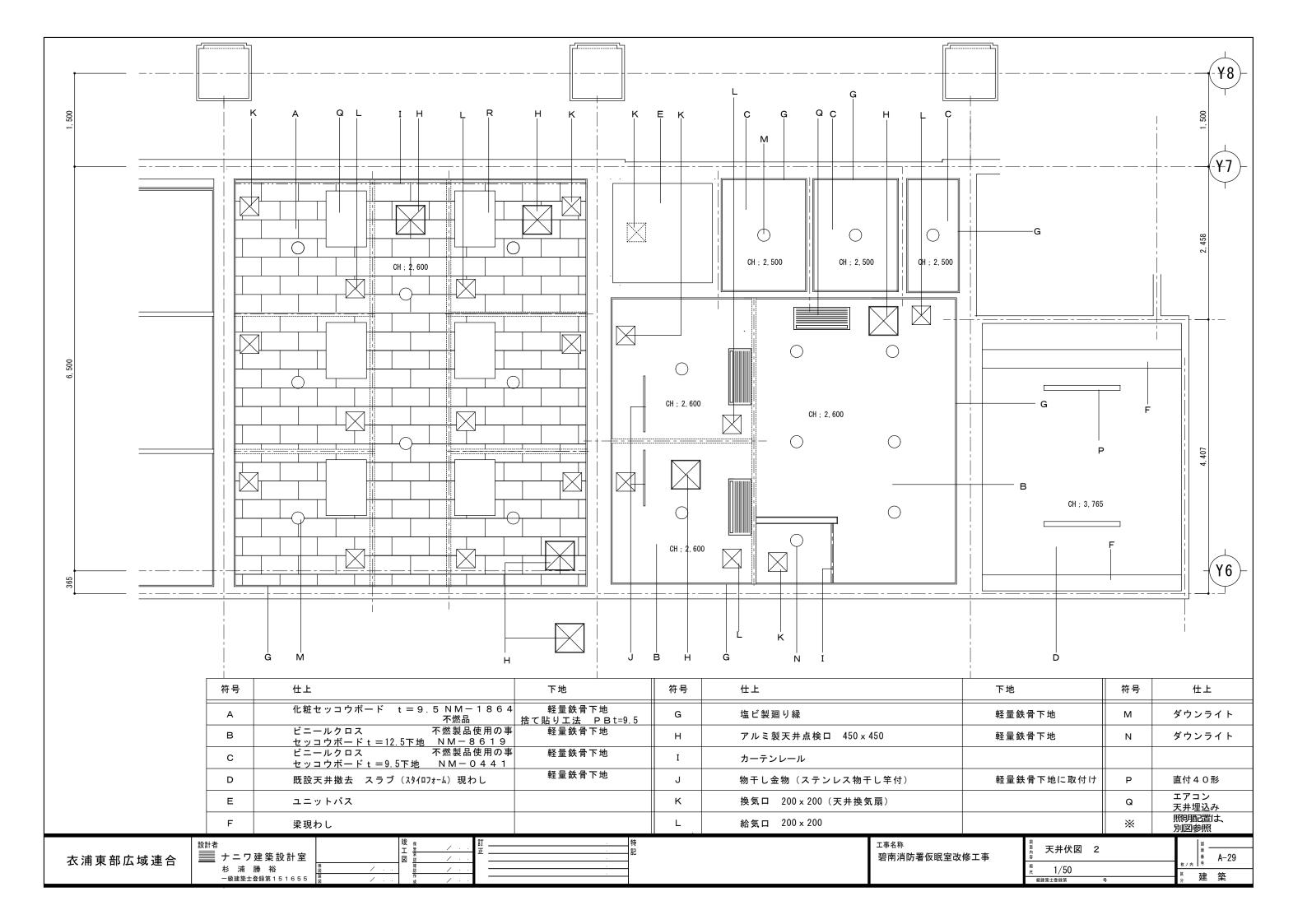


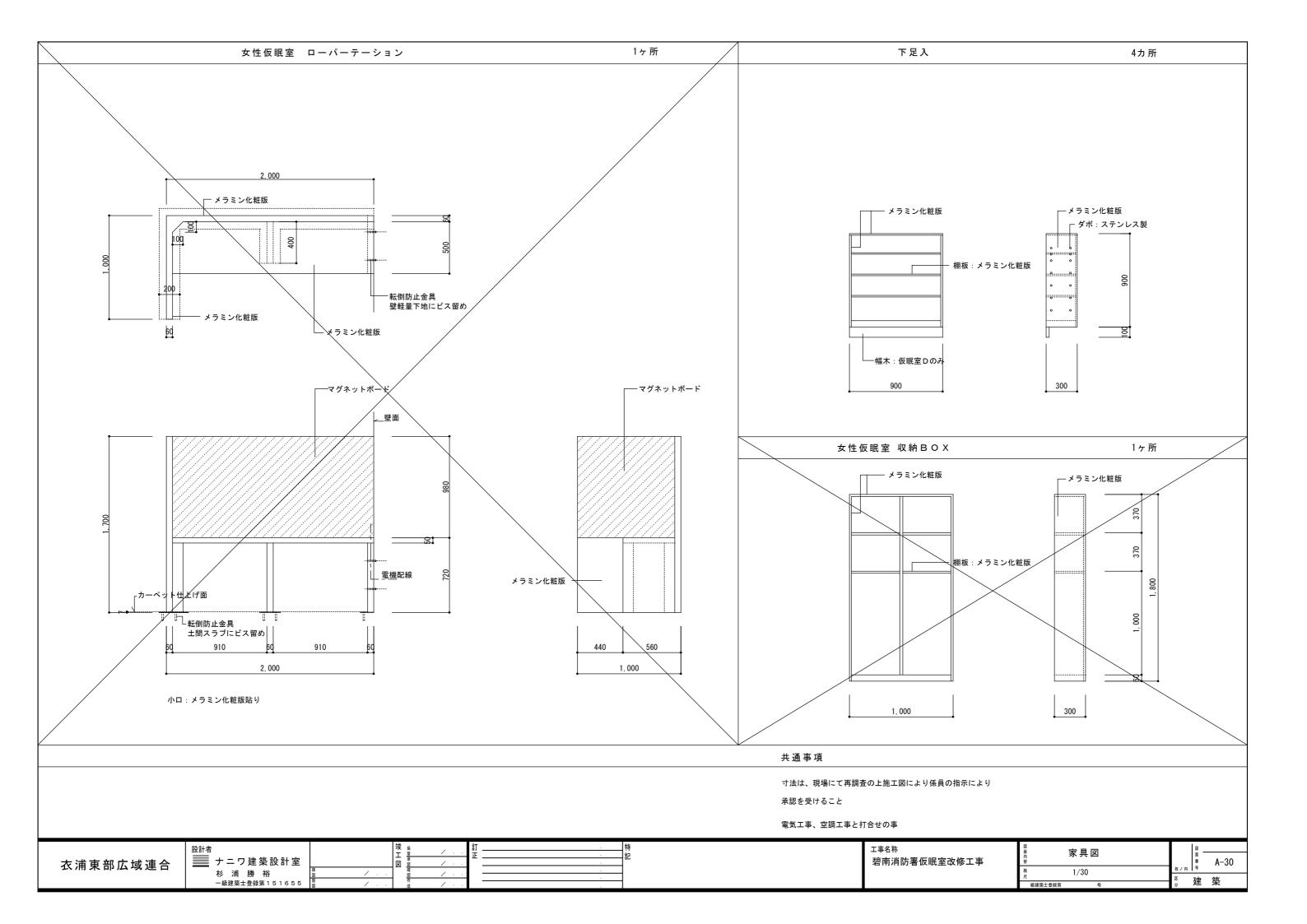


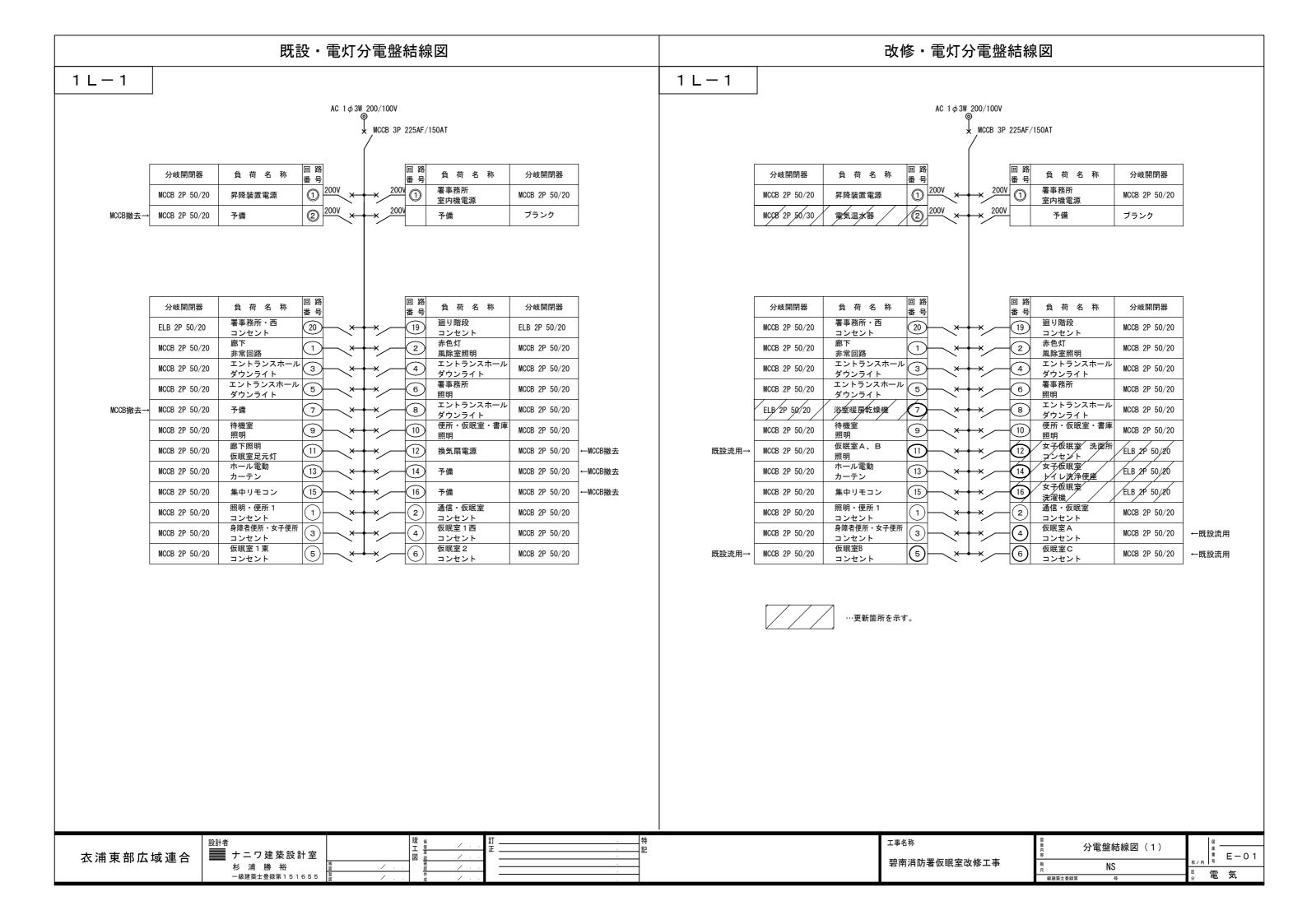


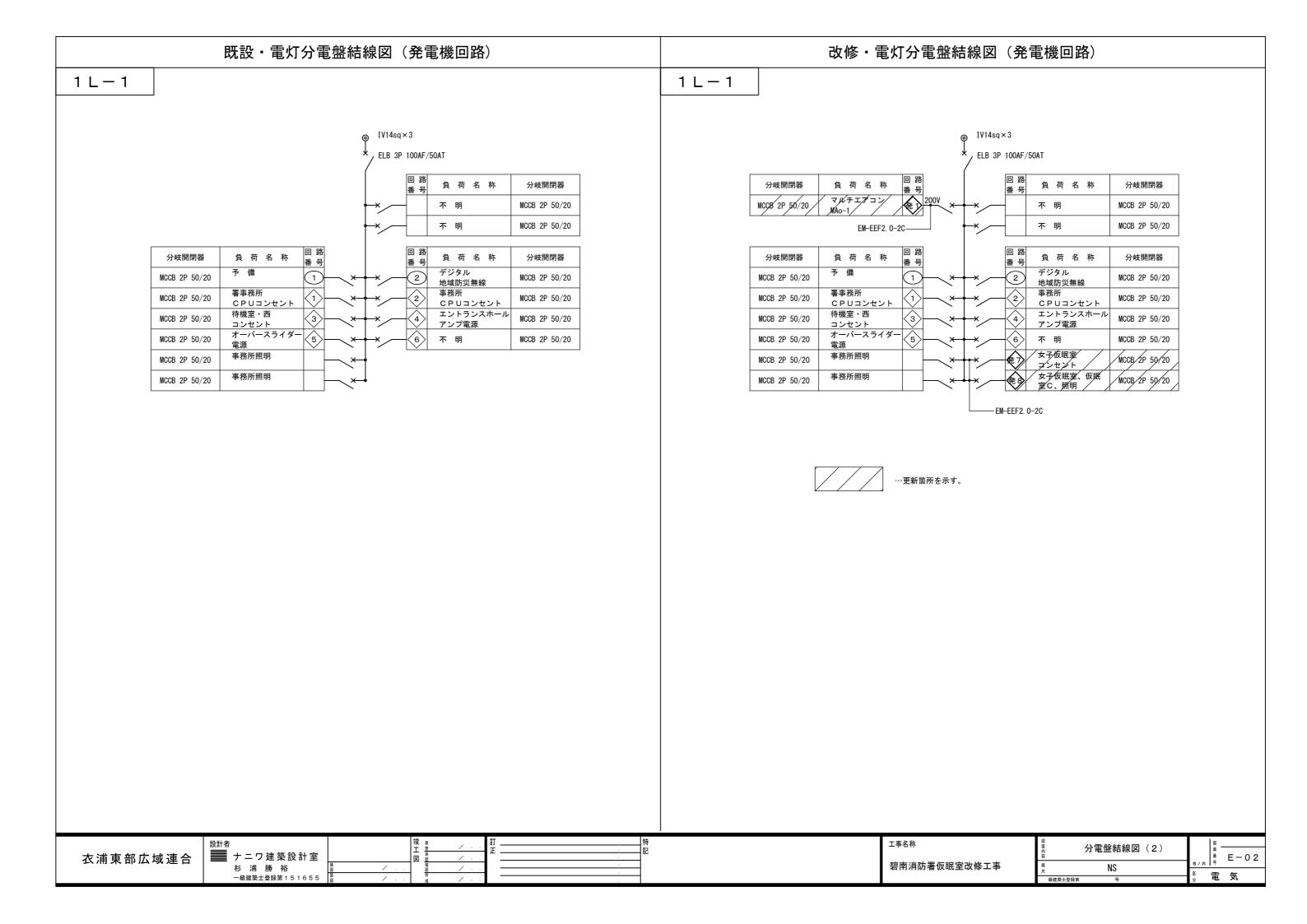


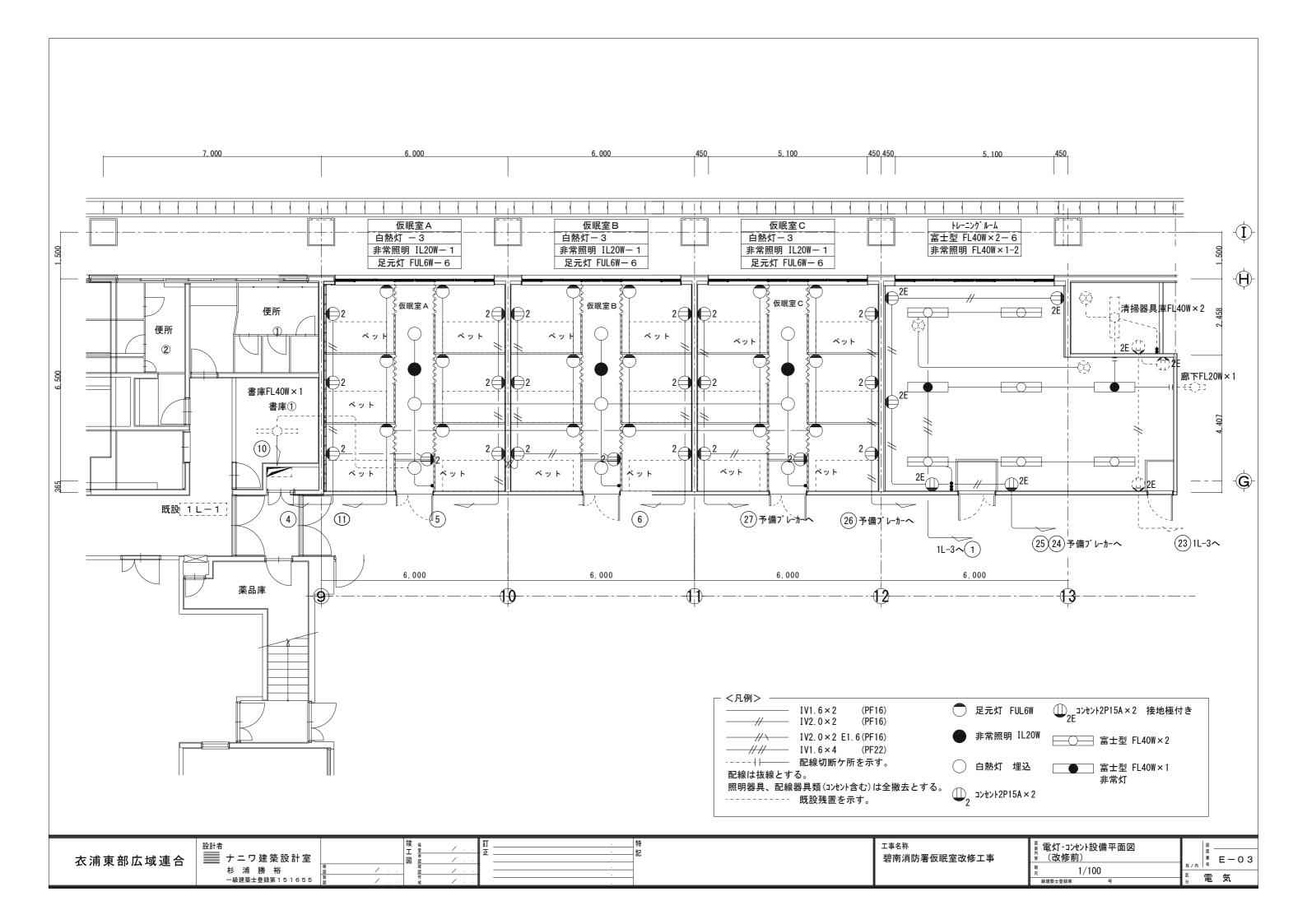


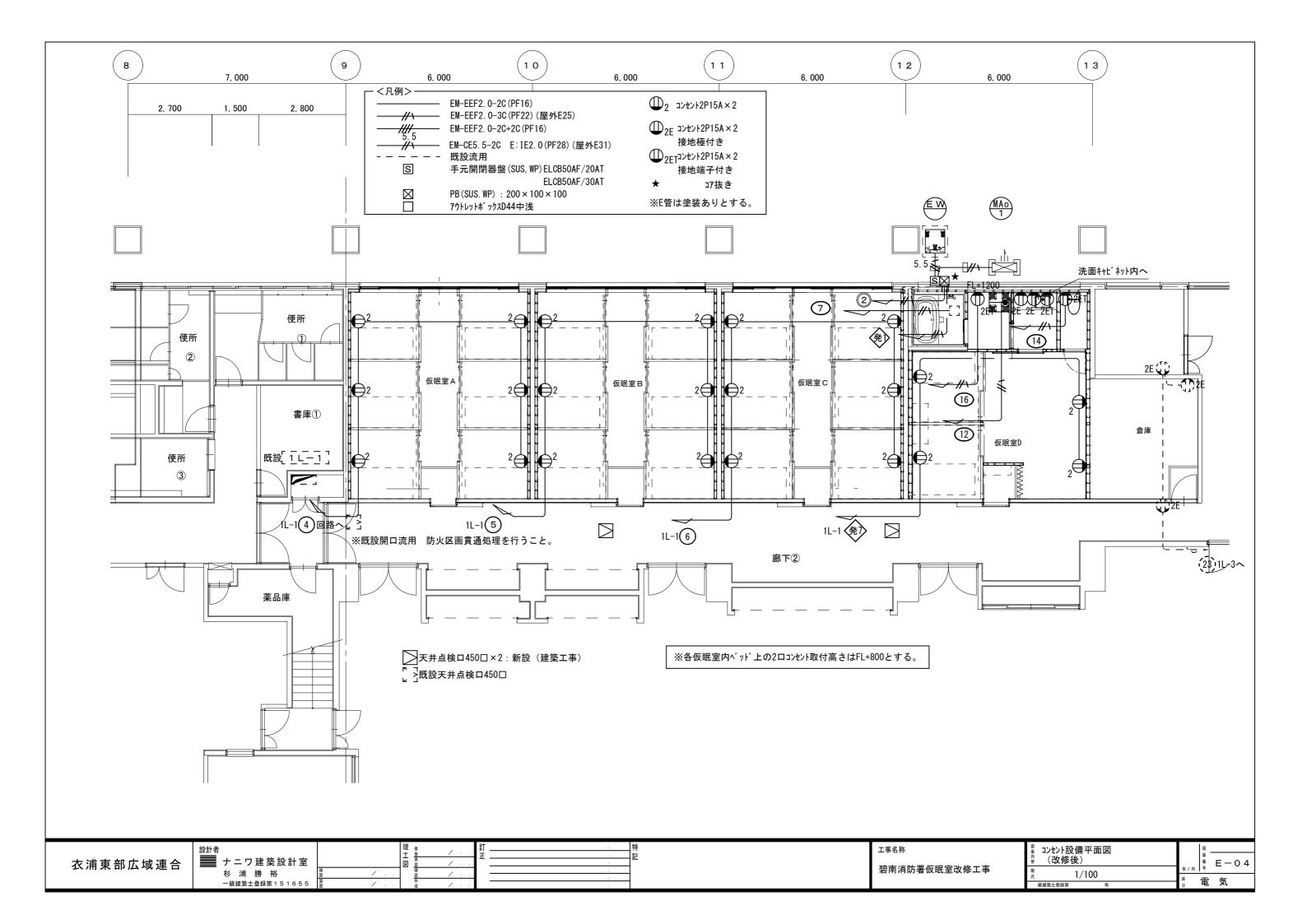


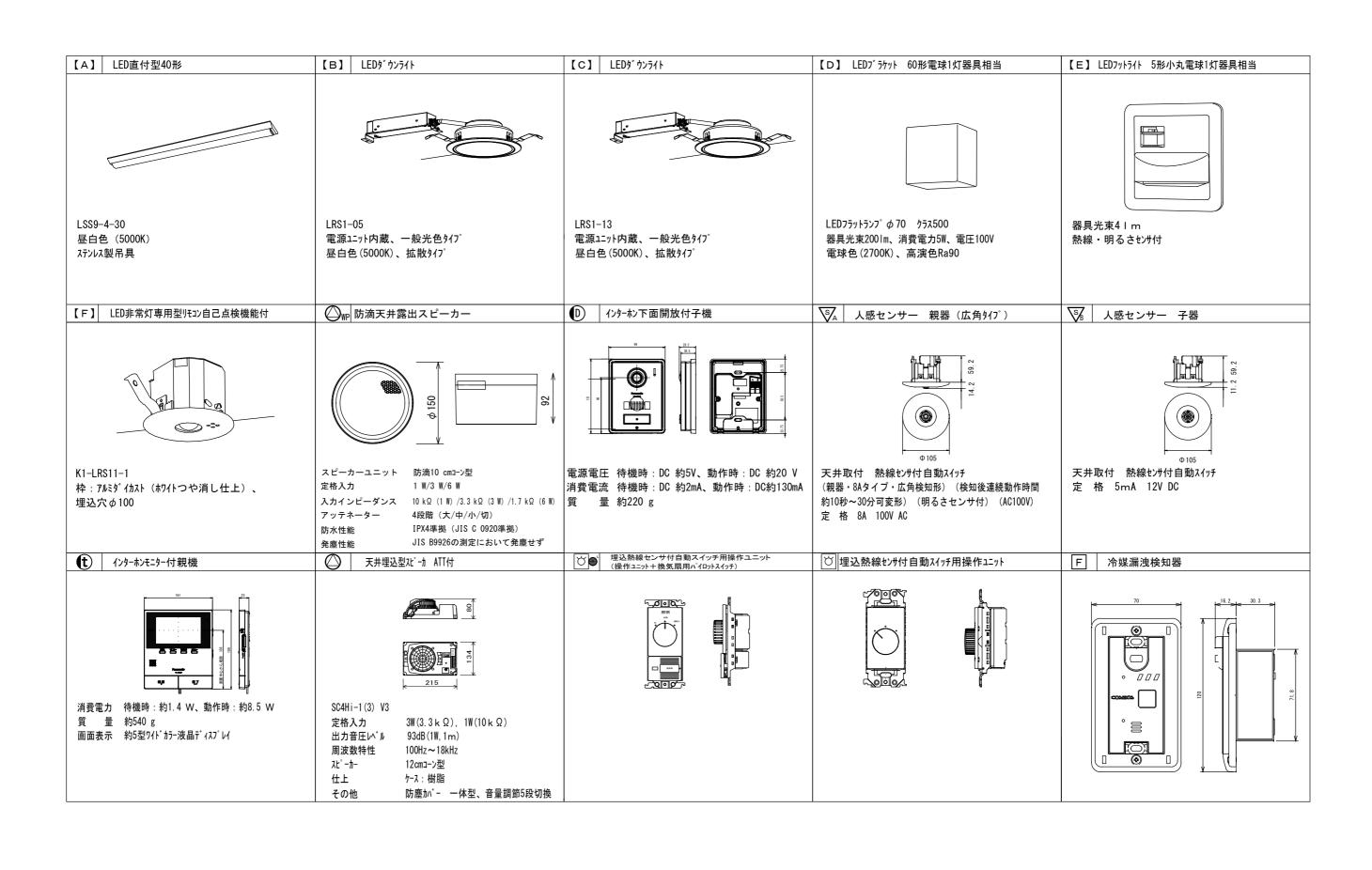


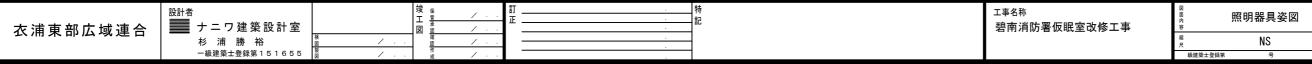




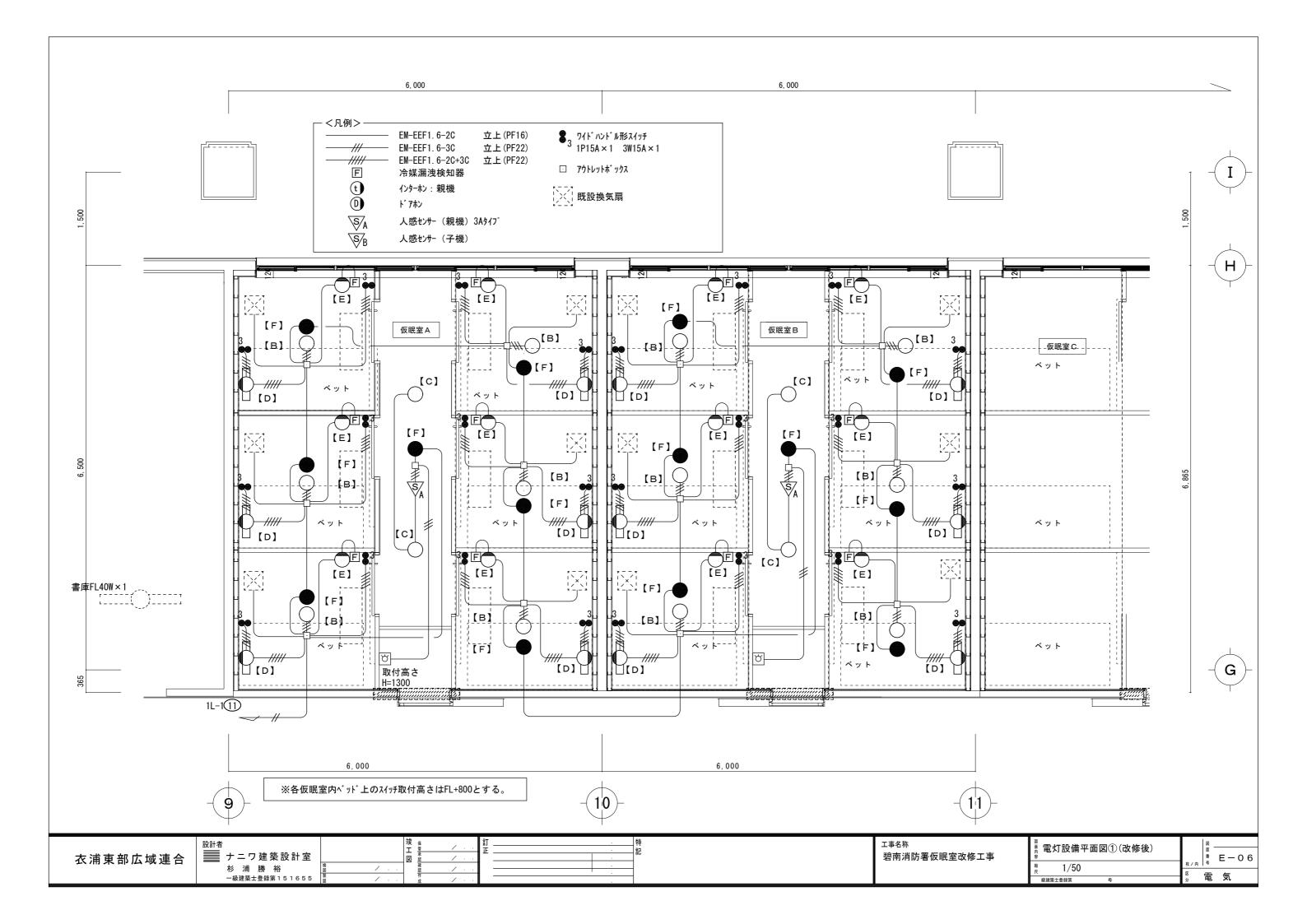


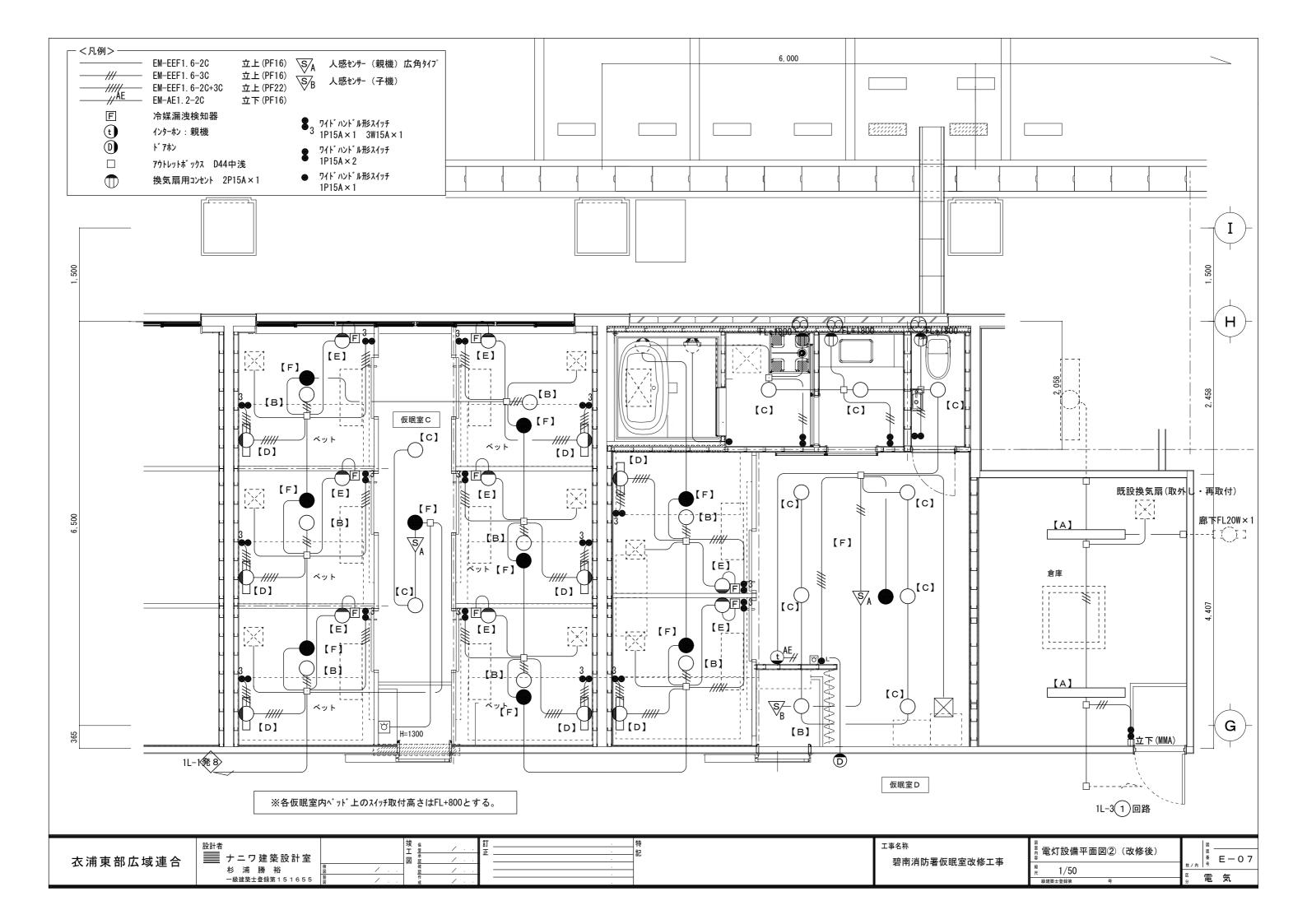


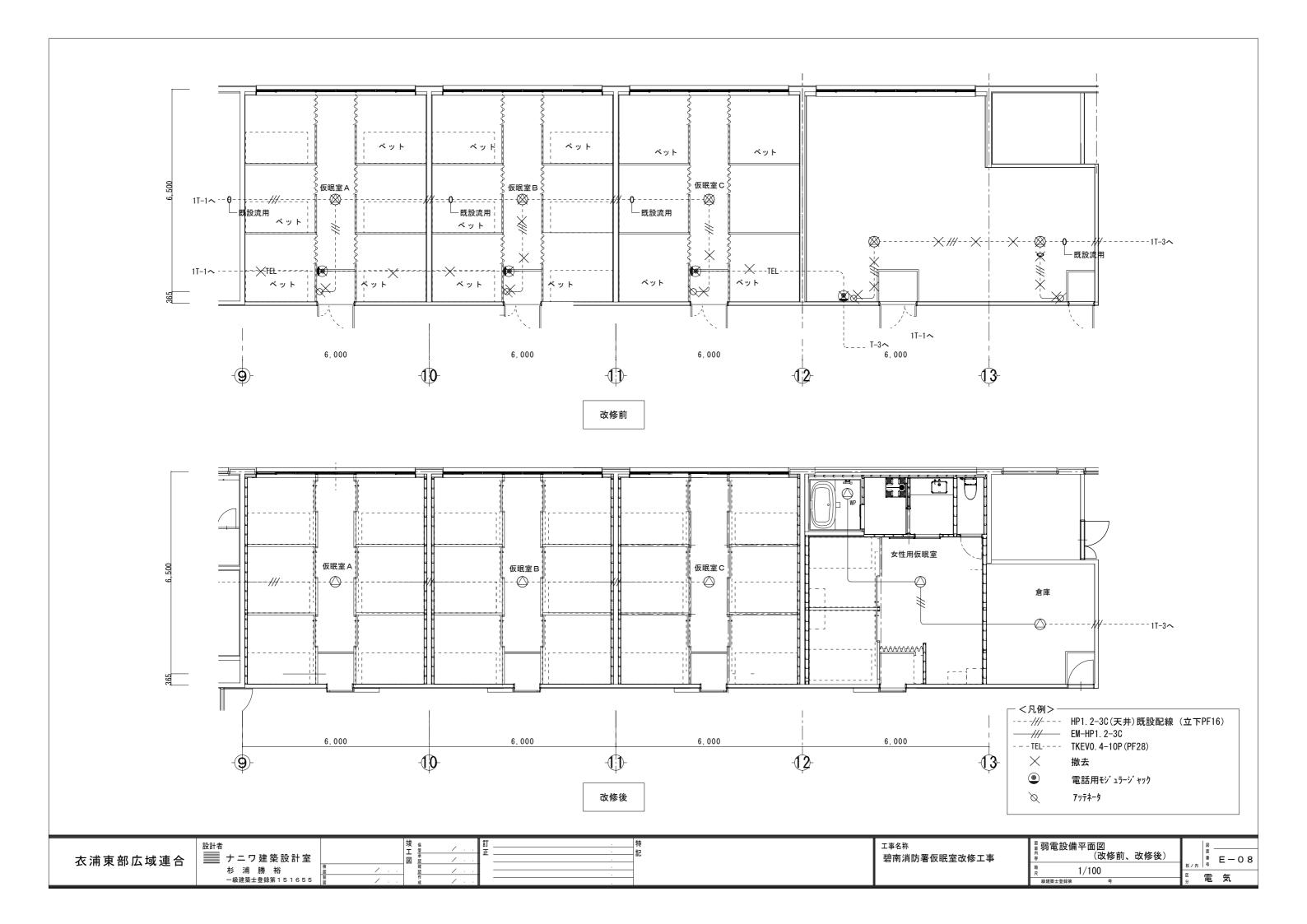


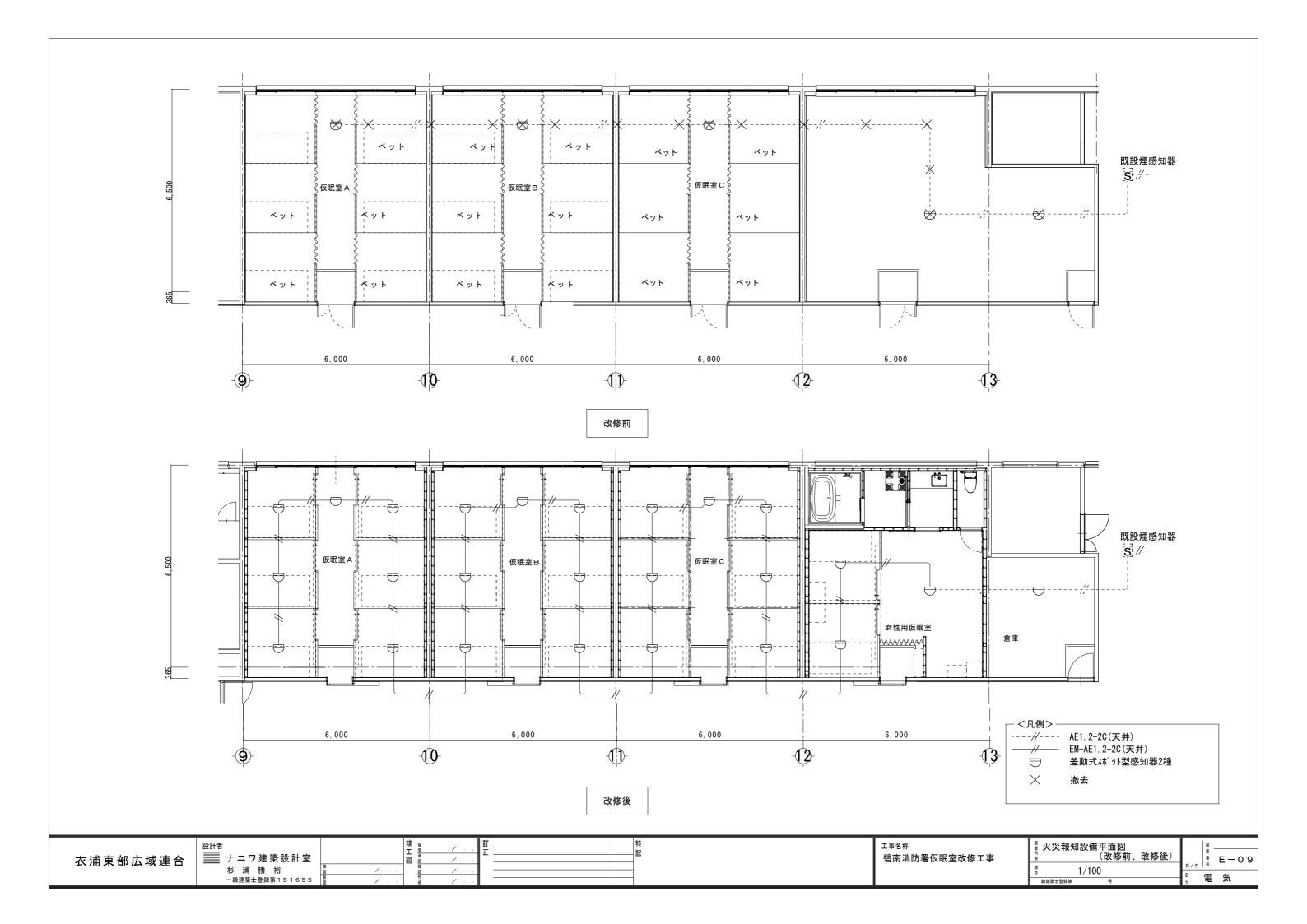


- A B E - 0 5









機器名称		参考品番	仕様・付属品	数量	備考
洋風便器	(LIXIL)	YBC-230P、DT-Z350、KW-KB31	洗浄便座、床排水、	1	
			棚付き二連紙巻器		
	(T0T0)	CS232BM、SH232BS、TCF6624			
手洗器	(LIXIL)	L-A74HC	手洗い器	1	
		CF-AA64KUT/JD	扉付ミドルキャビネット(壁埋込取り付け)		
		TSF-107			
	(T0T0)	LSL870ARP			
		TH403FW			
		UGW104			
洗面化粧台	(LIXIL)	LAVFH-120R-A	カウンター・ ベースセット W1350	1	
		MLA1-1204TVBUR-A-S			
		L5S-156MVLK-A	ミラーキャヒ゛ネット W550		
			ミト゛ルキャヒ゛ネット		
		NSK0-201・NSK301C(2ケ)	コンセント・配線内蔵+ドライヤー用コンセント		
	(T0T0)	LCSHBC00GHAAR1LGG · LHBLS727CZ			
		LJSHB003HNG1A · LMHB120RGLC1A			
		LBHB085AGAGG1W · LTSHB015AWA1W			
洗濯機パン	(LIXIL)	PF-6464AC • LF-WJ50KQA	640 × 640	1	
			排水トラップ横引		
	(T0T0)	PWP640N2W • TW11R	緊急止水弁付横水栓		
システムバ、ス	(LIXIL)	BKW-1616LBM-C+HRC4	洗い場水栓 シャワー ミラー タオル掛け	1	
			浴室換気乾燥暖房機能付き(ランドリーパイプ1本付属)		
			屋外SUS製丸形7-ド(防虫網付)		
	(T0T0)	WYV1616JKX3AK	浴室換気乾燥機リモコン共		
化粧鏡	(LIXIL)	KF-3035	化粧鏡 305×356	1	
	(T0T0)	YM3035A	化粧鏡 300×350		

空調機器表				
記号	名称	能力・仕様・付属品等	数量	備考
M A o — 1	マルチエアコン屋外機・3室用	電源: 単相200V	1	
	参考品番:MXZ-6021AS(三菱電機)	冷房能力:6.00kw 暖房能力:7.20kw		
		塩害対策仕様		
M A i — 1	マルチエアコン屋内機・天井埋込タイプ(1方向吹出)	冷房能力: 2. 20kw		
	参考品番:MLZ-M2222AS-IN(三菱電機)	ワイヤードリモコン	3	

使用機器表				
記号	名称	能力・仕様・付属品等	数量	備考
EW-1	電気温水器	電源:単相200V 最大消費電力:4.5kW ヒーター:4.4kW	1	
	自動風呂給湯タイプ	タンク容量:370L 寸法:680×760×H1830		
	参考品番:SRT-J37CDH5(三菱電機)	メインリモコン 浴室リモコン 耐塩害仕様		

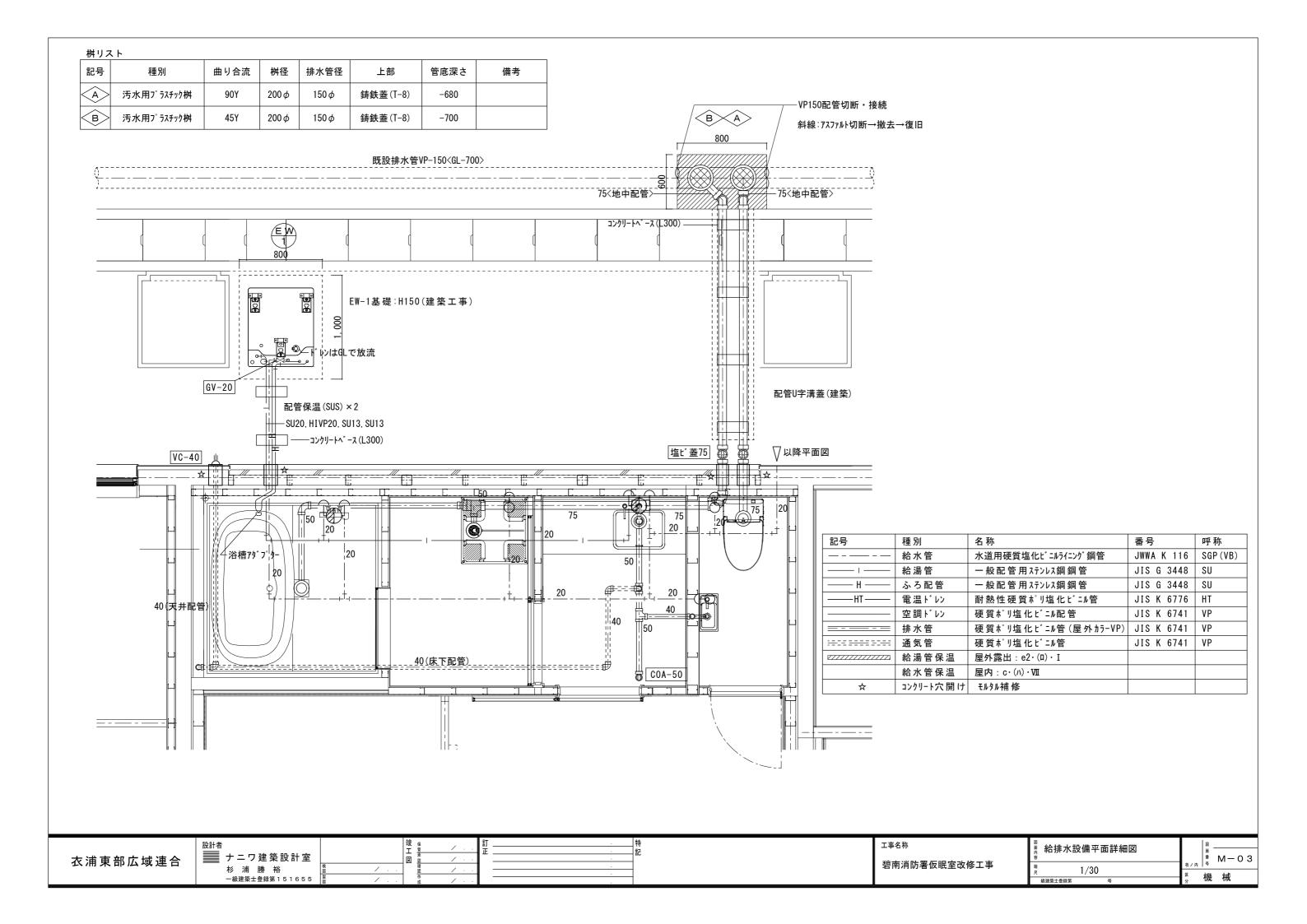
記号	名称	能力・仕様・付属品等	数量	備考
F — 1	パイプファン	風量:50m3/h 電源:単相100V 口径:φ100	3	
	参考品番: V-08XPLD2(三菱電機)	屋外SUS製丸形フード(防虫網付)		
F-2	天井換気扇	風量: 20m3/h 静圧: 30Pa電源: 単相100V 口径: φ75	2 0	
	参考品番: VD-07C13(三菱電機)	屋外SUS製丸形フード(防虫網付)		
F-3	天井換気扇	風量:50m3/h 静圧:30Pa電源:単相100V 口径:φ100	1	
	参考品番: VD-10C13(三菱電機)	屋外SUS製丸形フード(防虫網付)		
K K – 1	自然給気ユニット(天井据付)	口径:φ100 外気清浄7ィルタ-	2 1	
	参考品番:P-13TQU2(三菱電機)	屋外SUS製丸形フード(防虫網付)		

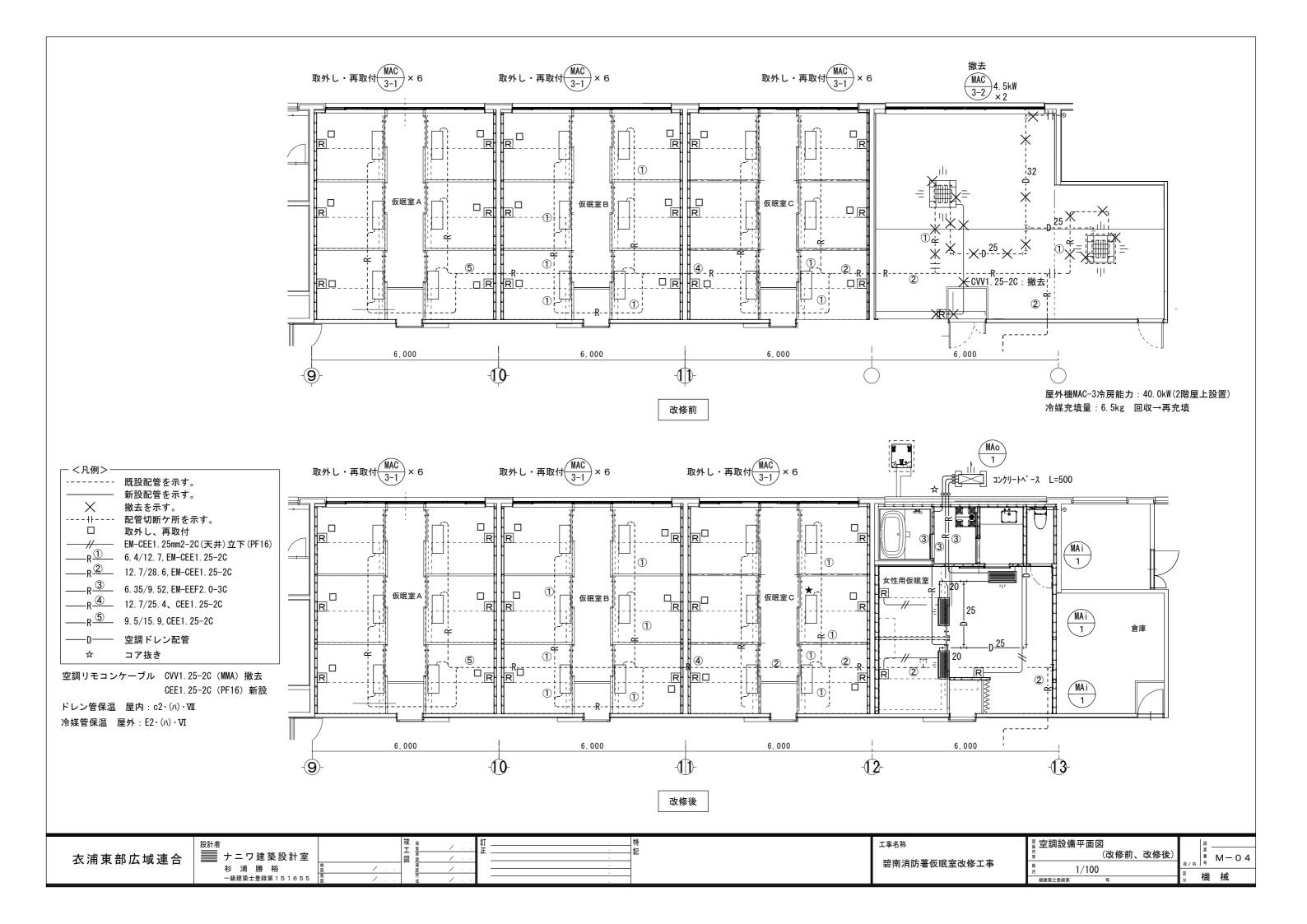
者							
	ナ	ニワ	建	築	設	計	室
	杉	浦	勝	裕			
	£F	建筑十	各组	第 1	5	16	5 5

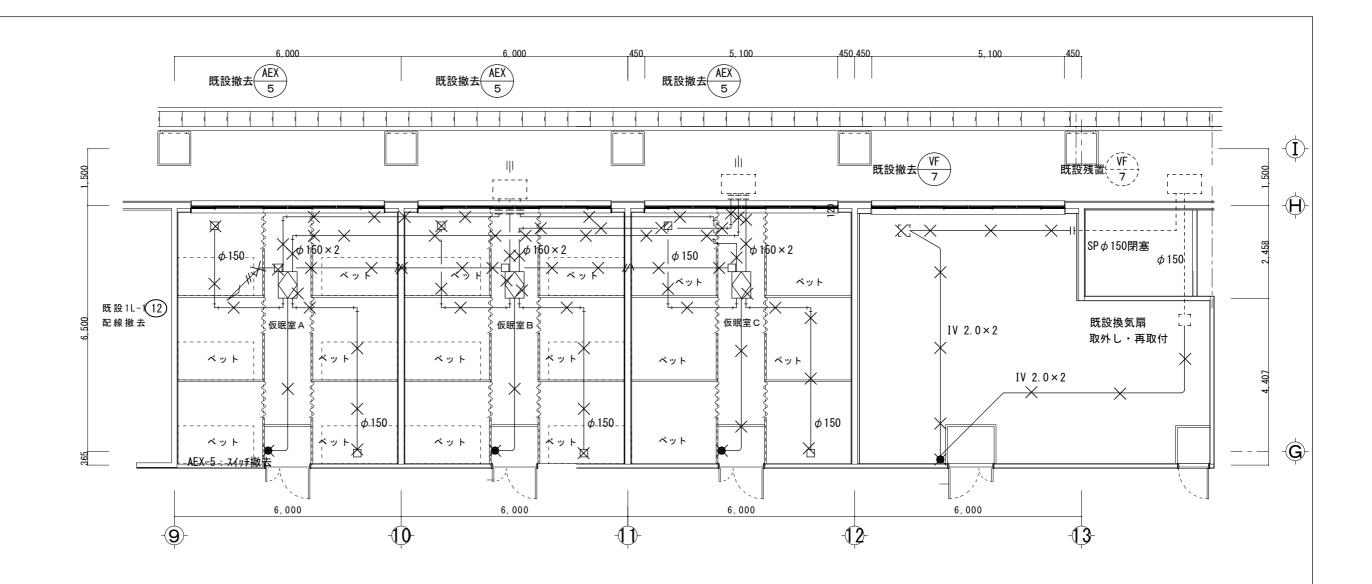


^{工事名称} 碧南消防署仮眠室改修工事 使用機器表·衛生機器表 ® NS





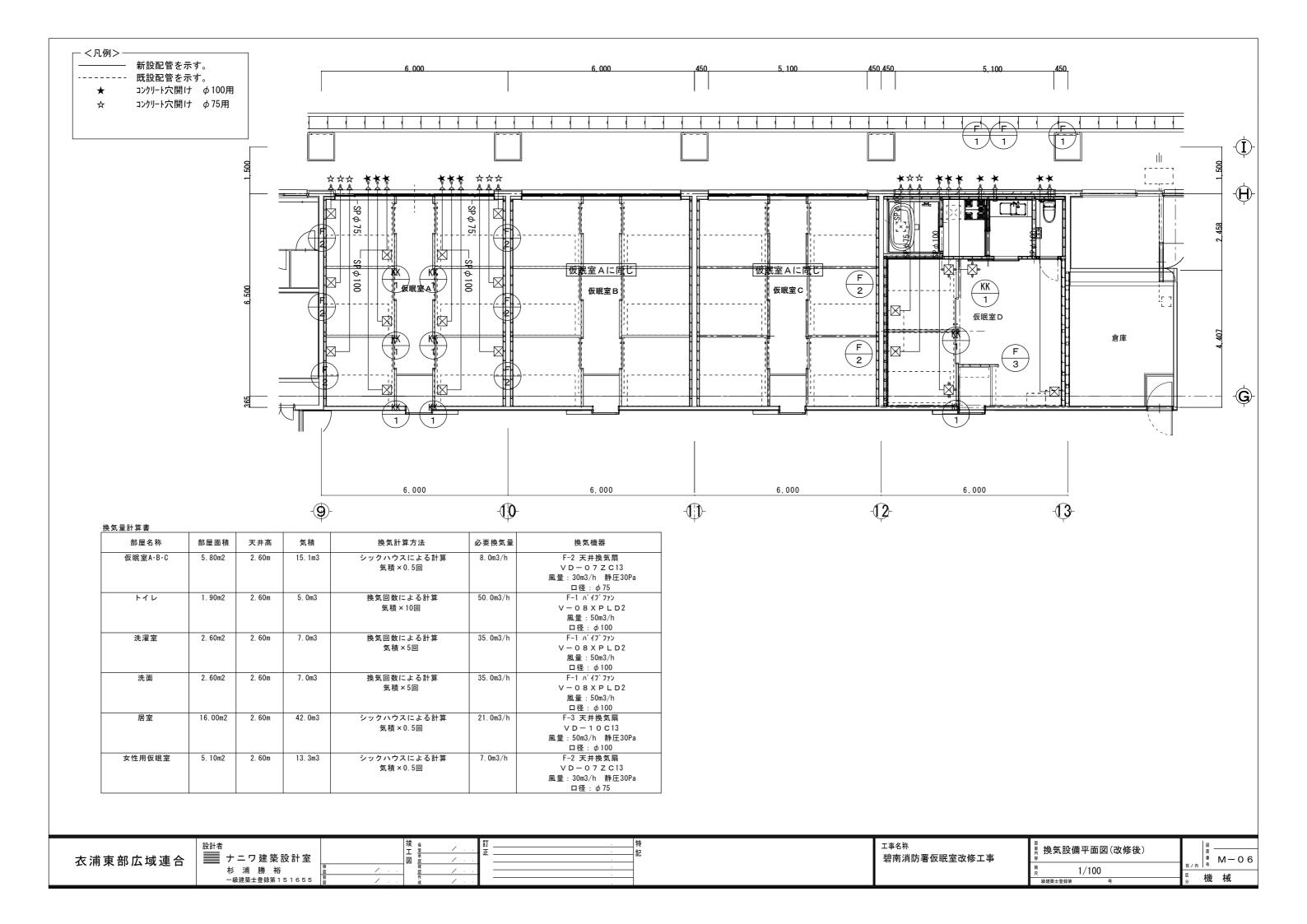




既設換気制御線 VVF1.25-20

撤去換気機器	長			
記号	名称	能力・仕様・付属品等	数量	備考
A E X - 5	空調換気扇	口径: φ 150 風量: 240 m/h	3	
V F — 7	天井換気扇	口径:φ150 風量:165m/h	1	1台は残置

	設計者	竣工	保 /	T	工事名称	· 換気設備平面図(改修前)	図
衣浦東部広域連合	### ## ## ### ### ###################		選 / · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	■ 碧南消防署仮眠室改修工事 ■	音 稿 尺 1/100 級建築士登録第 号	M - O 5



					設計者	検算者
	設	計	書			
工事名	碧南消防署仮眠室改	收修工事				
工事場所	碧南市港本町地内					
設計金額			円也	_		
				工事価格		. 円
				消費税相当額		.円
工事概要	仮眠室改修工事 ・仮眠室ABC	床面積 各41.	1 9 m²	<u> </u>		
	・仮眠室D便所、洗面所	床面積 41. 所、脱衣室、浴室	1 9 m²			
	<u>・</u> 倉庫			<u> </u>		
				_		

碧南消防署仮眠室改修工事

No	備考表示	タイトル	標準単価ファイル名
1	R707新建	R7-07 新営単価(建築)	01_250716_新営建築. fkfb
2	R707建執	R7-07 執並改修単価(建築)	04_250716_執並建築. fkfb
3	R707新電	R7-07 新営単価(電気)	02_250716_新営電気. fkfb
4	R707電執	R7-07 執並改修単価(電気)	05_250716_執並電気. fkfb
5	R703電再	R7-03 電気撤去単価(再使用)	15_250316_公建電気(撤再使). fkfb
6	R703電非	R7-03 電気撤去単価(非再使用)	16_250316_公建電気(撤非再使). fkfb
7	R703電労	R7-03 電気労務単価	17_250316_公建電気(労務). fkfb
8	R707新機	R7-07 新営単価(機械)	03_250716_新営機械. fkfb
9	R707機執	R7-07 執並改修単価(機械)	09_250716_執並機械. fkfb
10	R703機再	R7-03 機械撤去単価(再使用)	22_250316_公建機械(撤再使). fkfb
11	R703機非	R7-03 機械撤去単価(非再使用)	23_250316_公建機械(撤非再使). fkfb
12	R703機労	R7-03 機械労務単価	24_250316_公建機械(労務). fkfb
13	С	建築コスト情報	2025年春
14	S	建築施工単価	25・春号
15	В	建設物価	2025年4月号
16	見	見積	

称	数	量	単 位	金	額	備	考
		1					
		1					
		1					
			ΙV				
		1					
		1					
		1					
		1	式				
		1				消費税率 10 %	
		1					
	称	称 数	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式	1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式	1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式	1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式

名	称	数	量	単 位	金	額	備	考
建築工事			1					
電気設備工事				式				
モバ政権工 学			1	式				
機械設備工事				Iλ				
			1	式				
計								

仮眠室								
名	称	数	量	単 位	金	額	備	考
直接仮設			1	式				
木			1					
金属			1	式式式				
建具			1					
塗装			1	式				
内外装			1	式				
雑工事			1	式式式				
家具			1	式				
撤去			1	式				
発生材処理			1	式				
計				10				
		1						

仮眠室			直接仮設								
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
内部足場	脚立足場			1							
ノ → プト取4± → □ + □	W 600			<u>'</u>	式						
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W=600 3.5ヶ月 約35.1㎡			1	式						
墨出し				1							
養生					式						
				1	式						
整理清掃 後片付け				1	式						
計					Δ/						

仮眠室			木								
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
壁合板	ラワン合板 t12			22.8	m²						
壁合板	施工手間			22.8	m²						
床床下地	H200 フリーフロア同	同等品以上		6.5	m²						
浴室建具枠				4.8	m						
計											

仮眠室			金属								
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
ALC100水切り				5.1	m						
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ 下地張りなし @225 イ	1.5m未満 ンサート含む		33.3	m²						
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり			504	m²						
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りあり	@450		29.9	m²						
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外 450角	枠共額縁		13	か所						
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 出入口等			27	か所						
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形 450角、450 以 ボード切込み共	下		13	か所						
軽量鉄骨天井 開口部補強	仮眠室D室内機			3	か所						
物干し金物	仮眠室D			2	か所						
床点検口	屋内用 一般型貼物 アルミ目地 鍵無 450	用 アルミ製枠 角		1	か所						
計											

仮眠室			建具								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
1/LSD	焼付塗装 自動閉鎖			3	か所						
2/LSD	焼付塗装 自動閉鎖			1	か所						
3/LSD	焼付塗装 自動閉鎖			10	か所						
4/LSD	焼付塗装 自動閉鎖			10	か所						
1/WD	枠込			1	か所						
2/WD	枠込			1	か所						
3/WD	枠込			1	か所						
計					73 771						

仮眠室			塗装								
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
外装薄塗材 E	ALC/N° 补面 砂壁状 吹作下地調整費(C-1)共	र्जान		8.9	m²						
SOP塗り	木部 工程E 素地B種	3種 塗料1種		16	m²						
OS塗り (糸幅300mm以下)	木部	也B種		4.8	m						
S O P塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程 下地調整RB種(塗替え)	面)		24.5	m						
マスチック塗装	廊下補修部 MR-CE 含	素地ごしらえ		5.7	m²						
S O P塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程E 下地調整RB種(塗替え)	3種 面)		11	m						
S O P塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程E 素地A種	3種(屋内)		4.3	m						
計											

仮眠室			内外装								
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
A L C 1 0 0	付属金物シーリング	才工共 8.9㎡		1	式						
発泡ウレタン吹付	t50 A種1			8.9	m²						
発泡ウレタン吹付	t100 A種1			9.3	m²						
天井 不燃積層 せっこうボード 張り(GB-NC)	厚 9.5 不燃 化粧有り(トラバーチン) タ	₹付け		9.2	m²						
天井 不燃積層 せっこうボード 張り(GB-NC)	厚 9.5 不燃 化粧無し 糾	 ≇目処理		6.5	m²						
天井 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 継目	1処理		26.9	m²						
天井 ビニルクロス張!Ĵ				33.4	m²						
天井廻縁	塩化ピニル製			212	m						
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ポード下地 糾	 找目処理		604	m²						
壁 ビニルクロス張り	A 級			550	m²						
壁紙素地ごしらえ	ボード面 工程B	種 -		44.3	m²						
グラスウール	t100 24kg/m2			10.6	m²						
ダンピングシート				159	m²						
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 タ -	そ付け		162	m²						
防湿シード				25.5	m²						

仮眠室			内外装								
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
床タイルカーペット	厚7.0			25.5	m²						
E [*] ニル床シート	マープル 厚さ2.0 複層と一般床 熱溶接工法 -			113	m²						
E* IN床タイル	厚さ2.0 コンポジションピ 多湿部 -	ニル床タイルKT		6.5	m²						
ビニル幅木張り	高さ60			198	m						
木幅木	倉庫 高さ75			4.3	m						
既設ドア撤去部補 修	各室入口			4	か所						
計											

仮眠室			雑工事								
名 称		要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
駐車場文字	軽			1	か所						
パーキングブロッ ク	取外再取付			2	個						
U字溝	300B L=3000			1	式						
給湯器架台				1	か所						
遮光カーテン	仮眠室A,B,C W:1,95 カーテンレール共	50 H:1,700		6	か所						
遮光カーテン	仮眠室A,B,C W:1,16 カーテンレール共	60 H:1,700		3	か所						
カーテンレール	仮眠室D W:1,100 H:	2,600		1	か所						
遮光カーテン	仮眠室D W:1,100 H:	:2,600		1	か所						
既設ベッド移動	組外し、組立て、移動	動 18台		1	式						
浴室床換気パイプ	VP100			1	m						
計											

仮眠室				家具								
名 下足入	称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
下足入					4	か所						
Ė	it					73.171						

仮眠室			撤去								
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
カーへ。ット撤去	集積共			188	m²						
ビニル床シート撤去	集積共			3.5	m²						
天井下地撤去	集積共			52.9	m²						
天井合板・ボード 撤去	一重張り 一般 集積共			168	m²						
壁合板・ボード 撤去	一重張り 一般 集	積共		142	m²						
軽量鉄骨撤去	集積共			89.3	m²						
有孔合板撤去	一重張り 一般 集	積共		127	m²						
壁加ス撤去	集積共			20.8	m²						
カーテンボックス 撤去処分	カーテン共			20.4	m²						
パーテーション 撤去処分	カーテン共			3	か所						
サッシ撤去処分	W5.1×H1.6 カッター入、ガラス共	.		1	か所						
建具撤去処分				4	か所						
肋木撤去処分				1	か所						
計					75 171						

仮眠室			発生材処	理				運搬処分			
名	称 摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
撤去材運搬	カーヘット			0.3	m3						
撤去材運搬	ビニル床シート			0.1	m3						
撤去材運搬	天井下地			0.02							
撤去材運搬	天井合板・ボード			1.9	m3						
撤去材運搬	壁合板・ボード			1.7	m3						
撤去材運搬	壁下地			0.04							
撤去材運搬	有孔合板			1.5	m3						
撤去材運搬	壁加入			0.02							
発生材積込み				5.6	m3						
発生材処分	カーへ゜ット			0.2	t						
発生材処分	ビニル床シート			0.2	t						
発生材処分	天井下地			0.1	t						
発生材処分	天井合板・ボード			1.2	t						
発生材処分	壁合板・ボード			1.4	t						
発生材処分	壁下地			0.3	t						

<u>モ来エチ</u> 反眠室			発生材処	理				運搬処分			
名 称		要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
生材処分	有孔合板			0.9							
生材処分	壁加ス			0.01	t						
				0.01	t						
業廃棄物税				1	式						
計					Σ(

仮眠室								
名	称	数	量	単 位	金	額	備	考
電灯設備			1					
- S. L. S. L *0 /#			· ·	式				
コンセント設備			1					
 拡声設備				式				
JOHN BOTH			1	式				
火災報知設備				10				
			1	式				
発生材処理			1					
計				式				
RI .								

仮眠室			電灯設備							
名 称	摘	要	数 量	単 位	単	価	金	額	備	考
LED照明器具 A	LSS9 -4 -30	LN	2	個						
ステンルス製吊具			2	組						
LED照明器具 B	LRS105	LN	21	個						
LED照明器具 C	LRS113	LN	14	個						
LED照明器具 D プラケット			20	個						
LED照明器具 E フットライト			20	個						
非常用 LED照明器具 F	K1-LRS11 -1	-	24	個						
テレヒ゛インターホン			1	組						
冷媒漏洩検知器			20	個						
人感センサー	親機 8A9イプ 広角		4	個						
人感センサー	子機		1	個						
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケープル平形 EM-EEF	1.6mm- 2C ピット・天井		215	m						
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケープル平形 EM-EEF	1.6mm- 2C 管内		68	m						
600Vポリエチン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	1.6mm- 3C ピット・天井		142	m						
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	1.6mm- 3C 管内		33	m						

仮眠室			電灯設備								
名 称		要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
EM-EEFケープ ル	2.0mm- 2C 盤内			6	m						
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16m			30	m						
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22m	m		40	m						
1種金属線ぴ(MM1)	A型(25.4mm)			2	m						
1種金属線ぴ(MM1) 附属品	A型(25.4mm) コーナーホ・ック	λ		1	個						
1種金属線ぴ(MM1) 附属品	A型(25.4mm) 1個用スイッ	チボックス		1	個						
ワイト゛ハント゛ル形スイッチ (樹脂プレート付) ネーム無	1P 15A ×1 3W 15A	× 1		40	個						
ワイト゛ハント゛ル形スイッチ (樹脂プレート付) ネーム無	1P 15A ×2 -			4	個						
ワイト、ハント、ル形スイッチ (樹脂プレート付) ネーム無	1P 15A ×1 -			1	個						
人感センサー切替 スイッチ	樹脂プレート			3	個						
センサー用切替スイッチ + 換気扇用スイッチ	樹脂プレート			1	個						
合成樹脂製 アウトレットボックス(カバー 付)		D44		144	個						
EM-AEケーフ゛ル	1.2 mm- 2C ピット・天井			7	m						
EM-AEケープ゛ル	1.2 mm- 2C 管内			2	m						
換気扇用コンセント (樹脂プレート付)	連用形2P15A×1 - 125V			3	個						

仮眠室				電灯設備	İ							
名	称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
漏電遮断器		ELCB2P 50AF/20AT			4							
配線用遮断器	2	MCB2P 50AF/20AT				個						
10秋川巡灯台	ři –	WICDZF SUAF/ZUAT			3	個						
配線用遮断器	E	MCB2P 50AF/30AT			4	旧						
					1	個						
撤去工事		コンセント工事含む			1							
汀抜き						式						
					1	式						
計												

仮眠室			コンセン	/ト設備							
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
開閉器箱 (屋外形)	ELCB2P 50AF× 2個			1	個						
コンセント (樹脂プレート付)	連用形2P15A×2 - 125V			22	個						
コンセント (樹脂プレート付)	連用形2P15A×2 (接地端子付) 125V			3	個						
コンセント (樹脂プレート付)	連用形2P15A×2 (接地極×2付 一体形) 125V			2	個						
合成樹脂製 アウトレットボックス(カバー 付)	中四角 浅型 D4	14		27	個						
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケープル平形 EM-EEF	2.0mm- 2C ピット・天井			124	m						
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケープル平形 EM-EEF	2.0mm- 2C 管内			47	m						
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケープル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C ピット・天井			118	m						
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C 管内			16	m						
EM-CEケープ ル	5.5mm2- 3C ピット・天井			29	m						
EM-CEケーフ゛ル	5.5mm2- 3C 管内			7	m						
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm			47	m						
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm			5	m						
ねじなし電線管 (E)	露出配管(塗装有) 25mm			11	m						
ねじなし電線管 (E)	露出配管(塗装有) 31mm			7	m						

仮眠室	コンセント設備	
名 称 摘 要	数 量 単位 単 価 金 額	備考
プルポックス 200×100×100 SUS防水	1	
機械はつり(ダイヤモ 100~150mm 50mm	個	
機械はつり (ダイヤモ) 100~150mm 50mm	2 か所	
コンクリートへ・-ス L200	2	
計	台	

仮眠室			拡声設備								
名	称 摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
スピ゜ーカ	SC4Hi-1(3) V3			5	個						
スピ゜ーカ	天井露出 防滴型			1							
EM-HPケーフ゛ ル	1.2 mm- 3C ピット・天井			14	個						
撤去工事				1	m — *						
計					式						

反眠室			火災報知	〕設備				自動火災報	纽		
	称 摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
ポット形感知器	差動式 2種 埋込			25							
M AEL 7° II	4.0				個						
M-AE ケーフ゛ル	1.2 mm- 2C ピット・天井			66	m						
《災報知 Z会検査	P型1級			1	1 工事						
技 去工事				1	式						
計											

仮眠室				発生材処	理							
名 発生材処分	称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
発生材処分 					1							
運搬費						式						
					1	台						
計												

仮眠室								
名	称	数	量	単 位	金	客頁	備	考
衛生器具設備			1					
給水設備			· 	式				
WIT OVER IM			1	式				
排水設備			1	10				
4 ∧ ≥⊟ ±⊓ /#			. I	式				
給湯設備			1	_15				
空気調和設備				定				
			1	式				
換気設備			1					
処分費				式				
			1	式				
計								

26

仮眠室			給水設備	Ī							
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
給水・耐衝撃性 ポリ塩ビ管(HIVP)	地中配管 20A			13	m						
給水・耐衝撃性 ポリ塩ビ管(HIVP)	屋外架空・暗渠 20A			3	m						
給水・ポリ粉体 ライニング鋼管 (SGP-PB)改修	ねじ接合 機械 20A	室・便所		15	m						
給水管 保温 				1	式						
機械はつり(ダイヤモ ンドカッターによる 配管用貫通口)	100 ~ 150mm 75mm			2	か所						
弁桝	機 械 VC-P(550H)			1	組						
青銅仕切弁	10K(ねじ) 20A			2	個						
撤去工事				1	式						
配管切断 (樹脂管類) ・手間のみ	配管切断 20A 保温無			2	か所						
土工事				1	式						
計											

仮眠室			排水設備	İ							
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	機械室・便所 40A			2	m						
排水・硬質ポリ 塩化ピニル管 (VP)改修	機械室・便所 50A			5	m						
排水・硬質ポリ 塩化ピニル管 (VP)改修	機械室・便所 75A			3	m						
排水管・硬質ポリ 塩化ビニル管(VP)カラー	機械室・便所 75A			7	m						
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	機械室・便所 150A			1	m						
通気・硬質ポリ 塩化ピニル管 (VP)	機械室・便所 40A			10	m						
プラスチック桝 (鋳鉄製防護ふた)	桝径200 最大排水管 90Y、45Y、45YS 501~800 蝶番袋穴式	径150 D T-8		2	組						
塩ビ蓋	75A用			2	枚						
撤去工事				1	式						
配管切断・コア抜き				1	式						
床上掃除口 (非防水形)	COA 50A			1	個						
アスファルト	撤去・復旧			1	式						
コンクリートペース	L300			4	台						
計					1						

仮眠室			給湯設備	Ī							
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
電気温水器	自動風呂給湯タイプ 耐塩害仕様 給湯器リモ	コン 2台		1	組						
大型電気温水器 据付	400L以下			1	台						
給水・一般配管用 ステンレス鋼鋼管	拡 管 式 機械室・便所 13SU			5	m						
給湯・一般配管用 ステンレス鋼鋼管	拡 管 式 屋外架空・暗渠 20SU			8	m						
EM-CEEケープ ル	1.25mm2- 2C 管内			20	m						
ねじなし電線管 (E)	露出配管(塗装有) 25m	n		4	m						
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16m	n		12	m						
プルボックスSS形 屋外(SUS防水)	100 × 100 × 100			2	個						
機械はつり(ダイヤモ ンドカッターによる 配管用貫通口)	100 ~ 150mm 75mm			1	か所						
コンクリートペース	L300			2	台						
計											

仮眠室			空気調和	設備				機器設備			
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
空冷ヒートポンプ エアコンシステムマルチ	冷房能力6.0 k w 暖原 w 耐塩害仕様 室外台 リモコン3台 6.35外径(1/4B)液	機1 室内機3		1	組						
冷媒用 断熱材被覆銅管	厚10mm以上			25	m						
冷媒用 断熱材被覆銅管	9.52外径(3/8B) ガ 厚20mm以上	ス管		25	m						
排水・硬質ポリ 塩化ピニル管 (VP)改修	屋内一般 20A			3	m						
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管	屋内一般 25A			9	m						
(VP)改修 保温工事				1	式						
EM-CEEケープ ル	1.25mm2- 2C 管内			44	m						
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16m	m		44	m						
合成樹脂製 アウトレットボックス(カバー 付)	中四角 浅型	D44		21	個						
冷媒回収・再充填				1	式						
配管切断 37抜き				1	式						
撤去移設				1	式						
コンクリートへ・ース	L300			1	台						
コンクリートへ・ース	L500			2	台						
計					1						

仮眠室		換気設備	Ī		機器設備						
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
F-1 パイプ ファン	風量50㎡/h 100			3	台						
パイプ用ファン 据付	150 以下			3	台						
F-2 天井換気扇	風量20㎡/h 75			20	台						
換気扇 据付	天井埋込形			20	台						
F-3 天井換気扇	風量 50㎡/ h 100			1	台						
換気扇 据付	天井埋込形			1	台						
KK-1 自然給気ユ ット	外気清浄フィルター 100)		21	台						
換気扇 据付	150 以下			21	台						
ベントキ ャップ	ステンレス製 100	防虫網付		25	個						
ベントキ ャップ	ステンルス製 75	防虫網付		20	個						
スパ [°] イラルタ [*] クト (低圧タ [*] クト)	インサート無 75			68	m						
スパ゚イラルタ゚クト (低圧ダクト)	インサート無 100			79	m						
スパ [°] イラルタ [°] クト保温 (32K)	グラスウール 屋内隠ぺ! アルミガラスクロス 保温厚25	ハ,ダクトシャフト内 100mm		2	m						
撤去工事	P. Trades J. —			1	式						
配管切断・コア抜き				1	式						

仮眠室		WH H 1331 3H/		換気設備	į				機器設備			
名	称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
吉	†											

仮眠室				処分費								
名 発生材処分	称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
発生材処分 					1	_1						
計						式						

仮眠室			電灯設備								
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
撤去工事	コンセント工事含む			1	式						
IV電線(PF管内)	1.6mm × 1本			76	m						
IV電線(PF管内)	2.0mm × 1本			174	m						
合成樹脂製可とう 電線管 (PF管、CD管)撤去	16 再使用しない			260	m						
白熱灯器具撤去	埋込灯 再使用し	しない		9	個						
蛍光灯器具 (照明制御) 撤去	露出形 FL 40W > 再使用しない	<2		6	個						
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 40W > 再使用しない	< 1		2	個						
非常用白熱灯器具 撤去	埋込形 JE9~30W,140W 再使用しない			3	個						
足元灯	埋込灯 再使用し	しない		18	個						
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×2 - 125V			21	個						
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×1 (接地極付) 125V			5	個						
タンプ・ラスイッチ (金属プ・レート付)	1P 15A ×1 ネーム無 			3	個						
タンプ・ラスイッチ (金属プ・レート付)	1P 15A ×3 ネーム無 			1	個						
漏電遮断器	MCCB2P50AF/20AT			5	組						
計											

仮眠室				電灯設備	İ							
名 和	尔	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
コア抜き					1							
機械はつり(ダイヤ	E 100 ~ 150	mm 75mm				式						
パパパラング ンドカッターによる 配管用貫通口)					7	か所						
機械はつり(ダイヤ ンドカッターによる 配管用貫通口) 金属短管貫通処理 (壁・床共用)	T				12							
計						か所						

仮眠室	733 MV 73 MM		拡声設備								
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
撤去工事				1	式						
アッテネータ	1W S(金属製)			5	個						
スピーカ	SC4Hi-1(3) V3			5	個						
EM-HPケーフ [*] ル	1.2 mm- 3C ピット・天井			10	m						
EM-HPケーフ゛ル	1.2 mm- 3C 管内			6	m						
合成樹脂製可とう 電線管 (PF管、CD管)撤去 電話用アウトリット	16 再使用しない			6	m						
電話用アウトレット (樹脂製)	Eジュラージャック(RJ11) × 1			4	個						
TKEVケープ ル	0.4 mm- 10P ピット・天井			15	m						
TKEVケープ ル	0.4 mm- 10P 管内			8	m						
合成樹脂製可とう 電線管 (PF管、CD管)撤去 計	28 再使用しない			8	m						

電気設備工事 別紙明細

反眠室	<u>→</u> 733 wCC -17 mH		火災報知	設備				自動火災報	· 日		
名 称	ĭ 摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
散去工事				1							
は。小形感知器	差動式 2種 埋込			'	式						
				5	個						
M-AE ケープ゛ル	1.2 mm- 2C ピット・天井			25	m						
計											

仮眠室		733 100 . 73 10		発生材処	:理							
名	称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
発生材処分					1	式						
スクラップ		金属くず			0.1	t						
スクラップ		銅くず			7	kg						
中間処理		廃プラスチック			0.5	m3						
蛍光灯処分費					1	式						
計												

仮眠室			給水設備	į							
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
給水管 保温				1	茳						
給水管 保温	が ラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス 20A	鋼板		3	m						
給水管 保温	20A か ラスウール 機械室,書庫,倉庫 アル 20A	ミガラス化粧原紙		15	m						
計											
撤去工事											
				1	式						
給水・耐衝撃性 ポリ塩ビ管(HIVP)	地中配管 20A			1	m						
青銅仕切弁	10K(ねじ) 20A			1	個						
弁桝	VC-P			1	個						
計					IIA						

仮眠室			給水設備								
名 和	ī 摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
土工事				1							
根切り(機械)	パックホウ 0.13m 排出がス対策型	3 型 油圧式加-5型		2.4	式						
山砂				1.4	m3 m3						
埋戻し	機 械 バックホウ排出ガス対策型	0.13m3 型 油圧式加-ラ型		1	m3						
残土処理				1.4	m3						
計											

仮眠室			排水設備	į							
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
撤去工事				1	式						
排水・硬質ポリ 塩化ピニル管 (VP) 計	地中配管 150A			1	m						
配管切断・コア抜き				1	式						
機械はつり(ダイヤモ ンドカッターによる 配管用貫通口) 機械はつり(ダイヤモ				1	か所						
)ノドカッターによる 配管用貫通口)				2	か所						
配管切断 (樹脂管類) ・手間のみ	配管切断 150A 保温無			2	か所						
計											
アスファルト	撤去・復旧			1	式						
カッター入れ	コンケリート面 厚さ20~30mm			2	m						
アスファルト舗装	A-5-15 再生密粒 再生クラー 500㎡未満	ッシャラン		0.5							
アスファルト 舗装とりこわし	機械 集積・積込み共			0.1	m3						
計											

仮眠室			空気調和	口設備				機器設備			
名 私	活	, 要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
保温工事				1	茳						
排水管 保温	グラスウール 天井内,パイプ 20A	シャフト内 アルミガ ラス化粧筒	ī	3	m						
排水管 保温	ク゛ラスウール	゚シャフト内 アルミカ゚ラス化粧筒	ī	9	m						
排水管 保温	ク゛ラスウール	室 ステンレス鋼板		4	m						
計	100/1										
#7 <i>//</i> // 17 <i>WC</i> = 24+											
配管切断 コア抜 き				1	式						
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 19			4	か所						
配管切断 (樹脂管類)	配管切断 30	DA 保温有		1	か所						
・手間のみ 機械はつり(ダイヤ゚ ンド カッターによる 配管用貫通口)	E 100 ~ 150mm	100mm		1	か所						
計											

仮眠室			空気調和	設備				機器設備			
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
撤去移設				1	式						
CVVケーフ゛ル	1.25mm2- 2C 管内			38	m						
合成樹脂製可とう 電線管 (PF管、CD管)撤去	16 再使用しない			2	m						
1種金属線び(MM1)	A型(25.4mm)			36	m						
1種金属線ぴ(MM1) 附属品	A型(25.4mm) コーナーホ ックス	(18	個						
1種金属線ぴ(MM1) 附属品	A型(25.4mm) 2個用スイック	fボックス		18	個						
パッケージ形空気調和機(セパレート・マルチ) 据付	屋内機 天井吊り - 7.1kW以下			2	台						
パッケージ・形空気調和機(セパレート・マルチ) 据付	屋内機 天井吊り - 2.8kW以下			18	台						
パッケージ・形空気調和機(セパレート・マルチ) 据付	屋内機 天井吊り - 2.8kW以下			18	台						
冷媒用銅管	6.35外径(1/4B)			6	m						
冷媒用銅管	12.7 外径(1/2B)			6	m						
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 25A			7	m						
非水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 30A			5	m						
排水管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アリ 25A	レミガラスクロス		7	m						
排水管 保温	ケ・ラスウール 天井内,パ・イプ・シャフト内 アル 32A	レミガラスクロス		5	m						

機械設備工事 別紙明細

仮眠室				空気調和	設備				機器設備			
名 撤去移設	称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
撤去移設					1	式						
計						Σ0						

仮眠室			換気設備	Ī				機器設備			
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
撤去工事				1	式						
スパ゚イラルダクト(低圧、 高圧1、2ダクト) 撤去	150mm 再使用しない			73	m						
換気扇 据付	天井埋込形			1	台						
換気扇 据付	天井埋込形			1	台						
換気扇 据付	天井埋込形			3	台						
600V絶縁電線 撤去	2.0mm × 1本 再使用	しない		19	m						
CVVケーフ゛ル	1.25mm2- 2C ピット・天井			14	m						
CVV ケ ーフ゛ル	1.25mm2- 2C 管内			6	m						
合成樹脂製可とう 電線管 (PF管、CD管)撤去	16 再使用しない			6	m						
タンプ・ラスイッチ (金属プ・レート付)	1P 15A ×1 ネーム無 -			4	個						
計					1124						

仮眠室		換気設備					機器設備			
名 称 排	· 要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
配管切断・コア抜き			1	式						
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ			7	か所						
機械はつり(ダイヤモ 100~150mm ンドカッターによる 配管用貫通口)			20	か所						
(調官類) ・手間のみ 機械はつり(ダイヤモ ンドカッターによる 配管用貫通口) 機械はつり(ダイヤモ ンドカッターによる 配管用貫通口) 計	150mm		26	か所						
計										

仮眠室		<u> </u>		処分費								
名	称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
発生材処分					1							
スクラップ	٩	金属くず				式						
					0.2	t						
スクラップ	8	銅くず			14							
中間処理		廃プラスチック				kg						
					0.1	m3						
ij	t											

名	称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
通仮設費												
					1	式						
設間仕切]	撤去含む 廊下仮囲い 地PB(片面)	N B種 軽鉄下			10						
		地PB(片面)			1	式						
ート・フェンス		H=1.8m 柱脚固定具共	3.5ヶ月			Τ0						
					30							
ヤスター	ゲート	W5000xH1800 3.5ヶ月				m						
1777	, ,				1							
言	L					か所						
ā	Г											